



第五次総合計画アンケート指標の 令和4年度実績値について

令和4年9月
企画政策部企画課

第1 調査の趣旨

1 調査の趣旨

アンケート調査は、第五次総合計画前期・後期基本計画の計画期間中（平成29年度～令和8年度）、毎年度、「市民アンケート」と「幸せ実感モニター」の2つを実施してきました。

市民アンケートは、第五次総合計画前期・後期基本計画の基本施策に設定した91のアンケート指標（市民が思う割合）の実績値について把握するために実施するものです。

幸せ実感モニターは、いわゆる定点観測として、一定期間継続的に同一者による回答により、行政施策の評価や市民意識の推移とその理由等を詳細に把握するために実施するものです。

アンケート調査で把握したアンケート指標の実績値は、施策ごとに設定している「目指す状態」の達成に向けた主な取組の成果を表すものとして、統計指標とともに進捗度合いをはかるもので、第五次総合計画前期・後期基本計画の進捗管理（行政評価の施策評価）に用います。

2 報告書の位置付けと活用

本報告書は、アンケートの調査分析結果を示すことで、アンケート指標の目標達成に向けて、各担当部局が実施する行政評価の施策評価（一次評価）や、次年度以降の主な取組とその予算編成に利活用できるようにしたものです。

また、各部局において、より詳細な分析等ができるよう、報告書及びアンケート集計データ等を以下に掲載しています。

【掲載場所】

Garoon / ファイル管理 / 004:企画政策部 / 1000:企画課 / 共有文書

3 報告書の構成

第1	調査の趣旨	1
第2	市民アンケート調査の概要	2
第3	幸せ実感モニター調査の概要	5
第4	総括	8
第5	集計結果	11
第6	アンケート指標の推移及び実績値等上位順	15
第7	施策別の分析結果 	34

第2 市民アンケート調査の概要

1 調査期間

令和4年6月8日(水)から6月22日(水)

2 対象者

長野市内在住の18歳以上の男女6,000人

3 標本の抽出

住民基本台帳（令和4年6月1日現在）から無作為抽出

4 調査方法

返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

回収標本数 2,505票

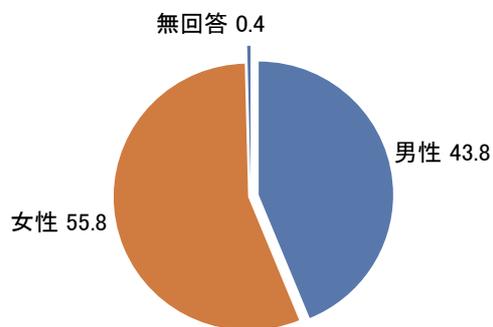
回収率 41.8%

6 属性に関する結果概要

(1) 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	1,097	43.8
女性	1,398	55.8
無回答	10	0.4
合計	2,505	100.0

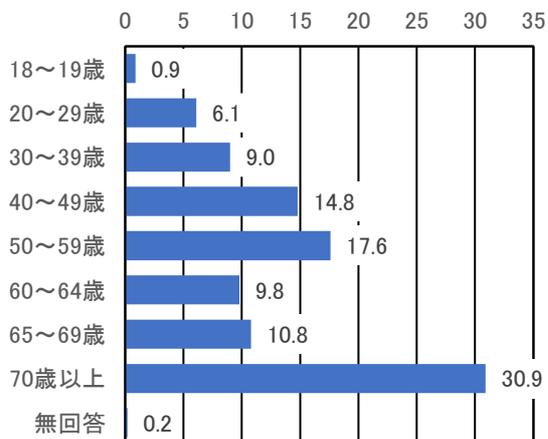
回答者性別(総数2,505、単位%)



(2) 年齢構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
18～19歳	23	0.9
20～29歳	152	6.1
30～39歳	226	9.0
40～49歳	370	14.8
50～59歳	440	17.6
60～64歳	245	9.8
65～69歳	270	10.8
70歳以上	775	30.9
無回答	4	0.2
合計	2,505	100.0

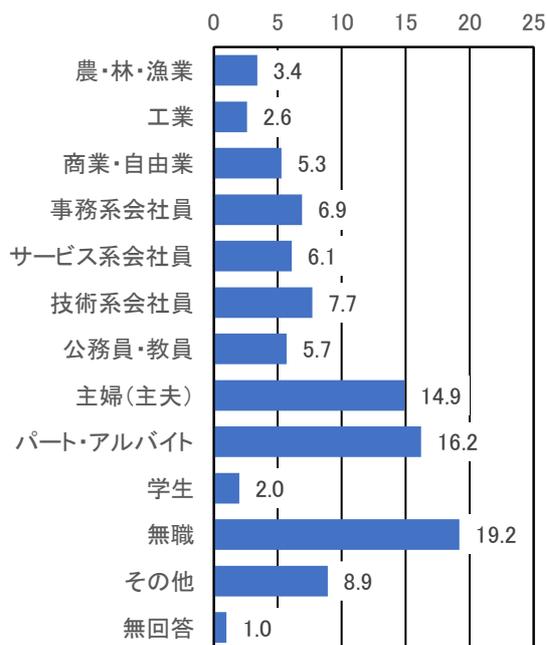
回答者年齢(総数2,505、単位%)



(3) 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農・林・漁業	86	3.4
工業	64	2.6
商業・自由業	134	5.3
事務系会社員	174	6.9
サービス系会社員	154	6.1
技術系会社員	193	7.7
公務員・教員	142	5.7
主婦(主夫)	373	14.9
パート・アルバイト	406	16.2
学生	50	2.0
無職	482	19.2
その他	222	8.9
無回答	25	1.0
合計	2,505	100.0

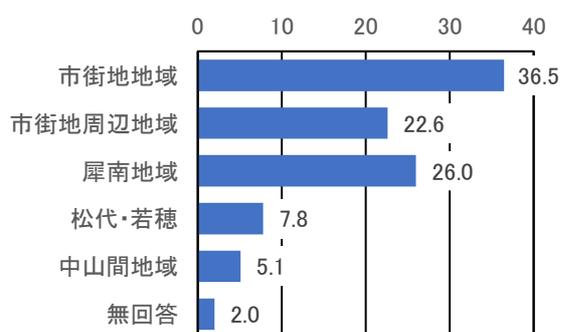
回答者職業(総数2,505、単位%)



(4) 居住地域

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地地域	915	36.5
市街地周辺地域	565	22.6
犀南地域	651	26.0
松代・若穂	195	7.8
中山間地域	128	5.1
無回答	51	2.0
合計	2,505	100.0

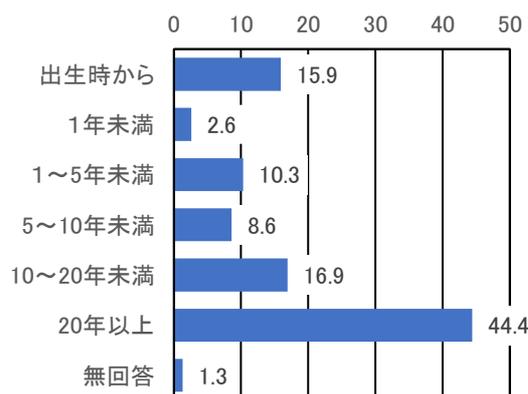
回答者居住地域(総数2,505、単位%)



(5) 居住期間(※市民アンケートのみ)

選択肢	回答数(人)	割合(%)
出生時から	398	15.9
1年未満	64	2.6
1~5年未満	259	10.3
5~10年未満	216	8.6
10~20年未満	424	16.9
20年以上	1,111	44.4
無回答	33	1.3
合計	2,505	100.0

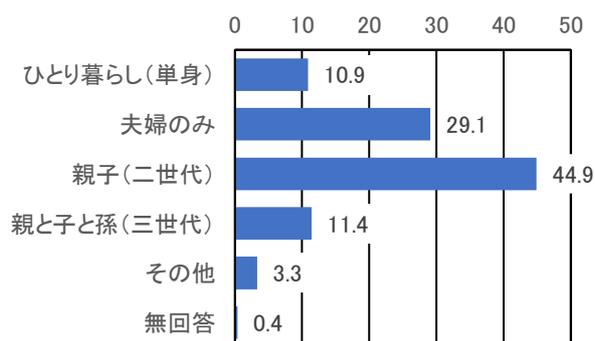
回答者居住期間(総数2,505、単位%)



(6) 家族構成

選択肢	回答(人)	割合(%)
ひとり暮らし(単身)	272	10.9
夫婦のみ	729	29.1
親子(二世帯)	1,124	44.9
親と子と孫(三世帯)	286	11.4
その他	83	3.3
無回答	11	0.4
合計	2,505	100.0

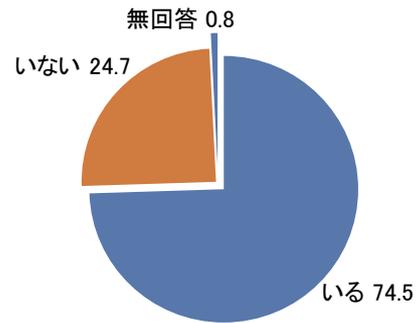
回答者家族構成(総数2,505、単位%)



(7-1) 子どもの有無

選択肢	回答数(人)	割合(%)
いる	1,866	74.5
いない	618	24.7
無回答	21	0.8
合計	2,505	100.0

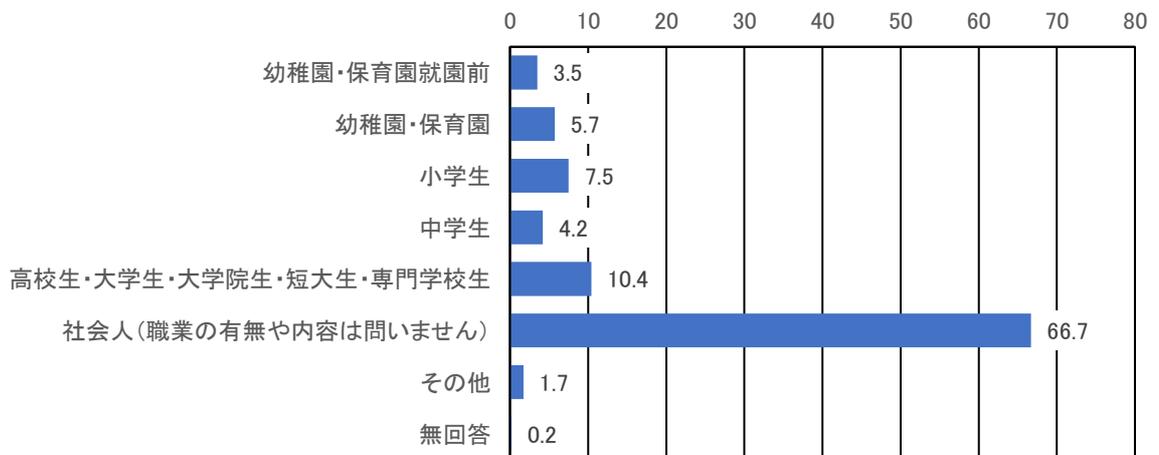
お子さんの有無(総数2,505、単位%)



(7-2) 子どもの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	66	3.5
幼稚園・保育園	107	5.7
小学生	140	7.5
中学生	79	4.2
高校生・大学生・大学院性・短大生・専門学校生	194	10.4
社会人(職業の有無や内容は問いません)	1,245	66.7
その他	32	1.7
無回答	3	0.2
合計(%ベース)	1,866	100.0

お子さんの状況(総数1,866、単位%)



第3 幸せ実感モニター調査の概要

1 調査期間

令和4年6月17日(金)～7月1日(金)

2 対象者

長野市内在住又は通勤・通学の15歳(令和4年4月1日現在)以上の男女246人

3 標本の抽出

令和4年募集による応募者

4 調査方法

ながの電子申請への入力方式及び返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

回収標本数 193票

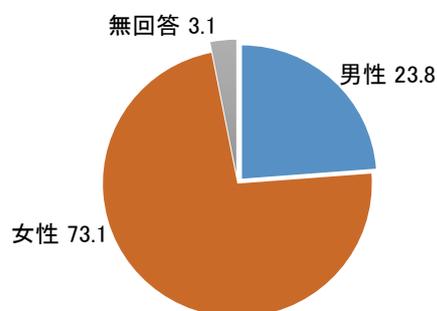
回収率 78%

6 属性に関する結果概要

(1) 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	46	23.8
女性	141	73.1
無回答	6	3.1
合計	193	100.0

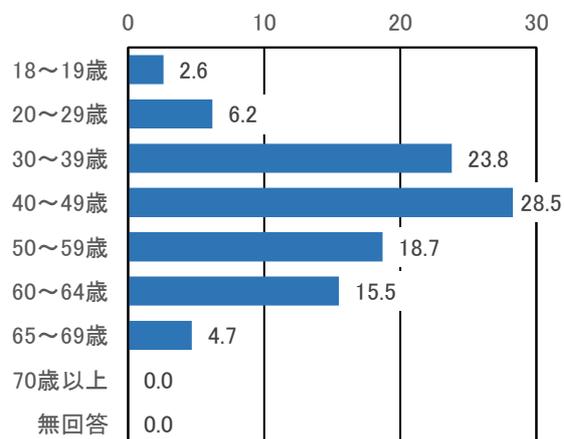
回答者性別(総数193、単位%)



(2) 年齢

選択肢	回答数	割合(%)
18～19歳	5	2.6
20～29歳	12	6.2
30～39歳	46	23.8
40～49歳	55	28.5
50～59歳	36	18.7
60～64歳	30	15.5
65～69歳	9	4.7
70歳以上	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	193	100.0

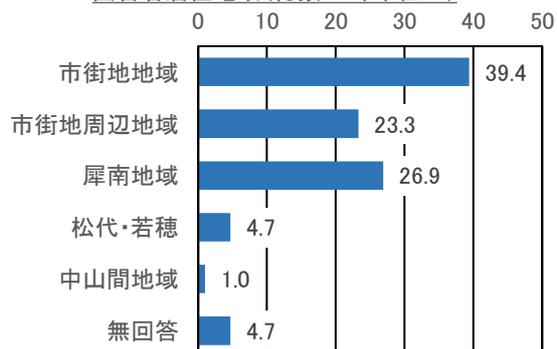
回答者年齢(総数193、単位%)



(3) 居住地域

選択肢	回答数	割合(%)
市街地地域	76	39.4
市街地周辺地域	45	23.3
犀南地域	52	26.9
松代・若穂	9	4.7
中山間地域	2	1.0
無回答	9	4.7
合計	193	100.0

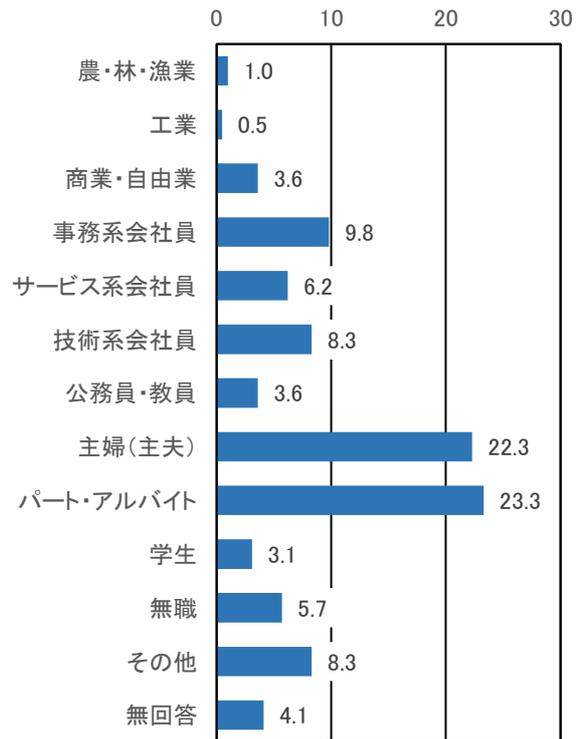
回答者居住地域(総数193、単位%)



(4) 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農林漁業	2	1.0
工業	1	0.5
商業	7	3.6
事務系会社員	19	9.8
サービス系会社員	12	6.2
技術系会社員	16	8.3
公務員	7	3.6
主婦(主夫)	43	22.3
パート・アルバイト	45	23.3
学生	6	3.1
無職	11	5.7
その他	16	8.3
無回答	8	4.1
合計	193	100.0

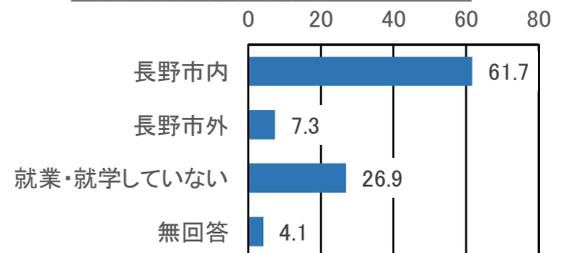
回答者職業(総数193、単位%)



(5) 就業・就学地

選択肢	回答数	割合(%)
長野市内	119	61.7
長野市外	14	7.3
就業・就学していない	52	26.9
無回答	8	4.1
合計	193	100.0

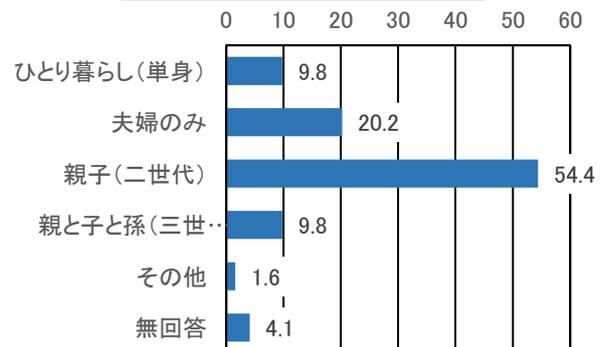
回答者就業・就学地(総数193、単位%)



(6) 家族構成

選択肢	回答数	割合(%)
ひとり暮らし(单身)	19	9.8
夫婦のみ	39	20.2
親子(二世帯)	105	54.4
親と子と孫(三世帯)	19	9.8
その他	3	1.6
無回答	8	4.1
合計	193	100.0

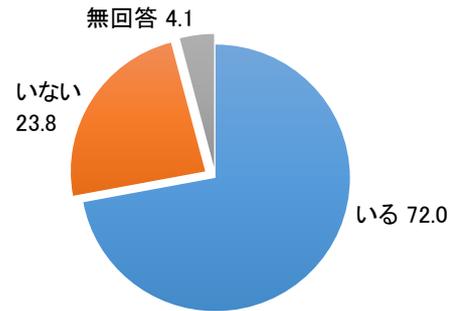
回答者家族構成(総数193、単位%)



(5-1) 子どもの有無

選択肢	回答(人)	割合(%)
いる	139	72.0
いない	46	23.8
無回答	8	4.1
合計	193	100.0

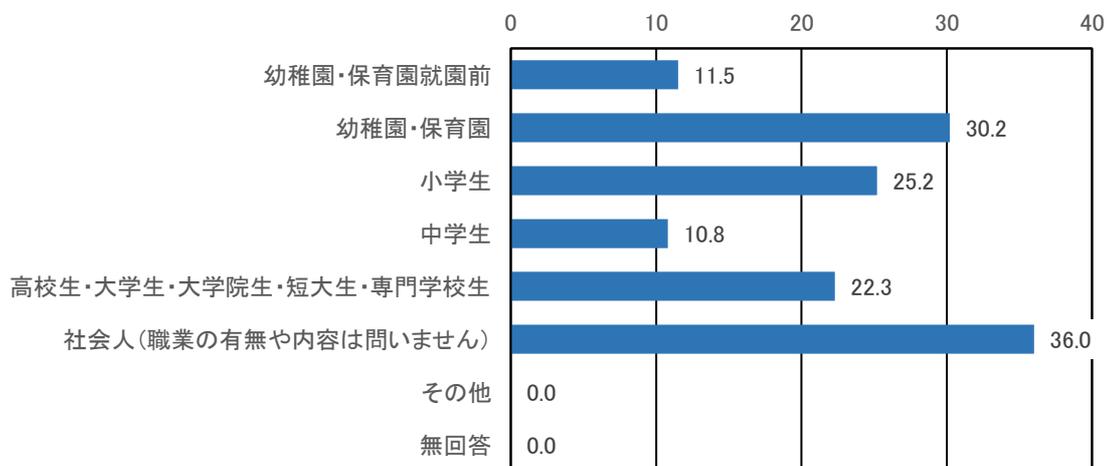
お子さんの有無(総数193、単位%)



(5-2) 子どもの状況(複数回答)

選択肢	回答数	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	16	11.5
幼稚園・保育園	42	30.2
小学生	35	25.2
中学生	15	10.8
高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生	31	22.3
社会人(職業の有無や内容は問いません)	50	36.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合計(%ベース)	139	100.0

お子さんの状況(総数193、複数回答、単位%)



第4 総括

本年度は、第五次総合計画後期基本計画の1年度目に当たるため、前期計画の総括を含め、現状値（H28）と6年間（H29～R4）の平均値を比較・検証しました。

- 平均値が5ポイント以上上昇した指標は、「環境や体制に関する評価」「回答者自身の実践状況」の各1指標でした（P30～33参照）。

順位	増減 (a-b)	平均 (H29～R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
【環境や体制に関する評価】						
1	7.0	51.1	44.1	↗	4-2-1	交通マナーが良い地域である
【回答者自身の実践状況】						
1	5.2	62.0	56.8	↗	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる

一方で、平均値が5ポイント以上低下した12指標（うち「環境や体制に関する評価」9指標、「回答者自身の実践状況」3指標）は以下のとおりです。

順位	増減 (a-b)	平均 (H29～R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
【環境や体制に関する評価】						
52	-10.1	53.8	63.9	↘	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
51	-9.7	42.9	52.6	↘	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
50	-7.5	41.5	49.0	↘	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
49	-6.5	34.2	40.7	↘	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
48	-6.1	43.4	49.5	↘	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
47	-5.9	51.5	57.4	↘	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
45	-5.7	39.3	45.0	↘	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
45	-5.7	41.8	47.5	↘	6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる
44	-5.6	44.1	49.7	↘	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
【回答者自身の実践状況】						
37	-7.5	63.7	71.2	↘	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている
36	-6.0	32.5	38.5	↘	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
35	-5.1	34.3	39.4	↘	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる

※「目標」は、現状値と比較して計画期間の平均値を5ポイント以上の上昇とする場合 

現状維持(5ポイント未満までの上昇)とする場合  と記載

- 上記指標（平均値が5ポイント以上低下）の「モニターの主な否定的意見」のうち、代表的意見は以下のとおりです。

順位	施策コード	指標名	モニターの主な否定的意見（代表的なもののみ抜粋）
【環境や体制に関する評価】			
52	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である	<ul style="list-style-type: none"> ✓保育園選択に時間がかかった。入園準備にお金がかかった(R3・R4) ✓子育て支援がない。児童手当ぐらいしか思い当たらないぐらいにない(R4) ✓金銭的サポートがない。子供の医療費が無料ではない(R4) ✓子育てを支える行政サービスの質が低い(R1・R2・R3・R4) ✓子どもが少ない(R2・R3・R4) ✓公園が少ない。支援センターが少ない、じゃんけんぽん以外にも毎日通える支援センターがほしい(H30・R2・R3・R4)
51	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ビッグな方に野外ライブとか誘致してほしいです！戸隠にB'zとか笑(R4) ✓コロナ自粛が多すぎる(R3・R4) ✓集客できる体制になっていないのでは？にぎわっているところをみたことがない(R4) ✓定着した開催がないと、活気には繋がっていない(R4) ✓もっと賑わって良いと思う(R4) ✓以前と比較すると現在はそうではない(R4)
50	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ✓山間地ほど子孫が住みにくいので老人が孤立(H29・R2・R3・R4) ✓山間部に住む両親は、運転免許証がなければ、農家、移動をする手段が無くなります(R4) ✓買い物や病院通いの際の、交通機関の充実が足りない気がする(R4) ✓過疎地ではサービスがいきわたらず結局は住居を離れざるをえないことが多いから(R4) ✓近くに店がない(R4) ✓公共交通機関の本数が少ない(H29・30・R1・R2・R3)
49	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の中には古い考えの人がいる。閉鎖的なところがある。社会の流れと個々の意識が追いついていない(H30・R2・R3・R4・R4) ✓意識したことがないが、いわゆる「よそ者」にはあまり優しくないと思う(R3・R4) ✓田舎特有の閉鎖的なコミュニティがとても強く、個人よりも地域や集団を優先させるいわゆる「古い時代」の価値観が根強いと思います(R1・R2・R3・R4)
48	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ✓学校の校庭を開放して欲しい(R4) ✓健康に関するイベントなどの情報がない(R4) ✓コロナで中止が多い(R2・R3・R4) ✓情報が簡単に検索できないし、手軽にスポーツできる機会がない(R4)
47	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	<ul style="list-style-type: none"> ✓保育園の定員数が少ないので入れるか不安です(R3・R4) ✓マスク着用の強要。アプリが使いにくい(pdfが見れない) ✓保育園に入ること自体大変(H29・H30・R1・R2・R3・R4) ✓延長保育の時間が短いし、収入に応じてだが高すぎる。保育所のスタッフ数が少ない(R4)
45	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういう環境を知らない、あるとしても情報がない(H29・H30・R2・R3・R\$) ✓社会と関わりたい思いがあっても、活動の場が見つからない(R4) ✓学習活動の種類が少なく、極めてレベルが低い。またボランティア活動も是非参加してみたいが、自治会活動以外の情報が乏しい(R4) ✓公民館活動でしかわからない(R4) ✓シルバー人材センターしか知らない(R4) ✓学びたいと思うところが無い(R4)
45	6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分が若い時に農業をやりたいと思ったが支援が無かった。現在も支援がない(R4) ✓農業の高齢化は急速に進み、一部の移住の若者以外はあまり話題になりません(R4) ✓あまり若者が農業をやる姿を見ない(R4)

順位	施策コード	指標名	モニターの主な否定的意見（代表的なもののみ抜粋）
【環境や体制に関する評価】			
44	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	<ul style="list-style-type: none"> ✓近所付き合いは無い(R4) ✓田舎特有の閉鎖的なコミュニティがとても強く、他からの移住者へは厳しくあたる印象を極めて大きく感じます(R4) ✓つながりが希薄(R3・R4) ✓アパート暮らしのためか、挨拶程度の関わりしかない。そういう家庭は多いと思う(R3・R4) ✓ご近所のこととはよく知らない。もうコミュニティができていて井戸端会議に参加できない(R4)
【回答者自身の実践状況】			
37	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている	<ul style="list-style-type: none"> ✓知らない子に声をかけると不審者あつかいされる(H30・R1・R2・R3・R4) ✓子供に会わない(H29・R2・R3・R4)
36	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域に関わることをしていない(R3・R4) ✓コロナ禍で、地域行事が制限されているから(R3・R4) ✓地域の伝統的な行事を知らないから(R3・R4)
35	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	<ul style="list-style-type: none"> ✓余暇を楽しむ時間がない(R3・R4) ✓興味が無い(R3・R4) ✓コロナ禍でめっきり機会が減った(R3・R4)

なお、上記指標に共通する課題としては、以下の4点が挙げられます。

①コロナ禍対策

【環境・体制】 2-2-1、2-2-2、2-3-2、2-4-1、2-5-1

【回答者自身】 5-1-3、5-3-1、5-3-2

②少子高齢化対策・人口減少対策

【環境・体制】 2-1-1、2-1-2、2-2-2、2-4-1

【回答者自身】 5-1-3

③地域における交流促進、地域コミュニティの再生

【環境・体制】 2-1-1、2-2-2、2-3-2

【回答者自身】 5-3-2

④交通ネットワークの拡充

【環境・体制】 2-2-2

⑤情報発信

【環境・体制】 2-2-1

【回答者自身】 5-3-2

第5 集計結果

I 環境や体制に関する評価 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	分からない	無回答
1-1-1	市民の声が市政に反映されている	2.3	17.2	36.5	16.8	26.3	1.0
1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている	6.1	29.9	26.9	11.1	25.1	0.8
1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている	2.6	18.6	32.4	13.0	32.5	1.0
1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	2.4	18.8	33.9	13.5	30.3	1.0
	市の職員に好感が持てる	10.4	35.2	23.7	10.8	19.0	0.9
1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる	5.4	24.8	26.7	11.3	30.7	1.0
2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である	11.4	39.3	18.5	7.8	21.1	1.9
2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	11.7	38.0	16.0	5.5	27.1	1.7
2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている	4.5	22.1	24.1	7.0	40.1	2.2
2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	5.8	30.7	27.3	10.2	24.3	1.7
2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	6.7	35.6	28.3	12.4	15.5	1.6
2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	3.5	20.8	29.9	13.3	30.9	1.6
2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	7.8	33.5	32.7	16.0	8.7	1.3
2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている	4.2	19.6	29.9	13.8	31.1	1.5
2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	6.5	34.7	31.0	9.4	16.7	1.7
2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	2.7	15.3	35.6	14.9	29.7	1.8
2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	14.4	46.2	21.0	6.5	10.3	1.6
2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	5.9	26.7	28.5	12.6	24.6	1.7
2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	4.4	20.1	30.4	13.8	29.7	1.7
3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	3.6	18.9	38.0	22.2	15.6	1.7
3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている	5.1	29.3	34.8	13.3	15.5	2.0
3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	10.2	35.2	32.5	11.8	8.4	1.9
3-2-1	豊かな自然環境が保たれている	21.3	50.3	16.3	4.7	5.4	1.9
3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている	20.8	52.5	17.5	4.1	3.2	2.0
4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	5.4	30.2	31.1	10.1	21.2	2.0
4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている	16.0	47.1	16.8	3.8	14.6	1.7
4-2-1	交通マナーが良い地域である	15.2	45.0	24.3	10.5	3.2	1.8
4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である	18.7	51.9	15.8	4.8	6.9	1.9
4-2-3	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	5.5	26.9	23.6	7.2	35.0	1.8

I 環境や体制に関する評価 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	分からない	無回答
5-1-1	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている	10.9	30.7	24.5	5.3	26.9	1.7
5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	10.7	33.0	23.0	5.8	26.1	1.4
5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	14.1	37.8	21.4	5.8	19.8	1.2
5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている	13.5	29.6	27.0	11.0	17.7	1.2
5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	12.4	30.7	27.3	10.4	17.8	1.3
5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	11.5	30.1	31.5	15.1	10.7	1.2
5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	14.4	40.0	19.5	6.2	18.6	1.3
5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	14.9	38.8	26.6	11.1	7.5	1.0
5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	10.6	29.8	29.8	16.3	12.2	1.4
5-5-1	国際交流が盛んに行われている	2.2	12.0	33.6	26.5	24.6	1.2
6-1-1	長野市は、魅力的な観光都市である	27.9	43.0	18.9	7.4	1.8	1.0
6-1-2							
6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	9.9	33.7	37.4	12.1	5.8	1.1
6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる	5.6	26.2	34.3	17.7	15.4	0.8
6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	58.6	33.1	3.7	2.7	1.1	0.7
6-2-3	森林が整備されている地域である	11.8	29.7	28.5	12.2	17.1	0.7
6-3-1	活力のある企業が多い地域である	4.7	25.2	38.8	15.0	15.3	1.0
6-3-2	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	9.1	33.1	32.5	14.9	9.5	1.0
6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている	5.1	25.9	31.3	13.4	23.3	0.9
6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている	2.5	13.9	40.6	22.2	20.1	0.8
6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	5.0	28.8	35.4	11.9	18.0	0.9
7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である	12.9	34.5	31.1	15.3	5.1	1.2
7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている	14.7	40.0	26.0	11.4	6.4	1.5
7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	4.7	25.7	41.4	18.2	8.9	1.0
7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である	15.4	47.0	24.8	8.9	2.6	1.2
7-2-1	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	6.8	24.1	32.7	30.8	4.4	1.3
7-2-2							

II 回答者自身の実践状況 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない あまり	当てはまらない	分からない	無回答
1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	2.4	6.7	20.2	65.5	4.3	0.8
1-1-2	まちづくりに関わるボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)に参加している	7.2	14.9	18.0	55.9	3.1	0.9
2-1-1	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	11.5	32.0	26.5	21.1	7.8	1.1
2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	13.3	39.2	24.6	16.2	5.5	1.1
2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	16.4	48.2	19.6	9.4	5.3	1.0
2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	16.9	42.7	22.6	13.3	3.6	0.9
2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	24.7	39.1	22.7	11.0	1.5	1.0
2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	24.6	44.9	17.5	9.1	2.9	0.9
2-4-3	かかりつけ医がいる	50.4	23.1	9.8	15.0	0.8	0.8
2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている	20.0	38.4	21.4	10.9	8.2	1.0
2-5-2	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている	18.1	38.2	20.9	12.1	9.7	1.0
3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	13.0	28.1	30.3	24.7	2.8	1.2
3-1-1	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている	14.3	45.8	26.7	10.1	1.9	1.2
3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	36.8	51.4	8.2	2.0	0.8	0.8
	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる	38.0	39.5	14.7	6.3	0.8	0.7
	ごみの分別を徹底している	65.4	29.5	3.1	1.0	0.4	0.6
3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	16.0	36.5	29.4	12.0	5.1	1.0
3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	16.9	29.8	24.8	23.9	3.6	1.0
4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	20.0	32.1	24.4	21.5	1.2	0.8
4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	10.6	21.1	29.1	36.4	1.8	1.0
4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している	38.0	39.8	10.1	7.6	3.7	0.9
4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている	23.3	42.6	21.4	8.3	3.4	1.0
4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	25.2	37.6	21.2	13.3	1.8	0.9
5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている	19.1	41.8	23.0	12.5	2.7	1.0

Ⅱ 回答者自身の実践状況 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない あまり	当てはまらない	分からない	無回答
5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している	6.1	14.4	25.2	49.7	3.8	0.8
5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	2.2	9.3	28.5	51.2	7.4	1.4
5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	10.3	25.8	26.3	34.1	2.5	1.1
5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している	6.5	22.4	27.4	40.3	2.3	1.2
5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	4.7	11.4	24.8	56.2	2.0	1.0
5-5-1	国際交流イベントに参加している	0.7	2.3	17.3	75.5	3.1	1.1
5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている	7.9	23.1	24.9	37.3	5.5	1.2
6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	8.7	23.1	30.5	32.1	4.3	1.2
6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	8.7	25.0	28.1	27.9	9.2	1.2
6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	20.2	22.0	14.1	40.8	1.9	1.0
6-2-2	地元産の農産物を買うように心がけている	40.2	40.2	10.5	6.9	1.3	0.9
6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている	44.1	36.2	11.5	6.0	1.2	1.0
7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	30.6	41.1	17.0	8.3	2.2	0.9
7-2-1	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	11.3	9.3	17.9	59.0	1.6	0.9
	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	17.0	31.5	26.3	18.8	5.2	1.2

第6 アンケート指標の推移

●：環境や体制に関する評価（54項目）



：現状値と比較して計画期間の平均値を5ポイント以上の上昇

○：回答者自身の実践状況（39項目）



：現状維持（5ポイント未満までの上昇）

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値 H28	前期平均値 H29～R3	R4実績値	平均	目標
1-1-1 市民とともにつくる市政の推進		企画政策部				
●	市民の声が市政に反映されている	19.2	19.2	19.5	19.3	↗
○	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	9.8	9.1	9.1	9.1	↗
1-1-2 市民によるまちづくり活動への支援		地域・市民生活部				
●	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている	36.3	37.3	36.0	37.1	↗
○	まちづくりに関わるボランティア活動（住民自治協議会や区なども含む）に参加している	23.2	23.8	22.1	23.5	↗
1-2-1 効果的で効率的な行財政運営の推進		総務部、財政部				
●	効果的で効率的な行政運営が行われている	20.4	20.2	21.2	20.4	↗
○	（設定なし）	—	—	—	—	
1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進		総務部、企画政策部				
●	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	20.2	20.7	21.2	20.8	↗
●	市の職員に好感が持てる	45.2	45.7	45.6	45.7	↗
○	（設定なし）	—	—	—	—	
1-2-3 地方中核都市としての役割の遂行		企画政策部				
●	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる	30.9	29.3	30.2	29.5	↗
○	（設定なし）	—	—	—	—	
2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援		こども未来部、保健福祉部				
●	子どもを産み育てやすい地域である	63.9	54.4	50.7	53.8	↗
○	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	45.3	46.1	43.5	45.7	↗
2-1-2 子どもの成長を育む環境の充実		こども未来部、保健福祉部				
●	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	57.4	51.9	49.7	51.5	↗
○	〔再掲：2-1-1 子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている〕	45.3	46.1	43.5	45.7	↗
2-1-3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援		こども未来部、保健福祉部				
●	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている	32.5	27.9	26.6	27.7	↗
○	（設定なし）	—	—	—	—	

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	前期平均値	R4実績値	平均	目標
		H28	H29～R3			
2-2-1 高齢者の社会参加と生きがいの推進		保健福祉部				
●	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	45.0	39.7	36.5	39.2	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
2-2-2 高齢者福祉サービスの充実		保健福祉部				
●	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	49.0	41.3	42.3	41.5	↗
○	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	52.5	53.6	52.5	53.4	↗
2-3-1 障害者(児)福祉の充実		保健福祉部				
●	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	26.7	23.3	24.3	23.5	↗
○	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	65.2	65.0	64.6	64.9	↗
2-3-2 認め合い、支え合い、活かす合う地域社会の実現		保健福祉部				
●	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	49.7	44.7	41.3	44.1	↗
○	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	55.6	59.5	59.6	59.5	↗
2-3-3 生活の安定と自立への支援		保健福祉部				
●	生活に困った時に相談できる体制が整っている	27.3	23.5	23.8	23.6	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
2-4-1 健康の保持・増進の支援		保健福祉部				
●	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	49.5	43.8	41.2	43.4	↗
○	健康づくりに継続的に取り組んでいる	56.8	61.6	63.8	62.0	↗
2-4-2 保健衛生の充実		保健福祉部				
●	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	21.7	18.2	18.0	18.2	↗
○	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	64.8	68.2	69.5	68.4	↗
2-4-3 地域医療体制の充実		保健福祉部				
●	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	62.9	60.2	60.6	60.3	↗
○	かかりつけ医がいる	75.4	74.3	73.5	74.2	→
2-5-1 人権尊重社会の実現		地域・市民生活部				
●	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	40.7	34.5	32.6	34.2	↗
○	人権問題について理解を深めようとしている	52.4	55.4	58.4	55.9	↗
2-5-2 男女共同参画社会の実現		地域・市民生活部				
●	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	29.0	24.6	24.5	24.6	↗
○	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている	47.3	51.3	56.3	52.1	↗

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	前期平均値	R4実績値	平均	目標
		H28	H29～R3			
3-1-1 低炭素社会の実現		環境部				
●	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	27.4	27.3	22.5	26.5	↗
●	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている	—	—	34.4	34.4	
○	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	43.3	40.7	41.1	40.8	↗
○	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている	—	—	60.1	60.1	
3-1-2 循環型社会の実現		環境部				
●	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	50.0	48.0	45.4	47.6	↗
○	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	81.7	83.0	88.2	83.9	→
○	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる	—	—	77.5	77.5	
○	ごみの分別を徹底している	93.3	92.7	94.9	93.1	→
3-2-1 豊かな自然環境の保全		環境部				
●	豊かな自然環境が保たれている	73.6	70.5	71.6	70.7	→
○	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	50.2	50.2	52.5	50.6	↗
3-2-2 良好な生活環境の保全		環境部				
●	空気や水がきれい、まちも美しく保たれている	74.1	71.9	73.3	72.1	→
○	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	48.8	47.3	46.7	47.2	↗
4-1-1 防災・減災対策の推進		総務部				
●	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	35.5	33.8	35.6	34.1	↗
○	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	41.1	43.4	52.1	44.9	↗
4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防		消防局				
●	消防や救急体制が十分に整っている	62.7	61.3	63.1	61.6	↗
○	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	37.6	34.0	31.7	33.6	↗
4-2-1 交通安全対策の推進		地域・市民生活部				
●	交通マナーが良い地域である	44.1	49.3	60.2	51.1	↗
○	自転車の交通ルールやマナーを意識している	90.4	88.5	77.8	86.7	→
4-2-2 防犯対策の推進		地域・市民生活部				
●	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である	—	—	70.6	70.6	
○	犯罪被害に遭わないよう対策をしている	—	—	65.9	65.9	
4-2-3 安全な消費生活の確保		地域・市民生活部				
●	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	31.0	30.8	32.4	31.1	↗
○	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	60.9	56.8	62.8	57.8	↗

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	前期平均値	R4実績値	平均	目標
		H28	H29～R3			
5-1-1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実		教育委員会、こども未来部				
●	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている	41.2	43.2	41.6	42.9	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
5-1-2 子どもに応じた支援の充実		教育委員会、こども未来部				
●	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	41.0	42.7	43.7	42.9	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
5-1-3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力の向上		教育委員会、こども未来部				
●	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	49.7	52.2	51.9	52.2	↗
○	地域の子どものあいさつや声かけをしている	71.2	64.3	60.9	63.7	↗
5-2-1 生涯学習環境の充実		教育委員会				
●	公民館などで、学びの機会が提供されている	52.0	48.2	43.1	47.4	↗
○	公民館などで提供されている学びの場に参加している	26.8	24.0	20.5	23.4	↗
5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進		教育委員会				
●	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	50.8	48.5	43.1	47.6	↗
○	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	19.2	14.9	11.5	14.3	↗
5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援		文化スポーツ振興部				
●	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	40.7	40.0	41.6	40.3	↗
○	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	39.4	33.9	36.1	34.3	↗
5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進		教育委員会、文化スポーツ振興部				
●	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	51.0	51.8	54.4	52.2	↗
○	地域の伝統的な行事に参加している	38.5	33.2	28.9	32.5	↗
5-4-1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進		文化スポーツ振興部				
●	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	54.8	53.0	53.7	53.1	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進		文化スポーツ振興部				
●	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	35.1	36.6	40.4	37.2	↗
○	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	22.8	19.4	16.1	18.9	↗
5-5-1 国際交流活動の推進		企画政策部、教育委員会				
●	国際交流が盛んに行われている	12.6	14.9	14.2	14.8	↗
○	国際交流イベントに参加している	5.2	3.9	3.0	3.8	↗

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	前期平均値	R4実績値	平均	目標
		H28	H29～R3			
5-5-2 多文化共生の推進		企画政策部、教育委員会				
●	(設定なし)	—	—	—	—	—
○	外国の文化や習慣を理解しようと努めている	31.0	29.9	31.0	30.1	↗
6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進		商工観光部				
●	長野市は、魅力的な観光都市である	66.4	63.9	70.9	65.1	↗
○	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	36.4	33.0	31.8	32.8	↗
6-1-2 インパウンドの推進		商工観光部				
●	[再掲:6-1-1 長野市は、魅力的な観光都市である]	66.4	63.9	70.9	65.1	↗
○	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	34.2	34.7	33.7	34.5	↗
6-1-3 コンベンションの誘致推進		商工観光部				
●	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	52.6	42.8	43.6	42.9	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進		農林部				
●	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる	47.5	43.8	31.8	41.8	↗
○	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	44.0	43.1	42.2	43.0	↗
6-2-2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進		農林部				
●	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	87.8	88.5	91.7	89.0	→
○	地元産の農産物を買うように心がけている	80.9	77.2	80.4	77.7	→
6-2-3 森林の保全と資源の活用促進		農林部				
●	森林が整備されている地域である	41.1	38.9	41.5	39.3	→
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進		商工観光部				
●	活力のある企業が多い地域である	22.8	25.4	29.9	26.2	↗
●	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	30.7	33.5	42.2	35.0	↗
○	地元のお店で買い物をするように心がけている	79.6	78.3	80.3	78.6	→
6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進		商工観光部				
●	[再掲:6-3-1 活力のある企業が多い地域である]	22.8	25.4	29.9	26.2	↗
●	[再掲:6-3-1 市内に个性的で魅力的なお店が増えている]	30.7	33.5	42.2	35.0	↗
○	[再掲:6-3-1 地元のお店で買い物をするように心がけている]	79.6	78.3	80.3	78.6	→

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	前期平均値	R4実績値	平均	目標
		H28	H29～R3			
6-3-3 新たな活力につながる産業の創出		商工観光部				
●	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている	—	—	31.0	31.0	
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
6-4-1 就労の促進と多様な働き方の支援		商工観光部				
●	仕事を見つけやすい環境が整っている	13.2	14.2	16.4	14.6	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
6-4-2 勤労者福祉の推進		商工観光部				
●	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	34.4	32.6	33.8	32.8	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
7-1-1 地域の特性に応じた都市機能の充実		都市整備部				
●	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である	49.4	48.7	47.4	48.5	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
7-1-2 暮らしを支える生活機能の維持		建設部、上下水道局				
●	日常生活に必要なインフラが整備されている	51.7	53.4	54.7	53.6	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
7-1-3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進		建設部、都市整備部				
●	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	30.3	30.6	30.4	30.6	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成		都市整備部				
●	景観やまちなみが美しい地域である	57.2	57.4	62.4	58.2	↗
○	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	73.9	70.9	71.7	71.0	↗
7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築		都市整備部				
●	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	35.7	33.0	30.9	32.7	↗
○	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	26.4	23.0	20.6	22.6	↗
○	公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	50.4	50.0	48.5	49.8	↗
7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備		都市整備部				
●	[再掲:7-2-1 公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている]	35.7	33.0	30.9	32.7	↗
○	[再掲:7-2-1 通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している]	26.4	23.0	20.6	22.6	↗
○	[再掲:7-2-1 公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている]	50.4	50.0	48.5	49.8	↗

▼実績値の上位順（環境や体制に関する評価）

順位							実績値 (R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28					
1	1	1	1	1	1	1	91.7	87.8	⇒	6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
2	2	2	2	2	2	2	73.3	74.1	⇒	3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
3	3	3	3	3	3	3	71.6	73.6	⇒	3-2-1	豊かな自然環境が保たれている
4	4	4	4	5	4	4	70.9	66.4	↗	6-1-1 6-1-2	長野市は、魅力的な観光都市である
5	—	—	—	—	—	—	70.6	—		4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である
6	6	6	5	4	5	7	63.1	62.7	↗	4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている
7	7	7	7	7	8	9	62.4	57.2	⇒	7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である
8	5	5	6	6	7	6	60.6	62.9	↗	2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
9	8	11	21	20	18	25	60.2	44.1	↗	4-2-1	交通マナーが良い地域である
10	9	10	13	9	9	13	54.7	51.7	↗	7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている
11	12	12	10	15	16	14	54.4	51.0	↗	5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている
12	11	13	9	13	11	10	53.7	54.8	↗	5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
13	14	9	8	14	14	17	51.9	49.7	↗	5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている
14	10	8	11	8	10	5	50.7	63.9	↗	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
15	13	14	12	12	13	8	49.7	57.4	↗	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
16	15	15	16	16	17	20	47.4	49.4	↗	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
17	16	18	20	21	24	23	45.6	45.2	↗	1-2-2	市の職員に好感が持てる
18	18	22	19	17	6	16	45.4	50.0	↗	3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
19	25	17	24	26	26	29	43.7	41.0	↗	5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている
20	34	28	17	18	19	11	43.6	52.6	↗	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
21	21	25	15	10	15	12	43.1	52.0	↗	5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている
21	19	21	14	11	12	15	43.1	50.8	↗	5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている
23	23	24	31	29	25	21	42.3	49.0	↗	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
24	31	35	33	37	40	40	42.2	30.7	↗	6-3-1 6-3-2	市内に個性的で魅力的なお店が増えている
25	22	16	18	28	28	27	41.6	41.2	↗	5-1-1	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている
25	29	30	26	24	29	30	41.6	40.7	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている

順位							実績値 (R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28					
27	26	26	28	32	33	28	41.5	41.1	➡	6-2-3	森林が整備されている地域である
28	24	19	23	19	20	18	41.3	49.7	↗	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
29	20	23	22	22	23	19	41.2	49.5	↗	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
30	32	36	27	30	32	35	40.4	35.1	↗	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている
31	28	29	30	27	27	24	36.5	45.0	↗	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
32	30	31	32	31	30	32	36.0	36.3	↗	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている
33	35	37	35	34	34	34	35.6	35.5	↗	4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている
34	—	—	—	—	—	—	34.4	—		3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている
35	37	33	36	38	38	36	33.8	34.4	↗	6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
36	33	32	34	33	35	31	32.6	40.7	↗	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
37	39	40	40	35	37	38	32.4	31.0	↗	4-2-3	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
38	17	20	25	25	21	22	31.8	47.5	↗	6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる
39	—	—	—	—	—	—	31.0	—		6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている
40	36	34	37	36	36	33	30.9	35.7	↗	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
41	38	38	39	39	39	41	30.4	30.4	↗	7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
42	41	39	38	42	41	39	30.2	30.9	↗	1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に、発展に向けて取り組んでいる
43	40	43	42	44	46	46	29.9	22.8	↗	6-3-1 6-3-2	活力のある企業が多い地域である
44	42	41	41	40	42	37	26.6	32.5	↗	2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
45	44	42	44	43	43	42	24.5	29.0	↗	2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
46	46	44	46	45	45	45	24.3	26.7	↗	2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている
47	43	45	45	46	44	44	23.8	27.3	↗	2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている
48	45	46	43	41	31	43	22.5	27.4	↗	3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている
49	48	48	48	48	47	48	21.2	20.4	↗	1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている
49	47	47	47	47	48	49	21.2	20.2	↗	1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている
51	49	49	49	49	49	50	19.5	19.2	↗	1-1-1	市民の声が市政に反映されている

順位							実績値 (R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28					
52	50	50	51	50	50	47	18.0	21.7	↗	2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている
53	51	52	52	51	52	51	16.4	13.2	↗	6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている
54	52	51	50	52	51	52	14.2	12.6	↗	5-5-1	国際交流が盛んに行われている

▼実績値の上位順（回答者自身の実践状況）

順位							実績値 (R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28					
1	1	1	1	1	1	1	94.9	93.3	⇒	3-1-2	ごみの分別を徹底している
2	3	3	3	3	3	3	88.2	81.7	⇒	3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
3	5	5	5	5	5	4	80.4	80.9	⇒	6-2-2	地元産の農産物を買うように心がけている
4	4	4	4	4	4	5	80.3	79.6	⇒	6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている
5	2	2	2	2	2	2	77.8	90.4	⇒	4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している
6	-	-	-	-	-	-	77.5	-		3-1-2	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
7	6	6	6	6	6	6	73.5	75.4	⇒	2-4-3	かかりつけ医がいる
8	7	7	7	7	7	7	71.7	73.9	⇒	7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている
9	8	8	8	8	8	10	69.5	64.8	⇒	2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている
10	-	-	-	-	-	-	65.9	27.6	⇒	4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている
11	10	10	9	11	9	9	64.6	65.2	⇒	2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている
12	11	12	13	12	11	13	63.8	56.8	⇒	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる
13	15	14	14	14	17	12	62.8	60.9	⇒	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている
14	12	11	10	9	10	8	60.9	71.2	⇒	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている
15	-	-	-	-	-	-	60.1	-		3-1-1	災害に対する備え（防災グッズ・バザードマップの確認）や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている
16	14	13	12	13	12	14	59.6	55.6	⇒	2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている
17	13	15	15	15	15	16	58.4	52.4	⇒	2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている
18	16	18	18	18	19	20	56.3	47.3	⇒	2-5-2	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている
19	17	16	16	16	14	15	52.5	52.5	⇒	2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
19	18	17	17	17	22	18	52.5	50.2	⇒	3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている
21	19	19	22	24	25	24	52.1	41.1	⇒	4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している
22	20	20	19	19	16	17	48.5	50.4	⇒	7-2-1 7-2-2	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている
23	21	22	20	20	18	19	46.7	48.8	⇒	3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
24	22	21	21	21	20	21	43.5	45.3	⇒	2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている
25	23	23	23	22	21	22	42.2	44.0	⇒	6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる
26	24	24	24	23	23	23	41.1	43.3	⇒	3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている

順位							実績値 (R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28					
27	28	29	26	25	26	25	36.1	39.4	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる
28	27	25	27	27	24	29	33.7	34.2	↗	6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている
29	26	28	29	29	27	28	31.8	36.4	↗	6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている
30	25	27	25	28	29	27	31.7	37.6	↗	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している
31	30	30	30	30	30	30	31.0	31.0	↗	5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている
32	29	26	28	26	28	26	28.9	38.5	↗	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
33	31	31	33	34	34	34	22.1	23.2	↗	1-1-2	まちづくりに関わるボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)に参加している
34	34	34	34	33	31	33	20.6	26.4	↗	7-2-1 7-2-2	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している
35	33	33	32	31	33	32	20.5	26.8	↗	5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している
36	35	35	35	35	35	35	16.1	22.8	↗	5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している
37	36	36	36	36	36	36	11.5	19.2	↗	5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている
38	37	37	37	37	37	37	9.1	9.8	↗	1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている
39	38	38	38	38	38	38	3.0	5.2	↗	5-5-1	国際交流イベントに参加している

▼前期計画平均値と R4 実績値の比較による上位順（環境や体制に関する評価）

順位	増減(a-b)	R4(a) 実績値	H29～R3 平均(b)	施策 コード	指標名
1	10.9	60.2	49.3	4-2-1	交通マナーが良い地域である
2	8.7	42.2	33.5	6-3-1 6-3-2	市内に個性的で魅力的なお店が増えている
3	7.0	70.9	63.9	6-1-1 6-1-2	長野市は、魅力的な観光都市である
4	5.0	62.4	57.4	7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である
5	4.5	29.9	25.4	6-3-1 6-3-2	活力のある企業が多い地域である
6	3.8	40.4	36.6	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている
7	3.2	91.7	88.5	6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
8	2.6	54.4	51.8	5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている
8	2.6	41.5	38.9	6-2-3	森林が整備されている地域である
10	2.2	16.4	14.2	6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている
11	1.8	35.6	38.8	4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている
11	1.8	63.1	61.3	4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている
13	1.6	41.6	40.0	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている
13	1.6	32.4	30.8	4-2-3	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
15	1.4	73.3	71.9	3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
16	1.3	54.7	53.4	7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている
17	1.2	33.8	32.6	6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
18	1.1	71.6	70.5	3-2-1	豊かな自然環境が保たれている
19	1.0	42.3	41.3	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
19	1.0	21.2	20.2	1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている
19	1.0	43.7	42.7	5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている
19	1.0	24.3	23.3	2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている
23	0.9	30.2	29.3	1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に、発展に向けて取り組んでいる
24	0.8	43.6	42.8	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
25	0.7	53.7	53.0	5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
26	0.5	21.2	20.7	1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている
27	0.4	60.6	60.2	2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
28	0.3	19.5	19.2	1-1-1	市民の声が市政に反映されている

順位	増減(a-b)	R4(a) 実績値	H29～R3 平均(b)	施策 コード	指標名
28	0.3	23.8	23.5	2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている
30	-0.1	45.6	45.7	1-2-2	市の職員に好感が持てる
30	-0.1	24.5	24.6	2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
32	-0.2	18.0	18.2	2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている
32	-0.2	30.4	30.6	7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
34	-0.3	51.9	52.2	5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている
35	-0.7	14.2	14.9	5-5-1	国際交流が盛んに行われている
36	-1.3	36.0	37.3	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている
36	-1.3	26.6	27.9	2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
36	-1.3	47.4	48.7	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
39	-1.6	41.6	43.2	5-1-1	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている
40	-1.9	32.6	34.5	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
41	-2.1	30.9	33.0	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
42	-2.2	49.7	51.9	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
43	-2.6	41.2	43.8	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
43	-2.6	45.4	48.0	3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
45	-3.3	36.5	39.8	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
46	-3.4	41.3	44.7	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
47	-3.7	50.7	54.4	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
48	-4.8	22.5	27.3	3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている
49	-5.1	43.1	48.2	5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている
50	-5.4	43.1	48.5	5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている
51	-12.0	31.8	43.8	6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる
—	—	34.4	—	3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている
—	—	70.6	—	4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である
—	—	31.0	—	6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている

▼前期計画平均値と R4 実績値の比較による上位順（回答者自身の実践状況）

順位	増減(a-b)	R4(a) 実績値	H29～R3 平均(b)	施策 コード	指標名
1	8.7	52.1	43.4	4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している
2	6.0	62.8	56.8	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている
3	5.2	88.2	83.0	3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
4	5.0	56.3	51.3	2-5-2	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている
5	3.2	80.4	77.2	6-2-2	地元産の農産物を買うように心がけている
6	3.0	58.4	55.4	2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている
7	2.3	52.5	50.2	3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている
8	2.2	36.1	33.9	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる
8	2.2	94.9	92.7	3-1-2	ごみの分別を徹底している
8	2.2	63.8	61.6	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる
11	2.0	80.3	78.3	6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている
12	1.3	69.5	68.2	2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている
13	1.1	31.0	29.9	5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている
14	0.8	71.7	70.9	7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている
15	0.4	41.1	40.7	3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている
16	0.1	59.6	59.5	2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている
17	0.0	9.1	9.1	1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている
18	-0.4	64.6	65.0	2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている
19	-0.6	46.7	47.3	3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
20	-0.8	73.5	74.3	2-4-3	かかりつけ医がいる
21	-0.9	42.2	43.1	6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる
21	-0.9	3.0	3.9	5-5-1	国際交流イベントに参加している
23	-1.0	33.7	34.7	6-2-1	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている
24	-1.1	52.5	53.6	2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
25	-1.2	31.8	33.0	6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている
26	-1.5	48.5	50.0	7-2-1 7-2-2	公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている
27	-1.7	22.1	23.8	1-1-2	まちづくりに関わるボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)に参加している
28	-2.3	31.7	34.0	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している

順位	増減(a-b)	R4(a) 実績値	H29～R3 平均(b)	施策 コード	指標名
28	-2.3	31.7	34.0	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している
29	-2.4	20.6	23.0	7-2-1 7-2-2	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している
30	-2.6	43.5	46.1	2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている
31	-3.3	16.1	19.4	5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している
32	-3.4	60.9	64.3	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている
32	-3.4	11.5	14.9	5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている
34	-3.5	20.5	24.0	5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している
35	-4.3	28.9	33.2	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
36	-10.7	77.8	88.5	4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している
-	-	60.1	-	3-1-1	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている
-	-	77.5	-	3-1-2	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
-	-	65.9	-	4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている

▼現状値と平均値との比較による上位順（環境や体制に関する評価）

順位	増減 (a-b)	平均値 (H29～R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
1	7.0	51.1	44.1	↗	4-2-1	交通マナーが良い地域である
2	4.3	35.0	30.7	↗	6-3-1 6-3-2	市内に個性的で魅力的なお店が増えている
3	3.4	26.2	22.8	↗	6-3-1 6-3-2	活力のある企業が多い地域である
4	2.5	52.2	49.7	↗	5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている
5	2.2	14.8	12.6	↗	5-5-1	国際交流が盛んに行われている
6	2.1	37.2	35.1	↗	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている
7	1.9	53.6	51.7	↗	7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている
7	1.9	42.9	41.0	↗	5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている
9	1.7	42.9	41.2	↗	5-1-1	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている
10	1.4	14.6	13.2	↗	6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている
11	1.2	52.2	51.0	↗	5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている
11	1.2	89.0	87.8	⇒	6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
13	1.0	58.2	57.2	⇒	7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である
14	0.8	37.1	36.3	↗	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO 法人などの活動がまちづくりに役立っている
15	0.6	20.8	20.2	↗	1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている
16	0.5	45.7	45.2	↗	1-2-2	市の職員に好感が持てる
17	0.3	30.6	30.3	↗	7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
18	0.1	19.3	19.2	↗	1-1-1	市民の声が市政に反映されている
18	0.1	31.1	31.0	↗	4-2-3	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
20	0.0	20.4	20.4	↗	1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている
21	-0.4	40.3	40.7	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている
22	-0.9	26.5	27.4	↗	3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている
22	-0.9	48.5	49.4	↗	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
24	-1.1	61.6	62.7	↗	4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている
25	-1.3	65.1	66.4	↗	6-1-1 6-1-2	長野市は、魅力的な観光都市である
26	-1.4	29.5	30.9	↗	1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる
26	-1.4	34.1	35.5	↗	4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている

順位	増減 (a-b)	平均値 (H29~R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
28	-1.6	32.8	34.4	↗	6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
29	-1.7	53.1	54.8	↗	5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
30	-1.8	39.3	41.1	⇒	6-2-3	森林が整備されている地域である
31	-2.0	72.1	74.1	⇒	3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
32	-2.4	47.6	50.0	↗	3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
33	-2.6	60.3	62.9	↗	2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
34	-2.9	70.7	73.6	⇒	3-2-1	豊かな自然環境が保たれている
35	-3.0	32.7	35.7	↗	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
36	-3.2	47.6	50.8	↗	5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている
36	-3.2	23.5	26.7	↗	2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている
38	-3.5	18.2	21.7	↗	2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている
39	-3.7	23.6	27.3	↗	2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている
40	-4.4	24.6	29.0	↗	2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
41	-4.6	47.4	52.0	↗	5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている
42	-4.8	27.7	32.5	↗	2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
43	-5.6	44.1	49.7	↗	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
44	-5.7	41.8	47.5	↗	6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる
45	-5.8	39.2	45.0	↗	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
46	-5.9	51.5	57.4	↗	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
47	-6.1	43.4	49.5	↗	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
48	-6.5	34.2	40.7	↗	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
49	-7.5	41.5	49.0	↗	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
50	-9.7	42.9	52.6	↗	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
51	-10.1	53.8	63.9	↗	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
—	—	34.4	—		3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている
—	—	70.6	—		4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である
	—	31.0	—		6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている

▼現状値と平均値との比較による上位順（回答者自身の実践状況）

順位	増減 (a-b)	平均値 (H29～R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
1	5.2	62.0	56.8	↗	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる
2	4.8	52.1	47.3	↗	2-5-2	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている
3	3.9	59.5	55.6	↗	2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている
4	3.8	44.9	41.1	↗	4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している
5	3.6	68.4	64.8	↗	2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている
6	3.5	55.9	52.4	↗	2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている
7	2.2	83.9	81.7	⇒	3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
8	0.9	53.4	52.5	↗	2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
9	0.4	45.7	45.3	↗	2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている
9	0.4	50.6	50.2	↗	3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている
11	0.3	23.5	23.2	↗	1-1-2	まちづくりに関わるボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)に参加している
11	0.3	34.5	34.2	↗	6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている
13	-0.2	93.1	93.3	⇒	3-1-2	ごみの分別を徹底している
14	-0.3	64.9	65.2	↗	2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている
15	-0.6	49.8	50.4	↗	7-2-1 7-2-2	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている
16	-0.7	9.1	9.8	↗	1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている
17	-0.9	30.1	31.0	↗	5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている
18	-1.0	43.0	44.0	↗	6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる
18	-1.0	78.6	79.6	⇒	6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている
20	-1.2	74.2	75.4	⇒	2-4-3	かかりつけ医がいる
21	-1.4	3.8	5.2	↗	5-5-1	国際交流イベントに参加している
22	-1.6	47.2	48.8	↗	3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
23	-2.5	40.8	43.3	↗	3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている
24	-2.9	71.0	73.9	⇒	7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている
25	-3.1	57.8	60.9	↗	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている
26	-3.2	77.7	80.9	⇒	6-2-2	地元産の農産物を買うように心がけている
27	-3.4	23.4	26.8	↗	5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している

順位	増減 (a-b)	平均値 (H29~R4)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
28	-3.6	32.8	36.4	↗	6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている
29	-3.7	86.7	90.4	⇒	4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している
30	-3.8	22.6	26.4	↗	7-2-1 7-2-2	通勤、通学、通院などの移手段として、公共交通機関を日常的に利用している
31	-3.9	18.9	22.8	↗	5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している
32	-4.0	33.6	37.6	↗	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している
33	-4.9	14.3	19.2	↗	5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている
34	-5.1	34.3	39.4	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる
35	-6.0	32.5	38.5	↗	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
36	-7.5	63.7	71.2	↗	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている
-	-	60.1	-		3-1-1	災害に対する備え(防災グッズ・ハザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている
-	-	77.5	-		3-1-2	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
-	-	65.9	-		4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている

第7 施策別の分析結果

【施策コード／施策名】 1-1-1 市民とともに作る市政の推進		【担当部局】 企画政策部								
【区分】	【指標名】									
●	市民の声が市政に反映されている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	19.2%	
肯定的評価割合	19.0%	18.4%	18.7%	21.2%	18.8%	19.5%				
否定的評価割合	50.1%	50.8%	51.1%	48.9%	55.4%	53.3%				
評価保留割合	29.2%	28.1%	26.7%	27.7%	24.1%	26.3%		平均値 (H29～R4)	19.3%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合

年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合
18~19歳	26.1	47.8	24.4
20~29歳	17.7	46.1	36.2
30~39歳	11.0	52.2	36.8
40~49歳	14.9	58.9	26.2
50~59歳	21.4	55.7	22.9
60~64歳	15.1	61.2	23.7
65~69歳	19.3	54.4	26.3
70歳以上	24.4	48.3	27.3

【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- モニター(参考)

年度	肯定的評価割合	モニター(参考)
H28	19.2%	16.0%
H29	19.0%	25.3%
H30	18.4%	26.1%
R1	18.7%	25.2%
R2	21.2%	23.7%
R3	18.8%	23.0%
R4	19.5%	37.3%

【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ そう思う	19歳以下	✓ 反映されていると思ったことはない
✓ 少しずつだが、確実に暮らしやすい工夫をしてくださっていると思う	20~29歳	✓ 実感がわからない
✓ 住みやすい環境	30~39歳	✓ 反映していないから今の長野市に不満がある
✓ 市長がかわって市民の声を積極的に聞こう！としている姿勢を感じられる	30~39歳	✓ どこに声をあげればいいのかもわからない
✓ このようなアンケートを実施されていること自体が、市民の声を聞いてくださることであり、市政に反映してくださるのだと期待しています	40~49歳	✓ 体制ばかり整えて満足しているのではないと思う
✓ 自治会の依頼に対して支援して頂いた	40~49歳	✓ 和式トイレがどんどん減っているから
✓ 市長への手紙などがある	50~59歳	✓ 空き家問題、街灯の少なさはずっと思っているが変わらない
✓ 前市政からアンケートなどで市民の声を吸い上げる姿勢ができてきたのではないかと	50~59歳	✓ 意見を述べても動いてくれない
✓ いろいろな意見があるので、それを反映させるのはむずかしいと思う。その意見自体も、個々の損得勘定が絡んでいることもある	60~69歳	✓ そうおもわないから
✓ 新市長に期待	60~69歳	✓ 市民の声が届かないし、行政の真剣さが伝わってこないことが残念でならない
✓ 市政に対する声は従来から見れば届きやすくなったことは事実。支所窓口を通して伝えることが可能である	70歳以上	✓ 市民の声を何処で聞いているのでしょうか？
	70歳以上	✓ 反映された実態公表がないから
	70歳以上	✓ 市民の声がどの位あるのか示してから質問して欲しい
	70歳以上	✓ 反映された実態公表がない

【施策コード／施策名】
1-1-1 市民とともに作る市政の推進

【担当部局】
企画政策部

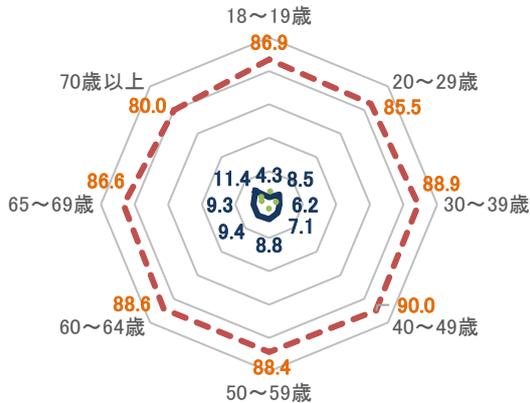
【区分】 ○ 【指標名】
地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	9.4%	10.0%	7.7%	8.5%	10.1%	9.1%
否定的評価割合	80.8%	83.7%	84.9%	84.5%	84.5%	85.7%
評価保留割合	7.7%	4.1%	4.3%	5.2%	3.6%	4.3%

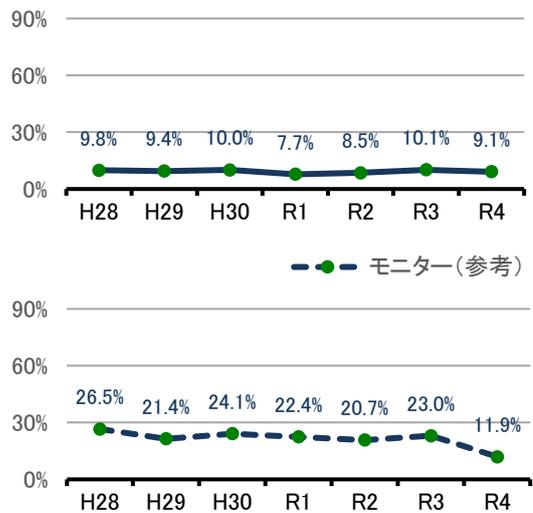
現状値 (H28)	目標 (R4)	9.8%
平均値 (H29～R4)		9.1%

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

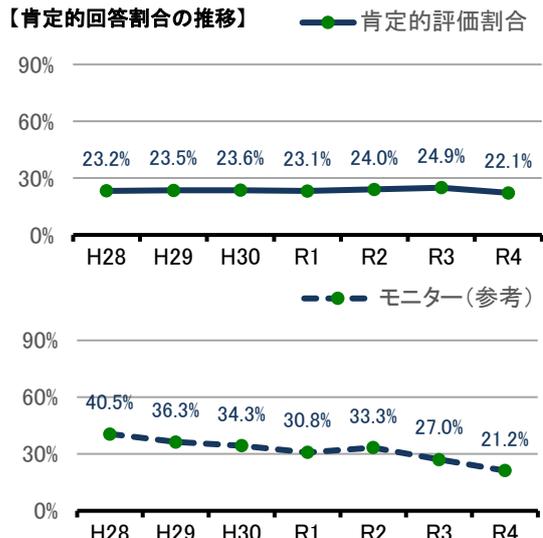
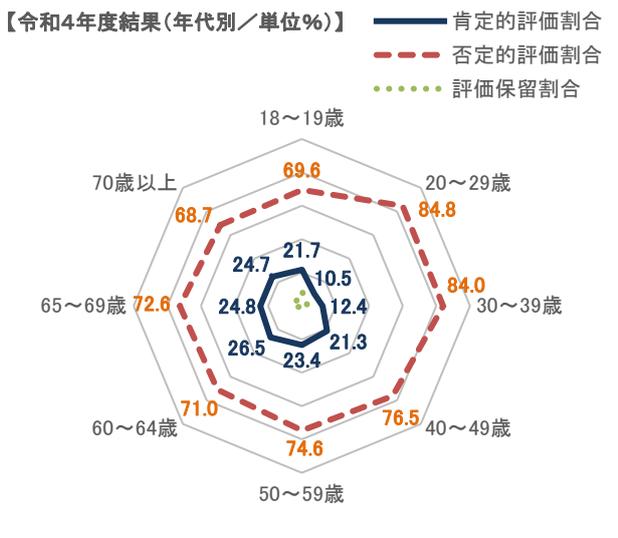
【モニターの主な否定的意見】

	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓そのようなことをした事がない ✓やり方がわからない
	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓どこに伝えるべきか不明 ✓興味無い ✓そのようなことをしたことが無い
<ul style="list-style-type: none"> ✓幸せ実感モニターに参加しているから ✓住民自治協議会を通じて、意見を伝えている ✓このアンケートに参加しようと考えたきっかけ ✓何度かしている 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓アイデアがない ✓どうやって寄せていいかわからない ✓機会がない ✓これから出していいかと思っている ✓生かされると思っていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓防災交流センター検討委員会の活動として ✓緑の窓口などに投書したり、国道事務所に通報したりということは多少ある ✓みどりのはがきホームページに投稿しているがきちんと読んでもらえているのか不安です 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓意見を言う場所がわからない ✓今は意見が無いから ✓意見を言っても反応がないから、諦めているから ✓自分の経験を活かす場があれば参加したいのですが機会がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓市役所周りのコンクリート構造物の面取りがされていないコトを提案したことがある→対応無し 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓アイデアを寄せる方法がわかりません ✓地域づくりに関して考える余裕がない ✓意見をすることがない。このアンケートが初体験
<ul style="list-style-type: none"> ✓時々意見を自治会で述べています ✓長沼の復興が、手付かず 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓寄せても取り合ってくれないので諦めている ✓特にアイデアがないから ✓地域とは交わりがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の役員をしているので ✓住自協賛委員会において常にそのつもりで取り組んでいます 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓したことがない ✓ナンのために伝えるのでしょうか。変わりますか？ ✓やり方がわからない

【施策コード／施策名】		【担当部局】								
1-1-2 市民によるまちづくり活動への支援		地域・市民生活部								
【区分】	【指標名】									
●	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	36.3%	↗
肯定的評価割合	38.0%	36.1%	36.3%	38.5%	37.5%	36.0%	36.3%	37.1%		
否定的評価割合	34.2%	35.6%	35.4%	35.6%	38.1%	38.0%				
評価保留割合	26.3%	25.5%	24.9%	24.0%	22.8%	25.1%	平均値 (H29~R4)	37.1%		
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】								
✓いつも感謝している	19歳以下	✓きいたことない								
✓	20~29歳									
✓行政の手の届かないところまでやってくれているイメージ	30~39歳	✓じぶんでは参加してないのでわからない ✓実感がない ✓一部の人には充実してると思う								
✓いろいろなイベントや集まりがある										
✓公園などの清掃活動など参加しています	40~49歳	✓何をやってるかわからない ✓上記の団体の活動が役立っているというイメージも情報もない ✓不明瞭かつ、閉鎖的。活性化されていない ✓地区の行事やら役員が負担でやらされているだけ								
✓地域の活動を支えているのは自治協等だと思う。まつりなどを運営してくれるから、住民が参加できる										
✓ゴミ掃除をしている										
✓活動団体が活動団体が多い	50~59歳	✓これはまったく逆で、区や自治会といった昔からの既得権益を守りたい住民の意向優先となり、健全なまちづくりの阻害要因となっています。区や自治会に属さない/属したくない住民や他からの移住者、若い世代が離れる要因となっていると思います ✓自治協議会ができたが、昼間の活動だけに見える								
✓イメージ										
✓頑張っていると思う										
✓まちづくりにはおおいに役立っていると思う										
✓きめ細やかに体制整備されていると思いますが、すべての人が利用できる、しているとは思いません	60~69歳	✓上記に市は頼りすぎ ✓NPO法人の活動は詳しく知りませんが、全体として活動は不活発ではないかと思えます ✓台風のあと、機能していない								
✓地域の清掃活動くらいですが、環境美化には大切で役立つ										
✓特に自治会活動は重要と思う	70歳以上	✓住民負担が多すぎる ✓聞いたことがない								
✓住自協がないとまちづくりが出来ない										
✓地域コミュニティを進める上で、極めて重要な機関であり、組織である。ただ、担い手不足など活動に一定の負荷がかかっている										

【区分】	【指標名】
○	まちづくりに関するボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)などに参加している

	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
肯定的評価割合	23.5%	23.6%	23.1%	24.0%	24.9%	22.1%	現状値 (H28)	目標 (R4)
否定的評価割合	68.2%	71.5%	71.6%	70.7%	71.5%	73.9%	23.2%	
評価保留割合	5.7%	2.5%	2.4%	3.5%	2.1%	3.1%	平均値 (H29～R4)	23.5%



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ご開帳や花回廊のボランティアに参加したから ✓ボランティア活動が好きだから	19歳以下	✓やりたいとは思っているが忙しい
✓積極的に交流したいと考えており、機会があれば参加している	20～29歳	✓参加したことがない ✓関心がない ✓ボランティアの案内こない
✓ゴミ拾いなど ✓役員です	30～39歳	✓家事、育児、仕事で精一杯です ✓街づくりに関わるボランティアがどういうものなのか知らない為 ✓ボランティア活動への参加方法が分からない ✓機会が無い
✓自治会に参加中 ✓参加したら楽しかったです ✓可能な限り	40～49歳	✓参加できていない ✓子供たちの手が離れたら参加したい ✓声がかからない ✓時間ない
✓草取りや掃除 ✓区の副区長と部長を仰せつかってます ✓公民館をお借りして子ども支援をやってます	50～59歳	✓シニア世代の男性が、中心で女性はあるのか、意見を取り入れてくれるのかわからないので、参加していない ✓近所付き合いがほとんどないから
✓公園の草取り町の清掃活動に参加している ✓今年は自治会長なので、参加はしている。来年以降はどうなのでしょう。興味ないな	60～69歳	✓仕事をしているので ✓役員が回って来るのが嫌だから ✓地域とは交わりがない
✓ボランティア活動の団体に所属している ✓住自協活動10年目を迎えました。今後もできる限り続けてまいります ✓地区の役員をしているので	70歳以上	✓以前はしていたが、個人負担が大きく、とてもやっていたら無理なので、やめて、個人で活動している

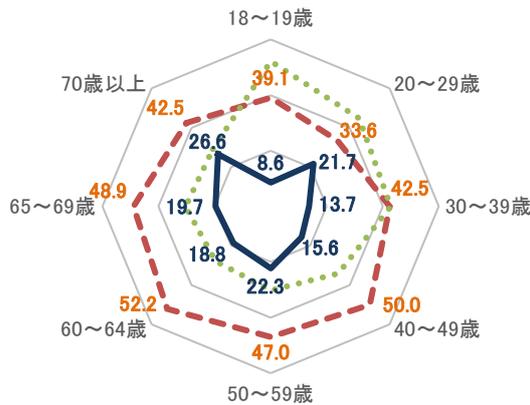
【区分】	【指標名】
●	効果的で効率的な行政運営が行われている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	19.5%	18.6%	20.1%	22.2%	20.5%	21.2%
否定的評価割合	43.6%	42.9%	43.0%	44.8%	47.8%	45.4%
評価保留割合	34.7%	35.4%	33.1%	31.0%	29.8%	32.5%

現状値 (H28)	目標 (R4)	20.4%	
平均値 (H29~R4)		20.4%	

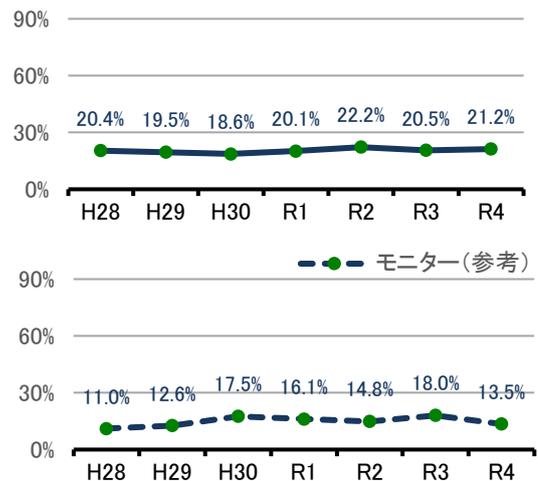
【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- モニター(参考)



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓行政に対する不満をあまり聞かない	19歳以下	✓聞かないから
✓連携が凄い	20~29歳	✓
✓財政が厳しい中でも、必要十分なサービスが提供されている	30~39歳	✓助成金、納税、駆除など面倒なことはすすんでやらない
✓引っ越しや保育園の手続きなどの市役所の手続きなど複雑でなかったため	30~39歳	✓19号災害時に効率化してないと思った
✓以前より効率的になった。ぺいぺい導入は良い	30~39歳	✓施設の縮小等まだまだ必要であると感じるため
✓本庁舎のシステム化で手続きが簡素化された	40~49歳	✓市役所に行っても何処へいけば良いか迷うことがある
✓スムーズに対応してもらっている	40~49歳	✓実際に効果的な行政運営をしてくれない
✓限られた人員で、コロナの中で急な対応も良くしてくれていたと思う	40~49歳	✓高齢者が優遇されているように思います
✓市民の意見を反映している	50~59歳	✓箱物を建てたいのが長野市政だと感じているため
✓今後も期待	50~59歳	✓非効率的なことが多い
✓優秀な方が多い	60~69歳	✓少なくとも旧市街地の開発は感心しない
✓コロナワクチン接種や特別支給給付金などの時期など他都市と比較して良くやっているとします	60~69歳	✓行政の職員と関わり合うこともあるのですが、いわゆる浮世離れた感覚に辟易することがあります
✓コロナ対策は効果的と思った	60~69歳	✓効果的かどうか、比較できないから
✓従来の縦割り構造からみれば、横へのつながり、広がりを感じる事ができる。行政運営は広がりを持つことが大切	70歳以上	✓具体的な取り組みが知られてないから
	70歳以上	✓市政が身近に感じられない
	70歳以上	✓非効率で税金の使い道に神経を研ぎ澄まして欲しいし、行政職員の無力さに愕然とすることが多い
	70歳以上	✓支所での対応が出来無い事が多すぎる
	70歳以上	✓行政側からの一方通行のところがまだ多い
	70歳以上	✓行政運営には課題が多いと感じている

【施策コード／施策名】

1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進

【担当部局】

総務部、企画政策部

【区分】

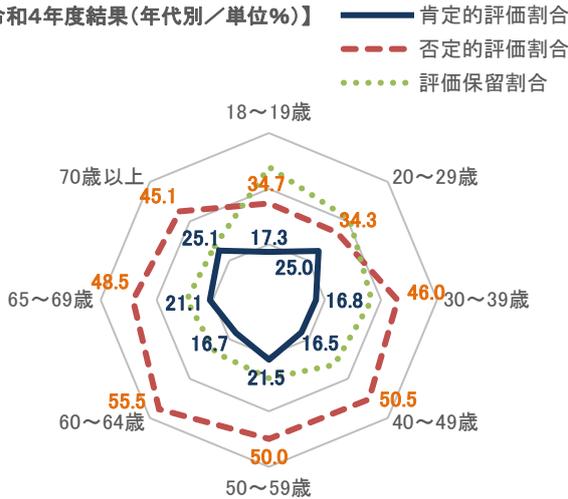
【指標名】

● 市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている

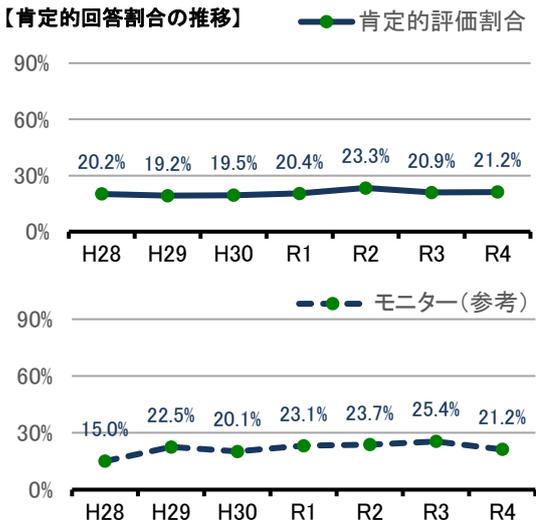
	H29	H30	R1	R2	R3	R3
肯定的評価割合	19.2%	19.5%	20.4%	23.3%	20.9%	21.2%
否定的評価割合	46.3%	44.5%	44.8%	45.4%	50.1%	47.4%
評価保留割合	32.4%	33.0%	30.9%	29.3%	27.3%	30.3%

現状値 (H28)	目標 (R4)	20.2%	↗
平均値 (H29~R4)		20.8%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓ご開帳では柱の木を配ってみんな欲しがるものを無料で配るのはいい
- ✓推し店チケットやプラチナチケットなど、何回も発行している点は良い
- ✓迅速では無いが、市民の声も反映されていると思う
- ✓聞こえてくれている姿がよいです
- ✓住民票取得など、スピーディーになった
- ✓生活に不便がないので、ニーズは汲み取れているのではないかと思います
- ✓もっと公開調査やアンケートをとってもらいたい
- ✓今過ごしやすから
- ✓特に不満はありません
- ✓広報等拝見し、そう感じます
- ✓市民の声は聞いてくれているのだと思う
- ✓こうやってアンケート調査をして頂いてありがとうございます。今後もニーズを踏まえた行政運営に期待しております
- ✓議員さん達が、頑張ってくたさるので
- ✓どんなニーズがあってどういう対策をとったか知らせてもらってないと思う
- ✓市報は毎回楽しみにしている。市長が変わり、市報も変化して来て、これからも楽しみです。市民から要望のある講座を開くためにも、より多くの人から意見をもらうといいのでは
- ✓市職員は前向きに取り組んでいるように思うが、硬直化した部署を新市長が改善することを期待

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ニーズに応じてもらっているとは感じない
- ✓市の好き勝手
- ✓イトーヨーカドーをつぶした。商業施設が全部減っている。商工会議所が悪い。市長は商工会議所や既得権益のくぐつた
- ✓食品の値上げ等市民が苦しんでいるのに金銭的なサポートがないため
- ✓コロナの対応などは、ニーズを踏まえていたとは思えない
- ✓予算の都合ばかりでニーズにあっていない。消極的な対応ばかりである
- ✓市民のニーズはどうやってとらえられているかわからない
- ✓いわゆるお役所仕事、3年で人が変わり引き継がれないことが多いと感じる
- ✓文化施設とか、建築物とかではなくて、市民の未来に、安心感と希望を！
- ✓市民のニーズがわかっていない
- ✓近所の空き地が、手付かずのまま
- ✓行政運営に不満ばかりである。もっと真剣に取り組んでいただきたい
- ✓人口減がその結果
- ✓残念ながらニーズに応える点で不十分を感じている

【施策コード／施策名】
1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進

【担当部局】
総務部、企画政策部

【区分】

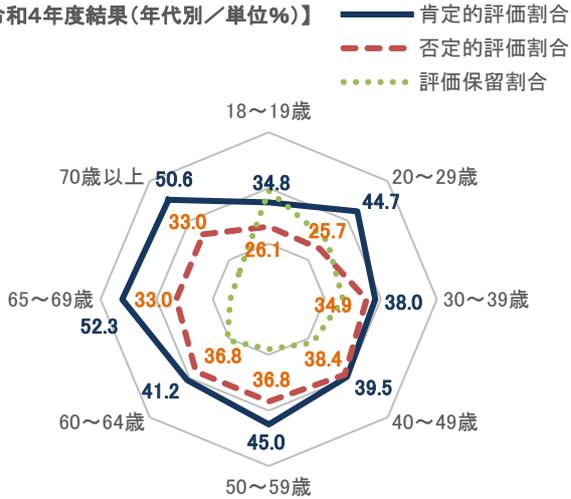
【指標名】

● 市の職員に好感が持てる

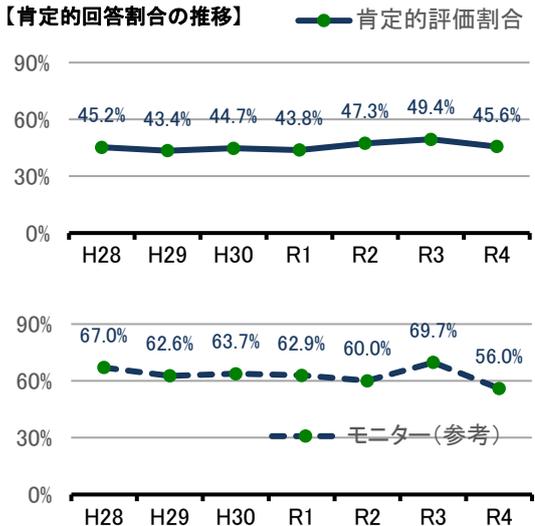
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	43.4%	44.7%	43.8%	47.3%	49.4%	45.6%
否定的評価割合	36.0%	34.1%	33.6%	31.1%	32.1%	34.5%
評価保留割合	18.8%	18.4%	19.2%	19.8%	17.0%	19.0%

現状値 (H28)	目標 (R4)	45.2%
平均値 (H29～R4)		45.7%

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

- ✓市役所とかいくと皆さん優しいから
- ✓電話でも窓口でもとても丁寧に対応していただきました
- ✓丁寧な対応
- ✓市役所の対応が温かくてよいから
- ✓窓口で対応してくださる職員の方は、皆さん親切で親身になってくださると感じます
- ✓話をしっかりと聞いてくれる
- ✓受付嬢も2階、税務課もほとんどの人が笑顔で心地良い対応です
- ✓窓口の方は親切ですね
- ✓対応して下さった職員さんは、丁寧な方ばかりでした
- ✓窓口でも真摯に対応してくれています、好感を持っています
- ✓支所に出向いた際や電話で何かの問い合わせをした際の対応が親切丁寧で好感がもてる
- ✓窓口等の接遇は好感が持てる
- ✓支所及び本庁も含め市民目線の対応に感謝申し申し上げます。丁寧な対応、親切な対応に数段の進歩が感じられる

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

- ✓
- ✓市役所の職員は冷たい人もおおい
- ✓職員によって答えが違う。統一されていない
- ✓支所においても愛想がなかったり、態度が冷たい方が多い
- ✓威張っている感じがする
- ✓誠心誠意対応してくれない。19時頃に長野市役所に電話で相談していた時に、馬鹿笑いしてた声はずっとして気分が悪くなった。それで残業代を払っているため、一般企業の厳しさを教えてほしい
- ✓市役所を訪ねた際、ポケットに手を入れて歩いている人を多く見かける。勤務時間の喫煙者が非常に多い
- ✓好感をもつ理由が見当たらない
- ✓上から目線がまだ残っている
- ✓不快感を与える職員が多い。挨拶、笑顔、言葉使いが横柄であったり、市民を見下したような行動があるので反省して欲しい
- ✓支所にでかけても誰が対応してくれるのか声をかけずらい雰囲気がある
- ✓電話対応にしても、レベルが低い方がいる。知識がない
- ✓市民に向けてでなく上司の顔を窺い、保身(リスク)を優先する姿勢の人が少なからずいる

【施策コード／施策名】
1-2-3 地方中核都市としての役割の遂行

【担当部局】
企画政策部

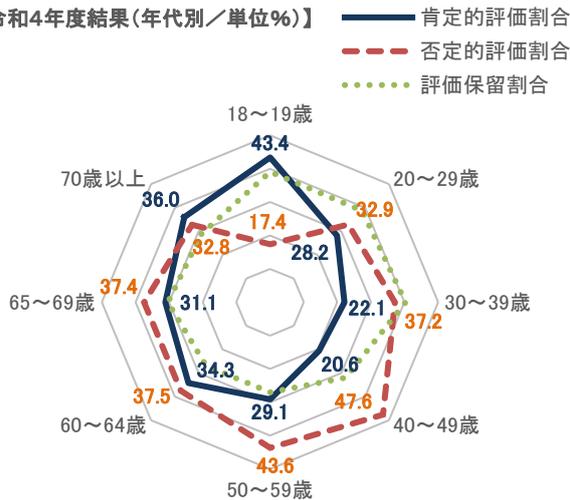
【区分】 【指標名】

● 長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる

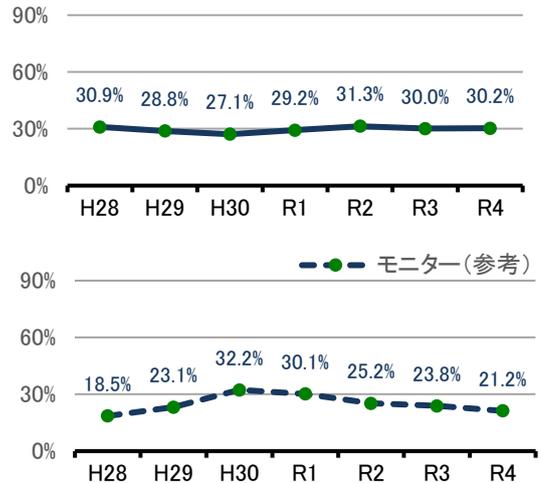
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	28.8%	27.1%	29.2%	31.3%	30.0%	30.2%
否定的評価割合	36.5%	37.1%	36.3%	38.0%	38.9%	38.0%
評価保留割合	32.8%	33.2%	31.0%	28.8%	29.6%	30.7%

現状値 (H28)	目標 (R4)	30.9%	↗
平均値 (H29～R4)		29.5%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

✓連携を大切にしていると思うか	19歳以下
✓善光寺のご開帳に合わせて他の地域と協力して取り組んでいる様子があつ	20～29歳
✓ゴミとか消防とか広域連合にするのはよかったと思いました ✓近隣市町村の手本となるように頑張っていると感じる	30～39歳
✓市を良くしようと取り組んでいるのは自分には伝わっている ✓図書館で他の市から本を取り寄せてくれた	40～49歳
✓発展に向けて長野は頑張っていると思う ✓広域連携が行われている	50～59歳
✓長野市が中心になれば何事も進まないだろう ✓そうなのかなと思います ✓須坂市千曲市とはそう思う	60～69歳
✓相互互恵の原則を踏まえて行っていると思う ✓須坂市、飯綱町、信濃町など北信一帯を含めた地域全体の発展を図るべきと思う	70歳以上

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓そう感じる事が無い、長野市は独立している感じがする	19歳以下
✓長野市は孤立していると思う。須坂市と連携して、おいしい果物のアピールをするべき ✓コロナの情報開示で無駄が多かった ✓長野市が発展しているならもっと栄えていると思うから	20～29歳
✓取り組みによる効果がまったく実感が無い ✓須坂市と仲良くすればいいと思います ✓周りの近隣地町村とどのように連携されているのか、見えてこない	30～39歳
✓千曲市、須坂市など観光をもっと連携してはどうか ✓千曲川ワインバレーに長野市で途切れている感じがある。千曲川サイクリングロードも長野市で途切れてしまう	40～49歳
✓特に須坂市のインター付近の開発が羨ましい。大型ショッピングモールの進出もどうして長野市で誘致出来ないのか不満！ ✓市町村も縦割り社会だから、しかたないと思う。どこも自分のところだけでいっぱいだと思う。議員さんは、きれいごとと言うが、票にならないことはしない	50～59歳
✓連携しているとは知らない ✓観光については北信というおおきな括りでPRすべきと思う	60～69歳
✓連携しているとは知らない ✓観光については北信というおおきな括りでPRすべきと思う	70歳以上

【施策コード／施策名】
2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援

【担当部局】
こども未来部、保健福祉部

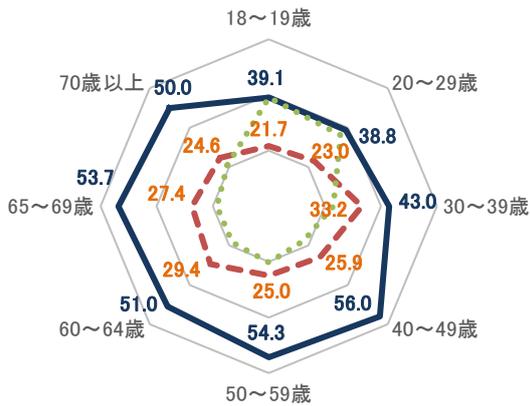
【区分】 ● 【指標名】
子どもを産み育てやすい地域である

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	52.9%	54.8%	52.3%	56.3%	55.9%	50.7%
否定的評価割合	26.7%	24.4%	25.7%	22.1%	23.5%	26.3%
評価保留割合	17.9%	17.6%	18.0%	19.5%	18.4%	21.1%

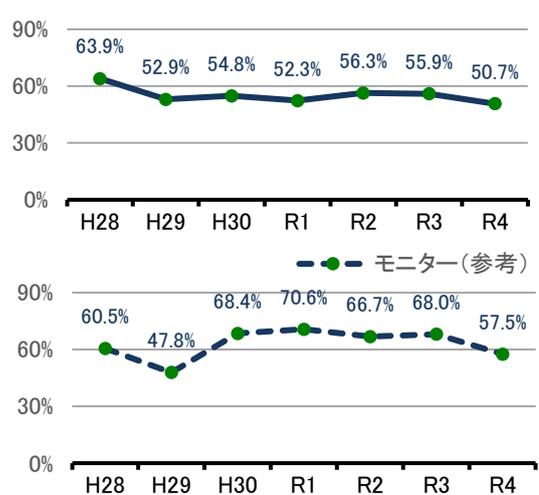
現状値 (H28)	目標 (R4)	63.9%	
平均値 (H29~R4)		53.8%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

<ul style="list-style-type: none"> ✓公園が多いから ✓支援センターや保健センターなどに助けてもらった経験があるから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓産科が少ない
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然に囲まれ、四季を感じながら子育てしています ✓公園が充実していて、休日は体を動かして楽しめる。保育園や放課後こどもプランも申し込めば利用できる環境。働きながら子育てする人にとってはありがたいです 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓叱るだけで通報される ✓金銭的サポートがない。子供の医療費が無料ではない。他市のような出産祝い事業がない ✓公園が少ない 支援センターが少ない、じゃんけんぼん以外にも毎日通える支援センターがほしい
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然あふれる環境にあり適度に都会だから ✓地域のかかわりがある ✓子供向けの無料イベントや施設が色々ある ✓自分が子育てをしていて、そんなに困ることがないので 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓屋内での遊び場がない ✓子育て支援がない。児童手当ぐらいしか思い当たらないぐらいにない。予算がまったく活かされておらず不公平。公共交通機関が少なく通学に不便 ✓保育園選択に時間がかかった。入園準備にお金がかかった ✓学校における支援員の不足、高い給食費、医療費が有料(3年前に長野市に転入するまで暮らしていた町では、支援員は十分であり、給食費も、医療費も、児童館も無料でした)
<ul style="list-style-type: none"> ✓県内で転勤を繰り返し、子供を育てやすいと思えました ✓近くに病院や学校など必要な施設が揃っている ✓子持ち世帯に手厚い 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓医療費の無料化を18歳までにしてほしかった ✓どこに相談したらいいかわからない ✓産院が減っている。山間地だけでなく市街地でも車を所持しないと不便
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校や保育園がある。開業医、スーパー、商店など生活に必要な施設はある 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓子どもが少ない
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域で子どもを見守り育てようとする風土がある ✓普通だと思う 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓子育て支援の施策を充実させる必要がある ✓我が地域の小学生が年々減ってきている
	70歳以上	

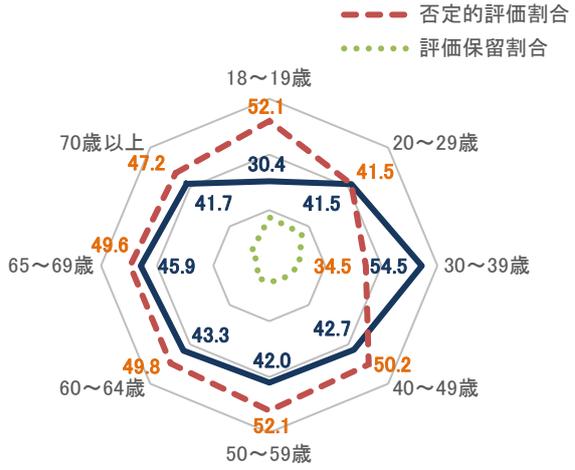
【施策コード／施策名】 2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援 2-1-2 子どもの成長を育む環境の充実	【担当部局】 こども未来部、保健福祉部
---	------------------------

【区分】	【指標名】
○	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている

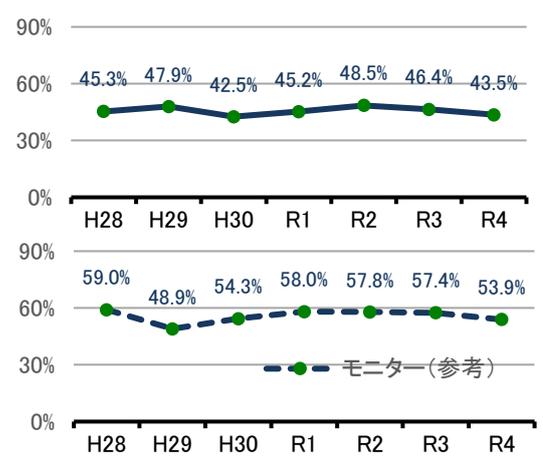
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	47.9%	42.5%	45.2%	48.5%	46.4%	43.5%
否定的評価割合	40.1%	48.0%	44.9%	42.1%	45.6%	47.6%
評価保留割合	9.2%	6.7%	6.5%	7.7%	6.3%	7.8%

現状値 (H28)	目標 (R4)	45.3%	↗
平均値 (H29～R4)		45.7%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓お互いに助け合っている ✓保健師の方が親身になって話を聞いてくれたから ✓家庭教師や児童館での子供たちの関わりを通して経験している 	20～29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓お互いさまで困ったときは助けている ✓自分自身が子育て世代なので ✓地域の集まりや近隣住民などが温かいと思う ✓自分の子を見守ると同時に、下校時に危ない行動をとる子どもに声掛けしている ✓仕事柄、関わる機会が多い 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓機会がない ✓困った時に相談しても助けてもらったことがない(様子を見ましようとか) ✓コロナなのでできることが少ない ✓自分も子育て中で余裕がない ✓そういう場面に遭遇しない
<ul style="list-style-type: none"> ✓双子の赤ちゃんがいる方に、常に声をかけているから ✓児童保育があるので ✓自分も子育てしているので 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓他の子育てしている家庭をあまり知らない ✓自分の子育てで忙しい ✓手助けされてもしてもらえないので ✓自身の家庭内の世話で手一杯だから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ボランティア活動を実施 ✓声かけしている ✓子供連れには気を使うようにしている 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓身近にそう言う方はいない ✓近所に子供がいないので ✓子育てしている家庭との付き合いがない ✓子育てしている家庭との付き合いがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓声がけぐらいだが ✓ご近所さんのお子さんを預かることや、保育園や学校で必要なバッグ類などの縫い物を手伝ったり応援している ✓孫の面倒をたまに見る 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓他人の家庭には関わらないし、逆に迷惑に感じると思う。近所付き合いもないし ✓下手に手を出すと私の立場では怖い ✓他人の事に費やす余裕がない ✓まわりに子供がいらない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ボランティアで活動している 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓当該のケースが身近にない

【施策コード／施策名】

2-1-2 子どもの成長を育む環境の充実

【担当部局】

こども未来部、保健福祉部

【区分】

【指標名】

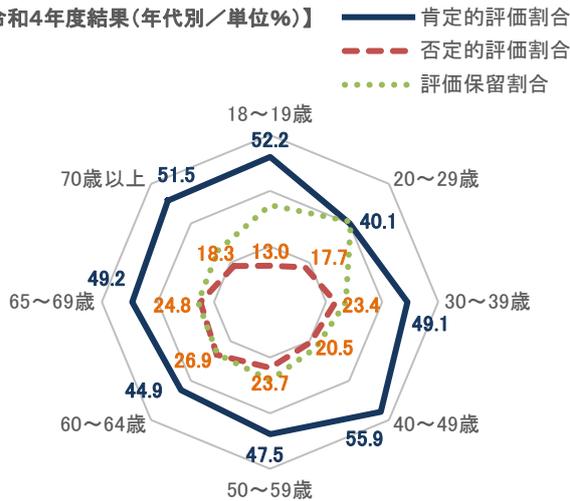


幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している

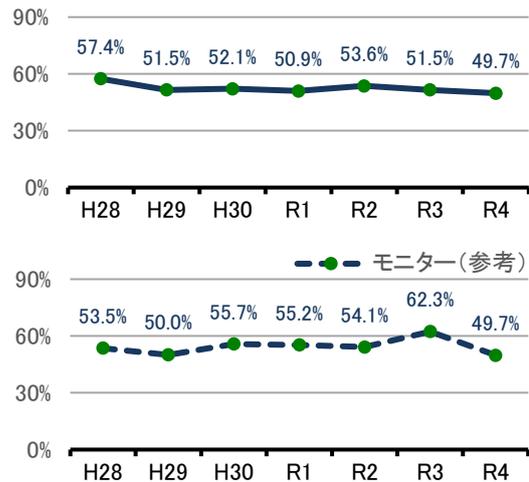
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	51.5%	52.1%	50.9%	53.6%	51.5%	49.7%
否定的評価割合	20.0%	20.2%	20.9%	18.6%	20.6%	21.5%
評価保留割合	26.3%	24.8%	24.1%	25.6%	25.5%	27.1%

現状値 (H28)	目標 (R4)	57.4%	
平均値 (H29～R4)		51.5%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分が子供の頃に保育園行きたくないって泣き叫んでいたそうなので ✓登山や、田植えなどの活動がなくなってきているから
<ul style="list-style-type: none"> ✓会社の先輩が言っていた ✓保育園に入れやすい 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓近くの保育園に入れたい友達の子がいるから
<ul style="list-style-type: none"> ✓延長保育や夏休みのお預かりなど、充実していると思う ✓円福幼稚園に通わせていますが、環境も整っており、先生たちもきめ細やかに見てくださいます ✓自分の子ども達が楽しそうに過ごしていました。心身ともに健やかに育ちました。保育園で過ごした時間のおかげです 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓保育園の定員数が少ないので入れるか不安です ✓保育料は無償化されたが、食費雑費部分を無償化前より増額している園が多く見られる。市が上限額を設けているのか、報告・集計の上で平均額を割り出しているのか、しているとしたらそれは公表されているのかを知りたい
<ul style="list-style-type: none"> ✓子供が通っていた公立のこども園は非常に良かったので ✓通わせていた幼稚園が教育に力を入れていて良かったから ✓園の先生方は創意工夫されて親身にやってくださってる ✓長野市(千曲川より北)は保育園や幼稚園が多い。長野市南は北に比べて少ない 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓延長保育の時間が短く、収入に応じてだが高すぎる。保育所のスタッフ数が少ない ✓認定子ども園が少ない ✓マスク着用の強要。アプリが使いにくい(pdfが見れない) ✓保育園に入ること自体大変
<ul style="list-style-type: none"> ✓いろんな行事、教育をしてもらった ✓選択肢が多い 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓みんな入りたいところに入れるといいのですが、そうでもないと聞きます ✓待機児童がいる
<ul style="list-style-type: none"> ✓選択肢も多い ✓孫が喜んで保育園に通わせてもらってるから 	60～69歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓幼稚園、保育園が近くにある ✓子供を預けることの障害がなかった 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓前門同様、減っている

【施策コード／施策名】

2-1-3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援

【担当部局】

こども未来部、保健福祉部

【区分】

【指標名】

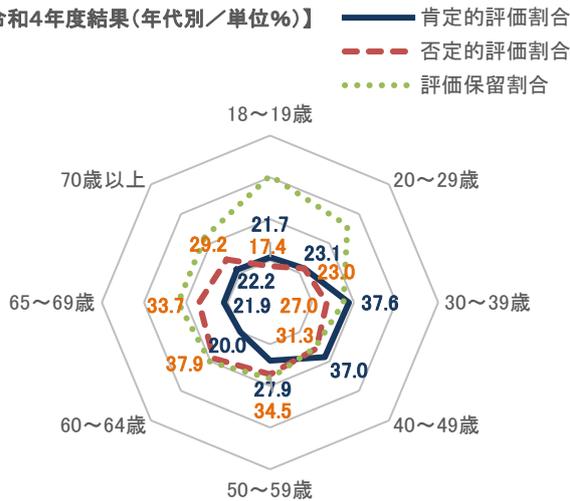


子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている

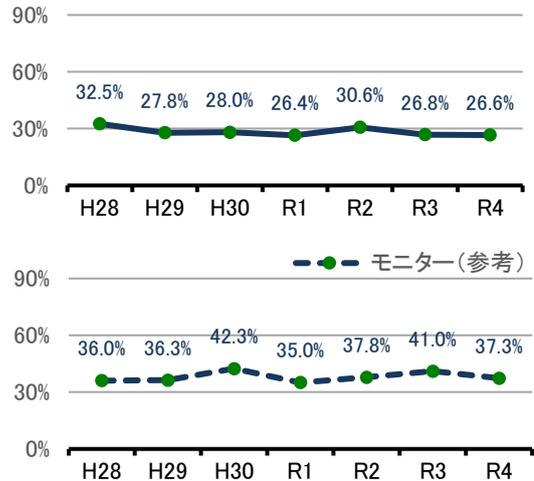
	H29	H30	R1	R2	R3	R3
肯定的評価割合	27.8%	28.0%	26.4%	30.6%	26.8%	26.6%
否定的評価割合	31.2%	29.5%	31.8%	27.9%	31.1%	31.1%
評価保留割合	38.4%	39.3%	37.6%	39.3%	39.5%	40.1%

現状値 (H28)	目標 (R4)	32.5%	
平均値 (H29～R4)		27.7%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

- ✓支援センターを無料で使用でき、相談できる先生がいるから
- ✓支援センターや保健センターなどに助けてもらった経験があるから
- ✓支援センターや保健センターの情報がちゃんと入ってくる
- ✓保健師さんに話しやすい。産後も助産師さんによく話を聞いてもらえた。にこにこ発達相談や、保健所の先生にもお世話になった
- ✓体制だけは整っている
- ✓体制は整っていると思いますが、物によっては数十件かけてやっと窓口へ繋がるなど、すぐに対応に繋がるといことがないことが多い。また、傾聴はしてもらえていても、その先に繋がらないというのが残念。受け手によっては対応の差の広さがとても気になります
- ✓保健師さんと保健センターなどで関わる機会が多い
- ✓相談できる場所があった
- ✓NPO法人など多くの相談窓口がある
- ✓保育園の先生に相談できた
- ✓体験していないがそんな気がする
- ✓電話相談もあり、育児広場などもある
- ✓体制が整っていると思う
- ✓地域での親子ひろばなどで相談が受けられる。また、そのような体制を組んでもいい

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

- ✓実際に昨年末に、ワンオペ育児が辛くて鬱のようになり、市の相談窓口を検索したが、電話番号や保健所(平日日中)の案内のみであった。体制を整えるのは大変かと思うが、3歳児健診以降も任意で参加できるような定期健診や、SNSで気軽に相談できるような窓口が欲しいと感じた
- ✓相談しても愚痴を吐くだけになる
- ✓どこへ相談するかわかりにくい
- ✓幼稚園の学期末のアンケートが、記名の上、意見を書くと直々に怒られる。意見を言った事で、子供がいじめられるのではないかと不安になった。コロナによって人と人のかかわりが減り、子供の友達や子供の保護者の顔もよく分からず、以前より疎外感を感じ
- ✓相談員の人数が少ないと思う
- ✓どこに相談していいのかわからない
- ✓あまり聞かないので
- ✓特にシングルマザーなどを対象に、吉田地区を例にとるとノルテなどで、定期的の子育て相談などを開いたらいいかと思う
- ✓あるのかもしれないが知られていないように思える
- ✓体制があるのは知っているが、活用の実態の報告が無いのと体制のPRが無い

【施策コード／施策名】
2-2-1 高齢者の社会参加と生きがいの推進

【担当部局】
保健福祉部

【区分】 【指標名】

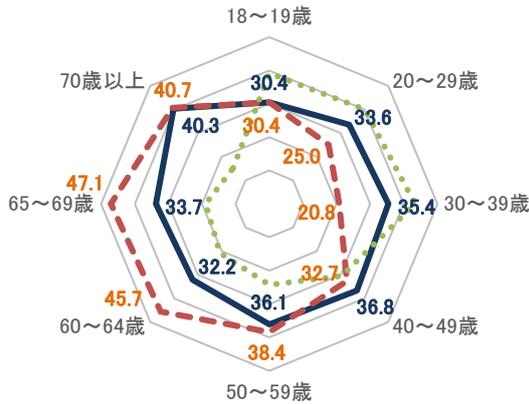
● 高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	40.5%	39.5%	38.2%	40.4%	39.8%	36.5%
否定的評価割合	33.5%	34.4%	35.5%	32.8%	35.3%	37.5%
評価保留割合	24.1%	23.0%	22.6%	24.7%	22.6%	24.3%

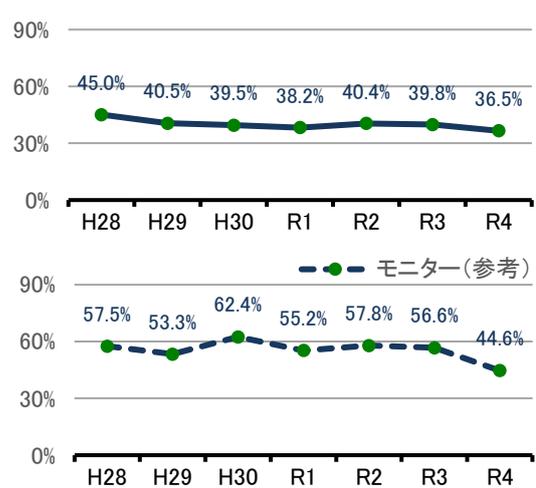
現状値 (H28)	目標 (R4)	45.0%	
平均値 (H29~R4)		39.2%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓こうみんかでイベントをやってるから
- ✓回覧板や市報などにイベントが記載されている
- ✓高齢者向けのイベントが多いように思う
- ✓シルバーサービスなど整っている
- ✓回覧板などのお知らせを通して、いろいろな催しがあるのだと感心している
- ✓週刊長野にたくさん講座がのって楽しそう
- ✓高齢者は恵まれているなど思うことが多々あります。地域の活動などもカラオケ大会、ボーリング大会にサークル活動など生き生きと活動されている様子を地区のお便りから知ることができているため
- ✓南長野運動公園のプールに通うお年寄りは、施設に感謝していることをよく聞く
- ✓公民館活動が盛んという印象
- ✓必要以上に過剰なほど、高齢者向けの施策が多いと思います
- ✓自治会やカルチャーセンター公民館が充実している
- ✓自治会やカルチャーセンター公民館が充実している
- ✓市報や週刊長野に興味深いお誘い記事を目にするのが多いため
- ✓長野市報に募集が多く有り、参加しやすい
- ✓門戸はいつも開いているが参加する人が少ないことが課題である
- ✓各種講座の希望者はそれなりに居る

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓おばあちゃんがそういった事になかなか参加できていないから
- ✓そういった案内を見たことがないから
- ✓そういう環境を知らない、あるとしても情報がない
- ✓社会と関わる機会は少ないように思える
- ✓募集を見たことがほとんどない
- ✓公民館活動でしかわからない
- ✓聞いたことが無い
- ✓高齢者の屁理屈をまともに受け付けなくてほしい
- ✓情報発信が積極的でない
- ✓年金支援がギリギリで、ボランティア、学習する余力がないと思う
- ✓学びたいと思うところが無い
- ✓勤労青少年ホーム(実際は高齢者も使えます)、サンライフ長野等の廃止方針
- ✓学習活動の種類が少なく、極めてレベルが低い。またボランティア活動も是非参加してみたいが、自治会活動以外の情報が乏しい
- ✓社会と関わりたい思いがあっても、活動の場が見つからない
- ✓広報で、募集等の記事を目にする程度なので
- ✓情報量が少なすぎる
- ✓シルバー人材センターしか知らない
- ✓いま、実際にあまりかかわられていないから
- ✓募集等の掲示が不明のため

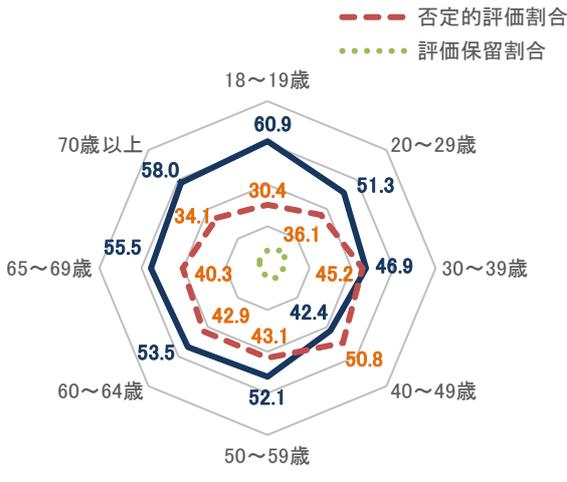
【施策コード／施策名】 2-2-2 高齢者福祉サービスの充実		【担当部局】 保健福祉部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
●	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	49.0%																																																													
肯定的評価割合	42.4%	38.5%	37.6%	45.1%	42.9%	42.3%	49.0%																																																															
否定的評価割合	40.3%	42.3%	44.0%	36.4%	39.6%	40.7%																																																																
評価保留割合	15.5%	16.2%	14.9%	16.6%	15.3%	15.5%	平均値 (H29～R4)		41.5%																																																													
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>52.1</td><td>21.7</td><td></td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>49.3</td><td>24.3</td><td></td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>43.4</td><td>23.9</td><td></td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>41.1</td><td>41.4</td><td></td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>41.6</td><td>38.4</td><td></td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>46.6</td><td>41.4</td><td></td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>37.8</td><td>51.4</td><td></td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>44.8</td><td>43.2</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>49.0%</td><td>45.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>42.4%</td><td>47.3%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>38.5%</td><td>45.6%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>37.6%</td><td>39.2%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>45.1%</td><td>50.4%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>42.9%</td><td>45.9%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>42.3%</td><td>36.3%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	52.1	21.7		20～29歳	49.3	24.3		30～39歳	43.4	23.9		40～49歳	41.1	41.4		50～59歳	41.6	38.4		60～64歳	46.6	41.4		65～69歳	37.8	51.4		70歳以上	44.8	43.2		年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	49.0%	45.0%	H29	42.4%	47.3%	H30	38.5%	45.6%	R1	37.6%	39.2%	R2	45.1%	50.4%	R3	42.9%	45.9%	R4	42.3%	36.3%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	52.1	21.7																																																																				
20～29歳	49.3	24.3																																																																				
30～39歳	43.4	23.9																																																																				
40～49歳	41.1	41.4																																																																				
50～59歳	41.6	38.4																																																																				
60～64歳	46.6	41.4																																																																				
65～69歳	37.8	51.4																																																																				
70歳以上	44.8	43.2																																																																				
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	49.0%	45.0%																																																																				
H29	42.4%	47.3%																																																																				
H30	38.5%	45.6%																																																																				
R1	37.6%	39.2%																																																																				
R2	45.1%	50.4%																																																																				
R3	42.9%	45.9%																																																																				
R4	42.3%	36.3%																																																																				
【モニター的主要な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニター的主要な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓老人ホームをよく見るから ✓高齢者が利用できる施設やサービスが様々ある ✓在宅介護で生活している独居老人をよく見る。ただ、夜間など心配な様子の人もある。経済的な問題や、詐欺にあわないように、相談できる仕組みが必要だと思う。民生委員さんが高齢化しているとのことで、若い人もやってみたいと思えるような支援が必要だと思う ✓農作業をして野菜などを育てて 生きがいを感じている老人が多いと思う ✓过剩すぎる ✓介護施設や総合病院が近くに多数ある ✓暮らし続けられる気がする ✓高齢者の母の生活を見ていてそう思う 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓田舎の方だと公共交通機関の本数が少ない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓コンパクトシティなので ✓地元出身者が多いのもともと暮らしやすい ✓健康ならケアが行き届いている ✓私の住んでいる環境だと、病院もあり、スーパーもあり、少ない本数ではあるがバスもあり、割と便利ではないかと思う 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地方の交通機関の過疎化のため 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓病院、スーパーなど歩いて行かれる 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういう環境を知らない、あるとしても情報が無い ✓車がないと暮らしていけない ✓過疎地ではサービスがいきわたらず結局は住居を離れざるをえないことが多いから ✓公共交通のサービスが老人向きでないの、いつまでも免許を返納しない老人が多い 																																																																			
		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市は車がないと生活出来ないのに交通便が悪い ✓車がなければ生活できない 																																																																			
		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓山間地ほど子孫が住みにくいので老人が孤立 ✓山間部に住む両親は、運転免許証がなければ、農家、移動をする手段が無くなります ✓勤労青少年ホーム(実際は高齢者も使えます)、サンライフ長野等の廃止方針 																																																																			
		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓健康でいれば慣れた地域で良いのかも知れませんが、障害がある方にとっては決して住みやすい ✓私のように一人暮らしの高齢者に対するサービスや環境が遅れているように思います。例えば、PCオンラインのZoom やスマートフォンのLINE、SNSを活用したサービスの拡充が必要ではないでしょうか ✓近くに店がない ✓公共交通機関の本数が少ない 																																																																			
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓我が地域のでは免許が無ければ生活出来ない 																																																																			

【区分】	【指標名】
○	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている

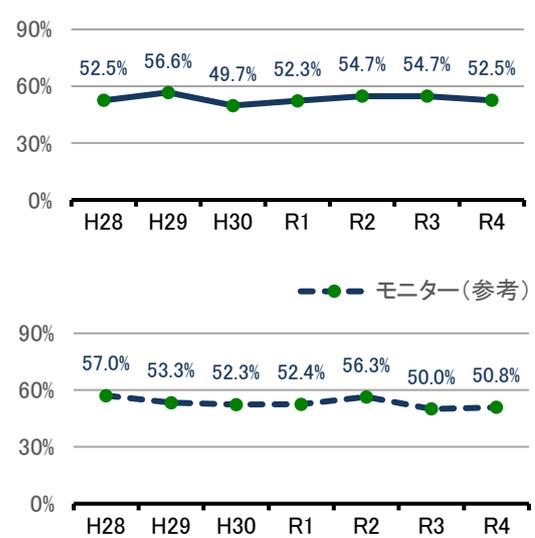
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	56.6%	49.7%	52.3%	54.7%	54.7%	52.5%
否定的評価割合	34.9%	42.3%	40.6%	38.4%	39.0%	40.8%
評価保留割合	6.0%	5.5%	4.1%	5.3%	4.9%	5.5%

現状値 (H28)	目標 (R4)	52.5%	↗
平均値 (H29～R4)		53.4%	

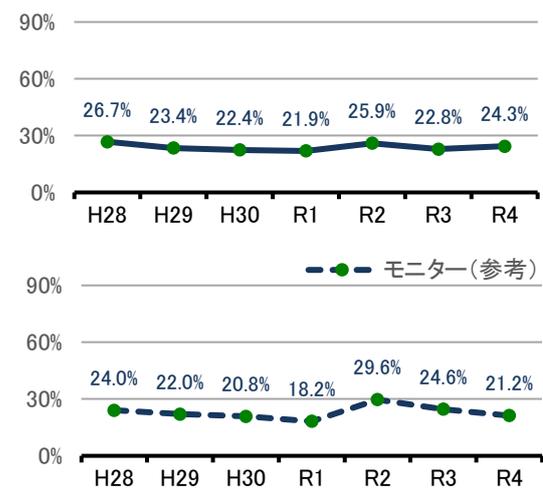
【令和4年度結果(年代別/単位%)】

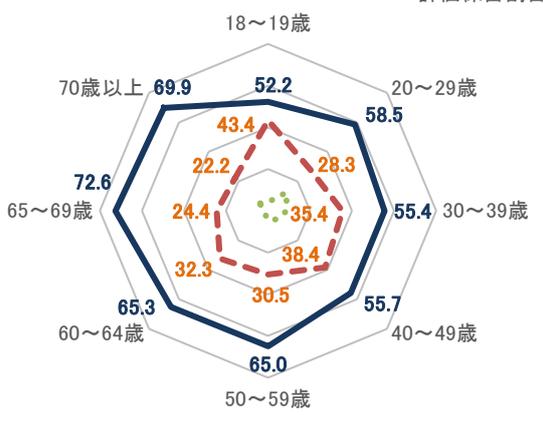
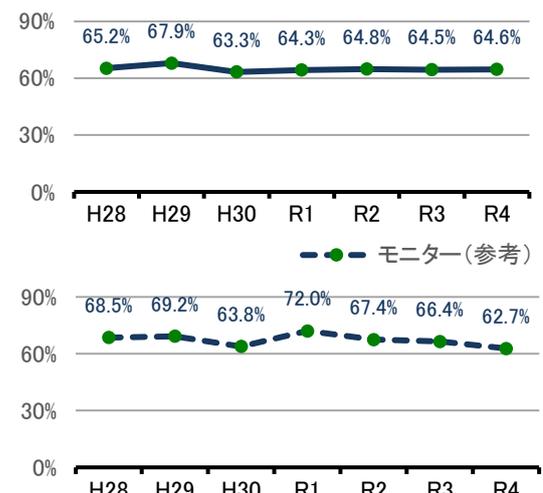


【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 会ったら挨拶をしている ✓ 高齢者の人に優しくしている 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ご近所に高齢者がいないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所のおばあちゃんに娘と散歩に出かけてる時に会ったら必ず声をかけるようにしているから ✓ 何か自分にできることはあしてあげたい 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所に高齢者いない ✓ 高齢者と関わる機会がない ✓ 手助けしたことがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 声をかけるようにしている ✓ 周囲は協力的だと感じる ✓ 受診の送迎など手伝ってる ✓ 同じアパート内ではよく声かけや、手助けしている ✓ 必要なら手助けしようと思っているから 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仲良きはさせてもらっているが、手助けになるような事は出来ていない ✓ 近所の情報がない ✓ 機会がない ✓ 関わりがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所の高齢の方に声かけし手助けをしています ✓ 一人暮らしのお年寄りには声かける ✓ 自治会の支援があるので 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年寄りのワガママに付き合っていない ✓ 心身ともに余裕がない ✓ あいさつするくらいの関係でしかない ✓ 自分の家庭で手一杯なので
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 声かけや、除雪のお手伝いなど ✓ 田畑を手伝っている ✓ 独居の高齢者にはときおり連絡を取っている。災害時には安否確認をしている 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ したくない ✓ 何もした事がない ✓ 部長、副区長として、把握はしています
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自治会の役員をやっていたときは、見回りや買い物手伝い等をしていました ✓ ゴミ当番等、代わってやってあげている ✓ 声がけを心がけている 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所付き合いがないし、わが家にも高齢の親がいる ✓ 他人の事に費やす余裕がない ✓ 両親で、精一杯 ✓ 接点がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の様子に気配りしている ✓ 地区の民生委員を引き受けた 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ していない ✓ 手助けが足りない。お願いできない

【施策コード／施策名】 2-3-1 障害者(児)福祉の充実		【担当部局】 保健福祉部										
【区分】	【指標名】						現状値 (H28)	目標 (R4)	26.7%			
●	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている						23.4%	22.4%	21.9%	25.9%	22.8%	24.3%
							45.9%	44.8%	45.2%	41.7%	44.0%	43.2%
							28.6%	29.8%	29.3%	30.5%	30.8%	30.9%
							平均値 (H29～R4)		23.5%			
【令和4年度結果(年代別/単位%)】		— 肯定的評価割合		- - - 否定的評価割合		⋯ 評価保留割合						
		【肯定的回答割合の推移】		—●— 肯定的評価割合		—●— モニター(参考)						
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】								
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 障害のある生徒が普通学校に通っているニュースを見た ✓ 新しい公園もスロープも必ずあるように感じる ✓ 日本で有数の充実度だと思うので、もっとアピールすれば、県外からも人がたくさん来ると思う。在宅介護を利用しているが、普通、精神障害だと、介護が使えないとよく聞くけど、身体を付けてもらっているのがありがたい ✓ 施設や環境が充実している ✓ 他地域に比べてNPO法人が充実していると感じます ✓ デイサービスが多すぎるくらいある 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 点字ブロックが剥がれているから ✓ 町中で道の整備がまだだと感じるから 								
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 障がい者、ご家族がつながる会が、増えて来たのでは？ ✓ 障害者施設が多い ✓ そういう施設の商品を購入しています ✓ 点字ブロックが壊れていてもそのまま気がする 		20～29歳										
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 障害サービスは充実している ✓ 小中学校に車イスで通学できるエレベーターが設置されている ✓ 一人息子が障害者で施設入所しているが、親子とも何とか生活できている ✓ 住民自治協議会に専任の福祉担当者があり、サポートしてくれている 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 道路がガタガタしていたり、点字ブロックがはがれかけている所、歩道が突然途切れる箇所などがあり、ハンデがある人が一人で気軽にであるいたりすることは難しいと感じる ✓ 道の狭さ、店の作りが整いきれていない ✓ もっとバリアフリー化を進めて欲しい 								
		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 普段、道を10分歩くだけでめくれ上がったアスファルトや、事故の起こりそうな歩道など、声に出しても整備などが全くされないため ✓ 車椅子の方や目の不自由な方を見かけない ✓ 道幅がせまいなどきけんが多い ✓ 歩道一つとっても、白杖者や車イスでの歩行は困難 ✓ 介護タクシーなどのサービスが少なく、また料金やサービス時間も以前より改悪しているように感じます 								
		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 障害のある人は、家族に頼る人が多いと思う。他人や施設、サービスだけでは頼り切れなと思う ✓ 障害者の身になって考えられていない ✓ 市からの補助金が少ないので、自分で活動して資金を得ていることを知人に聞き、大変だとおもった ✓ 公的機関などにおいてまだバリアフリー化が進んでいない。目が不自由な方々に対する諸設備がまだまだ足りない 								
		60～69歳										
		70歳以上										

【施策コード／施策名】 2-3-1 障害者(児)福祉の充実		【担当部局】 保健福祉部																											
【区分】	【指標名】						現状値 (H28)	目標 (R4)	65.2%																				
○	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	肯定的評価割合	H29	H30	R1	R2	R3	R4	67.9%	63.3%	64.3%	64.8%	64.5%	64.6%	65.2%														
		否定的評価割合	24.9%	29.5%	28.7%	28.9%	29.5%	29.0%																					
		評価保留割合	4.9%	3.9%	3.9%	4.5%	4.5%	5.3%																					
【令和4年度結果(年代別/単位%)】		<ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 		【肯定的回答割合の推移】		<ul style="list-style-type: none"> —●— 肯定的評価割合 - -●- - モニター(参考) 																							
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>【モニター的主要な肯定的意見】</th> <th>【年齢区分】</th> <th>【モニター的主要な否定的意見】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>✓ 気になるが話しかけづらい</td> <td>19歳以下</td> <td>✓ 自分のことで精一杯だから ✓ 障害のある人を見かけないから</td> </tr> <tr> <td>✓ 自分が介護に携わった仕事をしていたので、余計手助けが必要なら声をかけているから ✓ 何か自分にはできることはあしてあげたい</td> <td>20～29歳</td> <td>✓ 障がい者を見かけない、見かけても困っていない限りは声をかけない ✓ あまり障害を持った方と出会わない</td> </tr> <tr> <td>✓ 危ない所は沢山あるので気を配るようにしている ✓ できることはないか探している ✓ 声をかけるようにしている ✓ 困っている人にはなにか協力したいと思い、行動している</td> <td>30～39歳</td> <td>✓ あまり見かけない。介助者がいるので手は出さない ✓ 機会がない ✓ 見て見ぬふりが多いかもしれません ✓ 自身に余裕がない</td> </tr> <tr> <td>✓ 気にはかける ✓ 迷惑かもしれませんが、そのような体制を取れるように心がけています ✓ 当たり前 ✓ 声を掛けていいか悩んでしまう</td> <td>40～49歳</td> <td>✓ 手助けをどうすれば良いか思いつかない ✓ 自らの家庭が障害家庭であるが、手助けを求めても手助けしてくれないのでまったく助ける気がない ✓ 声をかけたことはない</td> </tr> <tr> <td>✓ 杖をついている人や車いすの人に気にかけるようにしている ✓ 過剰やおせっかいにならぬよう、手助けをしている。聴覚障害の方用に必要事項をかいたプレートを用意している</td> <td>50～59歳</td> <td>✓ 何もした事がない ✓ 身近にいないから、どうしたら良いかわからずにいる ✓ なかなか難しいと感じる</td> </tr> <tr> <td>✓ 車椅子や杖を付いている不自由なひとなど、横断歩道を渡る時など声をかけています ✓ ともに生きる社会だから ✓ 困っている人は助けたい</td> <td>60～69歳</td> <td>✓ 近所にそういう人がいない ✓ 他人の事に費やす余裕がない ✓ 手助けが難しい ✓ あまり見かけない</td> </tr> <tr> <td>✓ 自分自身の孫が障害を負って生まれてきたこともあり、またこの地域は盲学校も近くにあることから常にその気持ちでいる ✓ 当然</td> <td>70歳以上</td> <td>✓ 歩けないので自分のことで精一杯 ✓ していない</td> </tr> </tbody> </table>		【モニター的主要な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニター的主要な否定的意見】	✓ 気になるが話しかけづらい	19歳以下	✓ 自分のことで精一杯だから ✓ 障害のある人を見かけないから	✓ 自分が介護に携わった仕事をしていたので、余計手助けが必要なら声をかけているから ✓ 何か自分にはできることはあしてあげたい	20～29歳	✓ 障がい者を見かけない、見かけても困っていない限りは声をかけない ✓ あまり障害を持った方と出会わない	✓ 危ない所は沢山あるので気を配るようにしている ✓ できることはないか探している ✓ 声をかけるようにしている ✓ 困っている人にはなにか協力したいと思い、行動している	30～39歳	✓ あまり見かけない。介助者がいるので手は出さない ✓ 機会がない ✓ 見て見ぬふりが多いかもしれません ✓ 自身に余裕がない	✓ 気にはかける ✓ 迷惑かもしれませんが、そのような体制を取れるように心がけています ✓ 当たり前 ✓ 声を掛けていいか悩んでしまう	40～49歳	✓ 手助けをどうすれば良いか思いつかない ✓ 自らの家庭が障害家庭であるが、手助けを求めても手助けしてくれないのでまったく助ける気がない ✓ 声をかけたことはない	✓ 杖をついている人や車いすの人に気にかけるようにしている ✓ 過剰やおせっかいにならぬよう、手助けをしている。聴覚障害の方用に必要事項をかいたプレートを用意している	50～59歳	✓ 何もした事がない ✓ 身近にいないから、どうしたら良いかわからずにいる ✓ なかなか難しいと感じる	✓ 車椅子や杖を付いている不自由なひとなど、横断歩道を渡る時など声をかけています ✓ ともに生きる社会だから ✓ 困っている人は助けたい	60～69歳	✓ 近所にそういう人がいない ✓ 他人の事に費やす余裕がない ✓ 手助けが難しい ✓ あまり見かけない	✓ 自分自身の孫が障害を負って生まれてきたこともあり、またこの地域は盲学校も近くにあることから常にその気持ちでいる ✓ 当然	70歳以上	✓ 歩けないので自分のことで精一杯 ✓ していない
【モニター的主要な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニター的主要な否定的意見】																											
✓ 気になるが話しかけづらい	19歳以下	✓ 自分のことで精一杯だから ✓ 障害のある人を見かけないから																											
✓ 自分が介護に携わった仕事をしていたので、余計手助けが必要なら声をかけているから ✓ 何か自分にはできることはあしてあげたい	20～29歳	✓ 障がい者を見かけない、見かけても困っていない限りは声をかけない ✓ あまり障害を持った方と出会わない																											
✓ 危ない所は沢山あるので気を配るようにしている ✓ できることはないか探している ✓ 声をかけるようにしている ✓ 困っている人にはなにか協力したいと思い、行動している	30～39歳	✓ あまり見かけない。介助者がいるので手は出さない ✓ 機会がない ✓ 見て見ぬふりが多いかもしれません ✓ 自身に余裕がない																											
✓ 気にはかける ✓ 迷惑かもしれませんが、そのような体制を取れるように心がけています ✓ 当たり前 ✓ 声を掛けていいか悩んでしまう	40～49歳	✓ 手助けをどうすれば良いか思いつかない ✓ 自らの家庭が障害家庭であるが、手助けを求めても手助けしてくれないのでまったく助ける気がない ✓ 声をかけたことはない																											
✓ 杖をついている人や車いすの人に気にかけるようにしている ✓ 過剰やおせっかいにならぬよう、手助けをしている。聴覚障害の方用に必要事項をかいたプレートを用意している	50～59歳	✓ 何もした事がない ✓ 身近にいないから、どうしたら良いかわからずにいる ✓ なかなか難しいと感じる																											
✓ 車椅子や杖を付いている不自由なひとなど、横断歩道を渡る時など声をかけています ✓ ともに生きる社会だから ✓ 困っている人は助けたい	60～69歳	✓ 近所にそういう人がいない ✓ 他人の事に費やす余裕がない ✓ 手助けが難しい ✓ あまり見かけない																											
✓ 自分自身の孫が障害を負って生まれてきたこともあり、またこの地域は盲学校も近くにあることから常にその気持ちでいる ✓ 当然	70歳以上	✓ 歩けないので自分のことで精一杯 ✓ していない																											

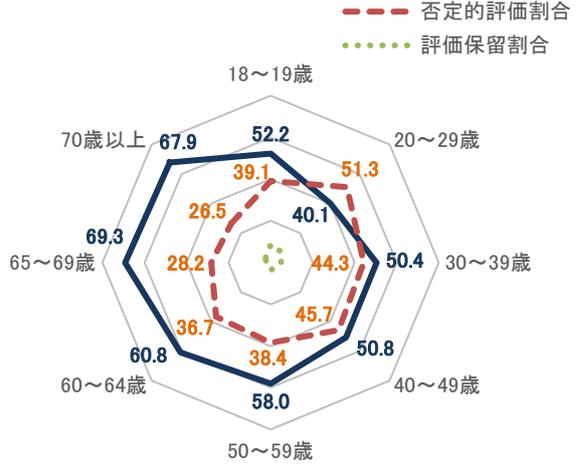
【施策コード／施策名】 2-3-2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現		【担当部局】 保健福祉部																																					
【区分】	【指標名】																																						
●	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>45.0%</td> <td>46.0%</td> <td>42.6%</td> <td>47.0%</td> <td>42.8%</td> <td>41.3%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>45.5%</td> <td>43.9%</td> <td>46.7%</td> <td>43.2%</td> <td>47.1%</td> <td>48.7%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>7.8%</td> <td>7.4%</td> <td>7.2%</td> <td>8.0%</td> <td>7.9%</td> <td>8.7%</td> </tr> </tbody> </table>			H29	H30	R1	R2	R3	R4	肯定的評価割合	45.0%	46.0%	42.6%	47.0%	42.8%	41.3%	否定的評価割合	45.5%	43.9%	46.7%	43.2%	47.1%	48.7%	評価保留割合	7.8%	7.4%	7.2%	8.0%	7.9%	8.7%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (H28)</th> <th>目標 (R4)</th> <th>49.7%</th> <th>🏠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (H29～R4)</td> <td colspan="2">44.1%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (H28)	目標 (R4)	49.7%	🏠	平均値 (H29～R4)		44.1%	
	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																	
肯定的評価割合	45.0%	46.0%	42.6%	47.0%	42.8%	41.3%																																	
否定的評価割合	45.5%	43.9%	46.7%	43.2%	47.1%	48.7%																																	
評価保留割合	7.8%	7.4%	7.2%	8.0%	7.9%	8.7%																																	
現状値 (H28)	目標 (R4)	49.7%	🏠																																				
平均値 (H29～R4)		44.1%																																					
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 評価保留割合 		<p>【肯定的回答割合肯定合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> —●— 肯定的評価割合 —●— モニター(参考) 																																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓近所の人に会ったら挨拶をしているから ✓近所に同級生が多くて、関わりがあるから ✓都会と比べ近所付き合いはあるので ✓近所付き合いがある ✓町内会の繋がりによって保たれている ✓挨拶を交わすなど少し関わりがある ✓ご近所さんの顔、名前が分かっている、挨拶する ✓近隣に住んでる人たちと良好なコミュニケーションがとれる ✓声をかけてくれるママ友がたくさんいるため ✓町内会の活動が活発 ✓ご近所との交流があるので、そのような関係が築かれているのではないかと考えています ✓年代が近い家族だと話しやすく、相談しやすい 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓コミュニケーションがないから 																																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓良くも悪くもそういう地域だと思う ✓高齢者の母の生活を見ていてそう思う ✓声掛けをします ✓台風19号の水害以来 近所の付き合いが密になった ✓良いお付き合いをしているご近所さんがいて助かっている ✓昔からの町なので、声を掛け合っている ✓支え合う場合もあり、反対にトラブルになる場合もあるが、交流は多いと思う ✓特に問題は無い 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓近所との関わりがない ✓アパート暮らしのためか、挨拶程度の関わりしかない。そういう家庭は多いと思う ✓単身の為 																																					
	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓マンション暮らしのため、ご近所付き合いはほとんどないから ✓近所づきあいがほとんどない ✓ご近所のことはよく知らない。もうコミュニティができていて井戸端会議に参加できない 																																					
	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓一人暮らしの為、怖くて出来ていない ✓アパートやマンションが増え、単身世帯が増え関わりは昔と比べて減っているように思うから ✓他人には興味ないと思う ✓近隣とのつながりが希薄に感じる 																																					
	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓現在、アパート暮らしです。アパートの人は持ち家の方と意識が違うような気もするし、持ち家の方の結束が強い気がして、なかなか入っていけない 																																					
	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓お互いに干渉し合わない。昔のような近所付き合いはない ✓地域性があると思いますが、新しい団地化した地域で、古くからの付き合いがない。また、留守家庭が多いため 																																					
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ほぼ、ご近所との会話は無い。どのようにすればいいのだろうか ✓地域コミュニティ(地縁)は十分とは言えない。むかしより疎遠になっている ✓ほとんど無関心 																																					

【区分】	【指標名】
○	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている

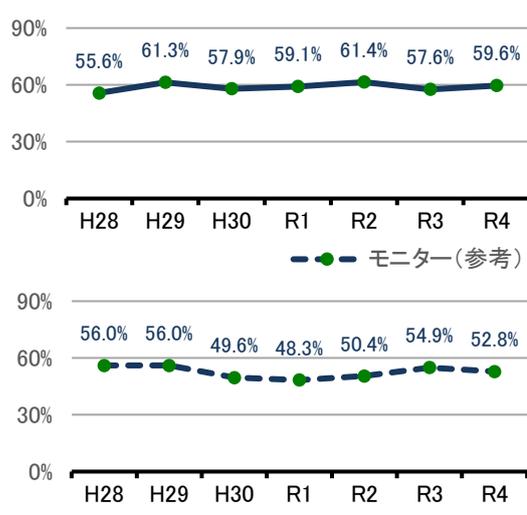
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	61.3%	57.9%	59.1%	61.4%	57.6%	59.6%
否定的評価割合	31.9%	36.7%	34.9%	33.8%	37.8%	35.9%
評価保留割合	4.8%	3.0%	2.9%	3.2%	3.1%	3.6%

現状値 (H28)	目標 (R4)	55.6%	↗
平均値 (H29～R4)		59.5%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニター(参考)の主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニター(参考)の主な否定的意見】
✓避難指示が出た時は声をかけ会おうと決めたりしているから	19歳以下	✓近所の人とあまり話さない
✓付き合いはある	20～29歳	✓近所付き合いは挨拶程度 ✓近所の交流がない為
✓人の輪を意識している ✓コミュニケーションをとることが多い ✓ゴミ拾いなど ✓賃貸ではあるが、近隣の方とは挨拶をはじめ、子供に関する相談などできる環境がある	30～39歳	✓自己中心的な人もいるため ✓交流をしていない(そもそもきっかけがない) ✓疎遠になりがちであまり感じない ✓機会がない ✓アパート暮らしなので近所付き合いはしていない
✓積極的に関わろうとはしています ✓もちろんです！ ✓子供がいるので、お互い助け合える関係が必要だと思うから ✓隣のお宅には大変助けてもらっている	40～49歳	✓交流ない ✓なるべく付き合いたくない ✓一人暮らしの為、恐怖心から出来ていない ✓自分の生活を守る事だけで一杯いっぱい状況だから
✓築けている ✓同じマンションの人と仲良くしている ✓災害時の声掛けを約束	50～59歳	✓近所付き合いがほとんどないから ✓アパート1人暮らしのこともあり、単なるご近所さんという意味での交流は簡単な挨拶程度です ✓積極的に交流している状況ではない ✓民生委員さんにお任せです、すみません
✓いざという時のため近隣と連絡をとる ✓台風19号で近所のありがたみがしみじみわかった ✓仲良くお付き合いが出来ているので大丈夫 ✓昔から住んでいるので ✓ご近所同士のお付き合いは大事です	60～69歳	✓他人の事に費やす余裕がない ✓なかなか交流の機会がない ✓特に思わない。近所といえども、気が合うとは限らない。頼られても困ることもある。お互いに干渉し合わないのが、良好のコツと思う ✓あいさつ程度しかおつきあいがいないため
✓ご近所での「支え合いマップづくり」にも取り組み、さらに支え合い・助け合う関係づくりにも今後とも取り組んでいく	70歳以上	✓していない ✓昔はそう思ったが、今は近所付き合いも少なくなっている

【施策コード／施策名】 2-3-3 生活の安定と自立への支援		【担当部局】 保健福祉部								
【区分】	【指標名】									
●	生活に困った時に相談できる体制が整っている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	27.3%	
肯定的評価割合	23.5%	21.7%	22.4%	25.4%	24.7%	23.8%	27.3%			
否定的評価割合	44.6%	43.8%	46.0%	41.8%	42.9%	43.7%				
評価保留割合	30.0%	31.4%	28.1%	30.8%	30.0%	31.1%	平均値 (H29～R4)		23.6%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
<ul style="list-style-type: none"> ✓相談している人が身近にいたから ✓窓口の案内を見かけたことがあるから ✓市のLINEがある ✓いろいろ相談できる窓口はあると思うから ✓私はすぐに保健師さんに相談している。でも、困ったときに市役所や保健師さんに相談すればいい、ということを知らない人もたくさんいると思う ✓市の相談窓口がある ✓支所があるので ✓自身の離婚で困ったときに市役所に何度か相談に行かせてもらった ✓市役所の相談の対応がよい 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓移住者には辛い ✓単身の為 ✓どこに相談すればよいかわからない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓広報、回覧等で周知されるから ✓利用したことがなく分からないがそういう印象 ✓支所などで相談に乗ってくれると思うので ✓知人友人がいるし、ネット検索がある 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓田舎特有の話の広がりが酷い ✓そういう情報を知らない ✓相談できる機関検索の仕方がわからない ✓一概に言えないと思う 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓警察の生活安全課には相談しやすい ✓生活支援課など相談出来る場所がある ✓コロナが流行り始めた頃に「民生員」さんから電話がかかって来て驚いた。東京に居た時にはそういう人との関りが無かったので新鮮な思いをした 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓どこにどう相談していいかわからない ✓どこに聞いたらいいかわからないし、嫌な対応をされそうなイメージがある ✓まいさぼに相談しても、あまり役に立たない ✓個人情報かね。やだわ 						
		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓民生委員などの態勢があるようですが、利用しようとは思えず、民間任せに丸投げしているように思います ✓相談窓口までたどり着くのが容易でない ✓どこに相談すればいいのか高齢になるほどわからなく、わかりやすく伝わりやすくしてほしい 						
		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓どこに相談すれば良いかわからない ✓生活に困る原因は、お金ですかね。お金の問題って、背景というか原因が複雑だから、むずかしいと思う ✓土日に利用できない 						
		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓どこにそういう場所があるかわからない ✓相談する場合は本庁へいかなければならず不便 ✓窓口はあるのだけれど、ほんとうに困っている人がアクセスしやすいかどうか 						
		70歳以上								

【施策コード／施策名】 2-4-1 健康の保持・増進の支援		【担当部局】 保健福祉部																									
【区分】	【指標名】																										
●	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている																										
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	<table border="1"> <tr> <td>現状値 (H28)</td> <td>目標 (R4)</td> <td>49.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均値 (H29～R4)</td> <td colspan="2">43.4%</td> </tr> </table>	現状値 (H28)	目標 (R4)	49.5%		平均値 (H29～R4)		43.4%													
現状値 (H28)	目標 (R4)	49.5%																									
平均値 (H29～R4)		43.4%																									
	<table border="1"> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>43.9%</td> <td>43.3%</td> <td>42.7%</td> <td>45.3%</td> <td>43.7%</td> <td>41.2%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>37.4%</td> <td>38.6%</td> <td>38.3%</td> <td>37.3%</td> <td>39.0%</td> <td>40.4%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>16.9%</td> <td>15.2%</td> <td>15.2%</td> <td>15.4%</td> <td>15.0%</td> <td>16.7%</td> </tr> </table>						肯定的評価割合	43.9%	43.3%	42.7%	45.3%	43.7%	41.2%	否定的評価割合	37.4%	38.6%	38.3%	37.3%	39.0%	40.4%	評価保留割合	16.9%	15.2%	15.2%	15.4%	15.0%	16.7%
肯定的評価割合	43.9%	43.3%	42.7%	45.3%	43.7%	41.2%																					
否定的評価割合	37.4%	38.6%	38.3%	37.3%	39.0%	40.4%																					
評価保留割合	16.9%	15.2%	15.2%	15.4%	15.0%	16.7%																					
	<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p>			<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																							
	【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																							
✓	✓学校ではんかつがあるから		19歳以下	✓あまり実感できない ✓公共施設はあまりない気がする																							
✓	✓無料や定額で参加できる体操集会など広報に乗っている ✓地域や市の取り組みができてる ✓市の広報誌などにも市内在住の方々気軽に受講できる健康教室などが提示されていたり、オリンピックスタジアムなどを利用してのイベントもあるからです		20～29歳	✓そういう情報を知らない ✓情報が簡単に検索できないし、手軽にスポーツできる機会がない。他の市町村では託児付きでテニスができるところがあり、育児中でもスポーツが身近に感じられました ✓健康教室など昼間にやる物が多く参加できない																							
✓	✓健康教室のお知らせをよく目にする ✓検診等が充実してる ✓運動場や、公園が整備されていて、子供を連れていたり、ジョギングをしたり、利用しやすいです ✓地域で健康体操やヨガなどやっているから		30～39歳	✓健康に関するイベントなどの情報がない ✓そういった場所があるかも知らない ✓学校の校庭を開放して欲しい ✓高齢者は整っていると思います																							
✓	✓公民館なども含めるといろいろな場所で活動があると思うので ✓体育施設が多い		40～49歳	✓そうおもわないから ✓勤労青少年ホーム、サンライフ長野等の廃止方針 ✓コロナで中止が多い																							
✓	✓運動施設もあるし、近所の散歩やランニングコースにも困らない ✓吉田地区は公園も多く、また自然環境も良いので毎朝ジョギング等で環境増進に努めています。フィットネスクラブの数も多いようです ✓各種健康診断メニューが豊富と思う、補助金も整っている ✓長野市報には色々な運動教室が募集してて助かる ✓エムウェーブが近くにあり、ウォーキングができる		50～59歳	✓ウォーキングと考えると、歩道を歩く・・・で環境が良と言えない ✓公営のプールや運動したいときも、遠くていやになります ✓体操教室など日中のプログラムが多く働いている人は利用しにくい ✓障害のある方に対しての環境が整っているとは感じられない																							
			60～69歳																								
			70歳以上	✓自身が健康でないから ✓その環境の状況を知らない																							

【施策コード／施策名】 2-4-1 健康の保持・増進の支援		【担当部局】 保健福祉部																																																																								
【区分】	【指標名】																																																																									
○	健康づくりに継続的に取り組んでいる																																																																									
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	<table border="1"> <tr> <td>現状値 (H28)</td> <td>目標 (R4)</td> <td>56.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均値 (H29~R4)</td> <td colspan="2">62.0%</td> </tr> </table>	現状値 (H28)	目標 (R4)	56.8%		平均値 (H29~R4)		62.0%																																																											
現状値 (H28)	目標 (R4)	56.8%																																																																								
平均値 (H29~R4)		62.0%																																																																								
【令和4年度結果(年代別/単位%)】		<table border="1"> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>62.8%</td> <td>60.1%</td> <td>58.9%</td> <td>63.3%</td> <td>62.9%</td> <td>63.8%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>32.4%</td> <td>35.9%</td> <td>36.6%</td> <td>32.9%</td> <td>33.8%</td> <td>33.7%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>2.7%</td> <td>1.6%</td> <td>1.4%</td> <td>2.3%</td> <td>1.9%</td> <td>1.5%</td> </tr> </table>					肯定的評価割合	62.8%	60.1%	58.9%	63.3%	62.9%	63.8%	否定的評価割合	32.4%	35.9%	36.6%	32.9%	33.8%	33.7%	評価保留割合	2.7%	1.6%	1.4%	2.3%	1.9%	1.5%	<table border="1"> <tr> <td>【肯定的回答割合の推移】</td> <td>肯定的評価割合</td> </tr> <tr> <td>90%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>60%</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>30%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>64.5%</td> <td>67.0%</td> <td>64.4%</td> <td>62.9%</td> <td>62.2%</td> <td>72.1%</td> <td>61.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="7">モニター(参考)</td> </tr> <tr> <td>90%</td> <td>60%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> </table>		【肯定的回答割合の推移】	肯定的評価割合	90%	60%	60%	30%	30%	0%	0%		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	64.5%	67.0%	64.4%	62.9%	62.2%	72.1%	61.1%	モニター(参考)							90%	60%	30%	0%				H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	62.8%	60.1%	58.9%	63.3%	62.9%	63.8%																																																																				
否定的評価割合	32.4%	35.9%	36.6%	32.9%	33.8%	33.7%																																																																				
評価保留割合	2.7%	1.6%	1.4%	2.3%	1.9%	1.5%																																																																				
【肯定的回答割合の推移】	肯定的評価割合																																																																									
90%	60%																																																																									
60%	30%																																																																									
30%	0%																																																																									
0%																																																																										
H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																				
64.5%	67.0%	64.4%	62.9%	62.2%	72.1%	61.1%																																																																				
モニター(参考)																																																																										
90%	60%	30%	0%																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ながいきしたいから ✓健康でいたい気持ちはある ✓毎日筋トレをしているから 		19歳以下																																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ✓移動手段が徒歩なので頑張って歩いている ✓散歩や筋トレなどできることを毎日している ✓産後ヨガなど参加した 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加出来ていない ✓特にしていない ✓もっと検診の無料券などがあれば検査をして健康をもっと意識出来るとおもう 																																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ジムに行き健康作りをしている ✓なるべく歩く ✓忙しい中でも、運動を日課にしている ✓運動を心がけている 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓何かしなくては、したいと思うけれど何が自分に適しているのかわからず、長く続かない ✓不規則勤務なのでなかなか厳しい ✓車移動がメインになってしまい、仕事以外であまり動いていない 																																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓子どもが0歳で私は45歳です。子どもが30になった時私は75歳です。健康意識はかなり高くなりました ✓日々の犬の散歩 ✓週単位で運動や日々ストレッチも心がけている ✓毎朝のウォーキングや自転車通勤は欠かさず実施しているから 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓何かしたいと平日頃考えてはいますが、実行できていません ✓仕事と家庭で忙しく、ジムに通う金銭的余裕もない ✓日常生活に取り入れるのが難しい ✓健康づくりに取り組む気力がわかない 																																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分のため ✓朝晩の犬の散歩 ✓健康に不安が出てきたので、ヨガ、ピラティス、ストレッチの講座にお世話になっています 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特別なことはしていない ✓していない ✓なかなか続きません ✓近所のスーパーは歩くようにしている 																																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓定期健康診断を毎年受診し、食生活に留意し、スポーツも行っています ✓自宅にフィットネスマシーンがあり日常的に使用している ✓畑など 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓なかなかできない ✓運動はかえってストレスになる ✓取り組みたいが時間がない ✓必要と思っているが、なかなかできない 																																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市の体操教室に参加。ジョギングも行っている ✓ダイエットを心掛けている。歩くなどして 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓動けない 																																																																							

【施策コード／施策名】 2-4-2 保健衛生の充実		【担当部局】 保健福祉部													
【区分】	【指標名】														
●	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている														
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	<table border="1"> <tr> <td>現状値 (H28)</td> <td>目標 (R4)</td> <td>21.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均値 (H29～R4)</td> <td colspan="2">18.2%</td> </tr> </table>	現状値 (H28)	目標 (R4)	21.7%		平均値 (H29～R4)		18.2%	
現状値 (H28)	目標 (R4)	21.7%													
平均値 (H29～R4)		18.2%													
	17.8%	17.4%	16.7%	20.8%	18.4%	18.0%									
	51.7%	50.1%	51.7%	47.3%	50.6%	50.5%									
	28.5%	29.4%	27.9%	29.9%	28.6%	29.7%									
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 評価保留割合 							<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 肯定的評価割合 ● モニター(参考) 								
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】												
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 宣伝されていて知っているから ✓ 保健所が近くにあるので、子育て不安は相談できる環境である ✓ 相談できる場所がある ✓ 相談窓口がある。若い子でも利用しやすいようラインでも相談出来るようになってきている案内を見たことがある ✓ 相談員の方から色々な方の実体験の話などを伺えて参考になった ✓ かかりつけ医がいるので ✓ 保健師さんの活動が多岐に渡り充実 ✓ 周知されていると思う ✓ 区市町村のHP、ネット検索から情報入手できる ✓ 電話相談 ✓ 利用しやすさは分からないが窓口があるのは知っている。病院は予約が混んで取りにくい ✓ 相談窓口が多い ✓ 精神科クリニックみたいのが結構ある ✓ 何でも話せる家族と友人がいる ✓ 市の広報を見てそう思う ✓ 警察安全生活課に相談しやすい ✓ 電話相談できる 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スクールカウンセラーをお願いするのが恥ずかしい ✓ どこに相談していいかわからない ✓ どこに相談すればいいかわからない ✓ どこにも相談できないという印象 ✓ ワンストップサービスの体制ができていない ✓ 自身で探さないと判らないと思う ✓ 色々問題はあがるが、自分がまねいた家庭環境であるため、相談することはしていない ✓ 相談してるが解決されない ✓ 気軽に相談が出来るサービスがある事をしらない ✓ 体制ないですね ✓ 相談する所がわからない ✓ 気軽に相談できる感じがしない ✓ 不安やストレスぐらいでは相談できない ✓ 多分、なんとなくですが、不安やストレス程度で役所には相談しにくいです ✓ 一人で抱え込まない体制 ✓ 土日に利用できない ✓ 相談窓口がわかりにくいから ✓ そのような場所があるのかもわかりません ✓ 不安やストレスの原因が、健康なのか、人間関係なのか、お金なのか、問題が複雑化に絡み合っていて、どこに相談すればいいか迷う気がする ✓ 相談体制があることは広報でも知っているが、実態として活用されているか疑問 ✓ 不安やストレスは個人に関わる心の状態であり、どこに相談できるかよくわからない 												
		20～29歳													
		30～39歳													
		40～49歳													
		50～59歳													
		60～69歳													
		70歳以上													

【施策コード／施策名】 2-4-2 保健衛生の充実		【担当部局】 保健福祉部									
【区分】	【指標名】										
○	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている										
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	64.8%	↗
		69.2%	69.0%	66.4%	68.4%	68.4%	69.5%				
		25.0%	26.4%	27.6%	26.3%	26.7%	26.6%				
		3.4%	2.3%	3.0%	3.6%	3.3%	2.9%				
								平均値 (H29～R4)		68.4%	
【令和4年度結果(年代別/単位%)】		— 肯定的評価割合		- - - 否定的評価割合		●●●● 評価保留割合					
		【肯定的回答割合の推移】 —●— 肯定的評価割合 									
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不安を消えすぎると、自滅してしまうから ✓ 体を壊すことにもつながるから ✓ 友人に相談するなどして解消している ✓ 周りを頼ったりして、生活している 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓ そういうことを相談するのは得意でないから ✓ 抱えている 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人と話せる場所に自ら行く ✓ すぐ愚痴ってしまう。迷惑かと心配になる ✓ 友人や家族に話を聞いてもらってため込まないようにしている ✓ 精神科にかかっている 		20～29歳									
<ul style="list-style-type: none"> ✓ マイナス影響しかないので、母親、夫、同僚や友人など、話せる相手に早めに伝え気持ちを整理することになっている ✓ 人に頼るようにしているから ✓ 通院しているので 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 話せる人がいない ✓ 機会がない ✓ 人に話しても要らないアドバイスばかり言われるので話したくない ✓ ストレスコントロールが下手なので 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 気分転換は大事だと考えています ✓ ある程度はコントロールできているから ✓ 人はひとりでは生きていけないと思うし助け合うこと、思いやりは人間しかできないと思うので ✓ 一人では解決できないことが多い 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 基本、一人で抱え込んで自力で解決している ✓ 相談しない ✓ 信頼できる相手がない ✓ 相談しても解決できるわけではないので ✓ ストレスを抱え込みがち 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 健康を維持するためにも気をつけている ✓ スポーツをやったり、時々旅行したり、心理学や哲学、精神疾患の勉強をしてストレスをためないようにしています ✓ とにかく誰かに話す、しゃべる事にしています 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分のことは自分で ✓ 基本的に一人で解決するタイプ。それを、一概に「悪いこと」にくらわないでね ✓ 不安しもなく共有できる人がいない。家族に話しても気持ちが軽くなることがない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ メンタルのコントロールを意識している ✓ 家にもることが不安・ストレスに繋がると思うので、できるだけ外に出るようにしている 		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人に迷惑をかけたくない ✓ 他人には相談しない。自分自身で解決するよう、気分転換を図る努力はしている ✓ 相談できる状況にない 							
		70歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人には相談しない ✓ 自分の中で消化している ✓ 吐き出す場所はない 							

【施策コード／施策名】 2-4-3 地域医療体制の充実		【担当部局】 保健福祉部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
●	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	62.9%																																																													
肯定的評価割合	58.4%	60.3%	58.2%	62.8%	61.3%	60.6%	62.9%	60.3%																																																														
否定的評価割合	28.6%	26.9%	28.3%	25.4%	26.5%	27.5%																																																																
評価保留割合	11.0%	9.8%	10.1%	10.0%	10.0%	10.3%																																																																
<p>【令和3年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和3年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>69.5</td><td>23.0</td><td>8.7</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>63.8</td><td>23.0</td><td>18.5</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>66.4</td><td>29.7</td><td>30.9</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>58.2</td><td>29.7</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>59.3</td><td>30.9</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>57.1</td><td>32.2</td><td>10.7</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>63.7</td><td>28.1</td><td>8.2</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>60.0</td><td>26.8</td><td>13.2</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合肯定合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合肯定合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>62.9%</td><td>71.5%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>58.4%</td><td>74.2%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>60.3%</td><td>75.2%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>58.2%</td><td>76.2%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>62.8%</td><td>75.6%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>61.3%</td><td>76.2%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>60.6%</td><td>65.8%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	69.5	23.0	8.7	20～29歳	63.8	23.0	18.5	30～39歳	66.4	29.7	30.9	40～49歳	58.2	29.7	11.1	50～59歳	59.3	30.9	9.8	60～64歳	57.1	32.2	10.7	65～69歳	63.7	28.1	8.2	70歳以上	60.0	26.8	13.2	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	62.9%	71.5%	H29	58.4%	74.2%	H30	60.3%	75.2%	R1	58.2%	76.2%	R2	62.8%	75.6%	R3	61.3%	76.2%	R4	60.6%	65.8%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	69.5	23.0	8.7																																																																			
20～29歳	63.8	23.0	18.5																																																																			
30～39歳	66.4	29.7	30.9																																																																			
40～49歳	58.2	29.7	11.1																																																																			
50～59歳	59.3	30.9	9.8																																																																			
60～64歳	57.1	32.2	10.7																																																																			
65～69歳	63.7	28.1	8.2																																																																			
70歳以上	60.0	26.8	13.2																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	62.9%	71.5%																																																																				
H29	58.4%	74.2%																																																																				
H30	60.3%	75.2%																																																																				
R1	58.2%	76.2%																																																																				
R2	62.8%	75.6%																																																																				
R3	61.3%	76.2%																																																																				
R4	60.6%	65.8%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓いつもお世話になっているから ✓いろんなワクチンを無料で打てるから ✓病院が各所にある為 ✓病院で不便を感じたことがないから 		19歳以下																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓選び放題 ✓しっかりした病院が多く、かかりつけ医制度もうまく運営できている 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓医療費が高いから、診察するのもお金を気にして我慢してしまう時がある 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓身近に色々な病院があり、そこで十分治療可能であるから ✓篠ノ井のなので、医療機関が揃い不自由はない。共働きなので、子供を病院に連れて行く時は、休みをとらなければならない、延ばし延ばしにしがちになる ✓市民、日赤など総合病院が充実 ✓病院も多いし、夜間の救急外来も選べるほどあるから 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓他市町村にあるような夜間救急センターのようなものがない ✓小児科が少ない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓安心して地域の診療所があり、症状や必要に応じて適切に専門医に紹介していただける態勢になっていると思います 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓医療費の補助をもっとしてほしい ✓待ち時間長いから病院行きたくないです。小児科とか増 ✓どこの病院も少し専門的な診察になるとほぼ長野赤十字病院に回す印象です。長野赤十字病院が機能しなくなったら崩壊する医療体制なら、それは整っているとは思えません。分散が必要です ✓発達障害児の新規外来がいっぱいで受け付けてもらえず困っている為 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓健康診断、病院など、必要な機関は整っていると思う ✓長野市は基本的に医療機関は充実している方だと思います ✓かかりつけ医を持っているし今回のコロナワクチン接種では市には迅速に対応してもらったので医療体制については信頼している 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓入院してすぐ転院先を求められる ✓市内に最先端医療が受けられる病院がほしい。専門医がすくない。長野日赤は施設が古すぎる 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓かかりつけ医を持っているし今回のコロナワクチン接種では市には迅速に対応してもらったので医療体制については信頼している ✓身近に病院などがあるため 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓まずは個人医院そこから総合病院と時間がかかる ✓医療サービスの申請の仕組みは複雑でわからない ✓先進医療を受けることができる大規模総合病院の選択肢が少ない ✓相談出来る良い病院、医院が少ない 																																																																			
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓近くの診療所が高齢化している 																																																																			

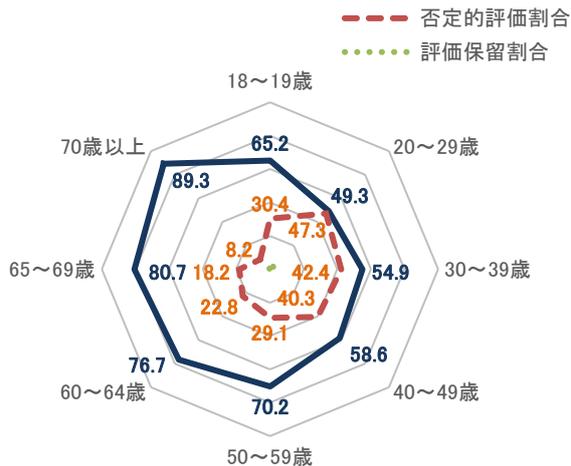
【施策コード／施策名】 2-4-3 地域医療体制の充実	【担当部局】 保健福祉部
--------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
○	かかりつけ医がいる

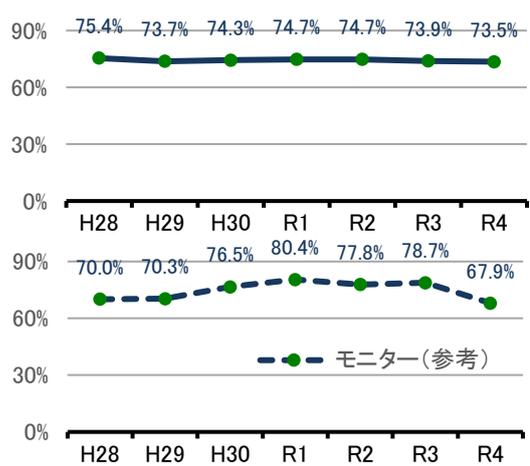
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	73.7%	74.3%	74.7%	74.7%	73.9%	73.5%
否定的評価割合	22.5%	22.9%	22.2%	22.7%	23.5%	24.8%
評価保留割合	1.8%	0.7%	0.5%	1.4%	1.3%	0.8%

現状値 (H28)	目標 (R4)	75.4%	
平均値 (H29～R4)		74.2%	

【令和3年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



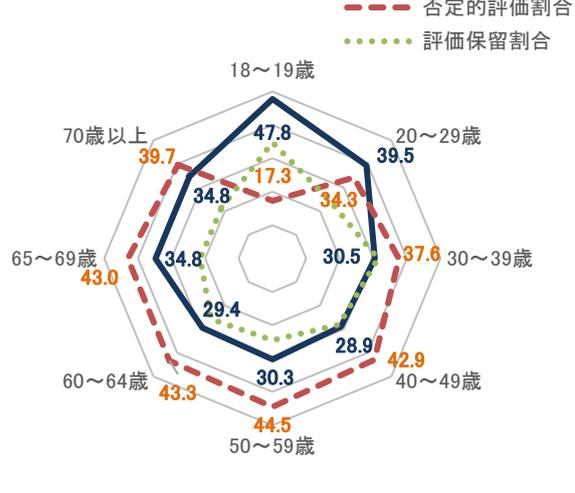
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ いるから ✓ 小さい時からお世話になっている所がある ✓ 毎回この医者に行けば良いが探さなくて良いから ✓ いざというときに頼れるから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高校生になり小児科から内科に変わるタイミングでかかりつけがいなくなったから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもがよくお世話になるので ✓ 近所でみつけている ✓ 健康不安があるので病院はよくいきます ✓ 信頼できる医者がある 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 病気がない為 ✓ 数年病院にはかかっていない ✓ 病院がどこにあるのか分からない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 基礎疾患もち ✓ すぐいける病院があるが、後継がないので今後は心配 ✓ 持病があるので定期的に通院し、その際に健康診断でよくなかった項目の相談などもしている ✓ 近所の小児科をかかりつけ医にしている 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あまり受診する機会がないから ✓ かかりつけ医が休業になってしまったから ✓ 2020年に転入してきてから、かかりつけ医がなく、不安に感じている
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 持病でかかっている ✓ 近隣に、信頼できる診療所がある ✓ 毎月、処方してもらう医院がある。市外だけど 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 健康なので ✓ 見つけたいです ✓ 風邪くらいしかひかないので、あまりかかるとなく、かかりつけ医は今のところありません
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所の個人病院に通っている ✓ 頼れる病院とお医者さんがいる ✓ 苦労して見つけた。本当にいいのかわからないが満足している。でも後継者がいないみたい ✓ 血圧が高いので定期的にかかると 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あまり病院に行かないから ✓ 歯医者以外は、あまり病気になるのでない ✓ あまり病院に行かないので、よくわかりません
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 定期的に通っている ✓ 定期的に診察に伺い、治療や町(区)の相談にも乗っていただいている 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どう探すがが課題 ✓ 定期的に通っている医者はいない ✓ 通院の機会がないから ✓ あまり病気をしないので特定の医師はいませんが、定期健康診断の病院がかかりつけ病院といえるかもしれません ✓ かかりつけ医というより、専門医に行くので
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 定期的に通っている ✓ 定期的に診察に伺い、治療や町(区)の相談にも乗っていただいている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2年前のコロナ初期にマスクしないで対応した医者がおり、コロナは風邪の一種だと言われて怖くなったので、かかりつけ医が無くなった

【区分】	【指標名】
●	互いの個性や立場を尊重し合える地域である

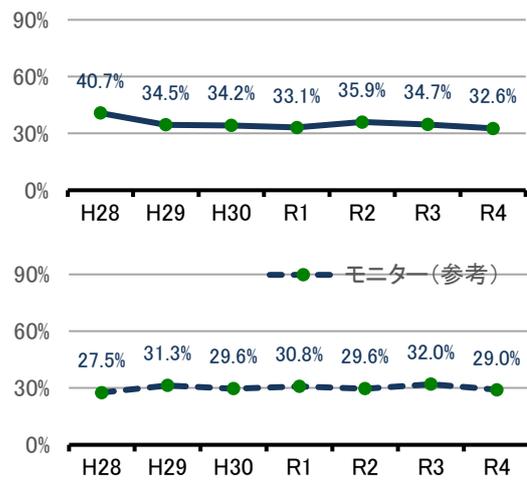
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	34.5%	34.2%	33.1%	35.9%	34.7%	32.6%
否定的評価割合	40.2%	40.3%	40.7%	39.5%	40.8%	41.1%
評価保留割合	23.3%	22.6%	22.4%	22.6%	22.1%	24.6%

現状値 (H28)	目標 (R4)	40.7%	↗
平均値 (H29～R4)			34.2%

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



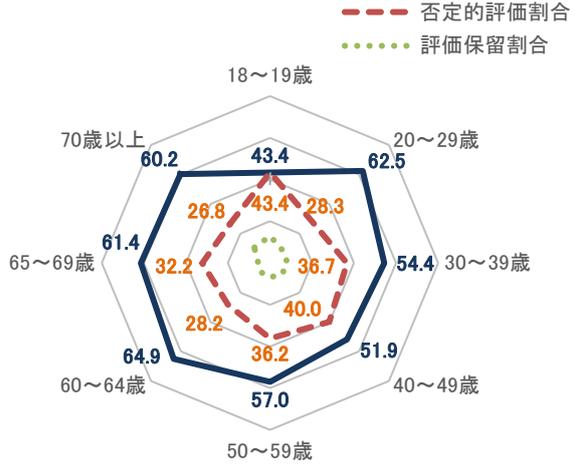
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓	19歳以下	✓外国から来た生徒をバカにする場面に遭遇したことが度々あるから ✓同性婚や夫婦別姓など、個人の自由なことが認められてないのはおかしいと思うから
✓生活して人間面で不便に感じたことがない ✓特に不満なし	20～29歳	✓個性として認められないことも多い ✓長野県民は閉鎖的な印象を受ける
✓強く干渉されないとところが気楽である ✓県外からの移住者にも優しいと感じる ✓付かず離れず、変に踏み込んできたりはしない	30～39歳	✓長野はまだ昔ながらの価値感が蔓延していますね ✓賃貸物件が多く、ご近所付き合いが希薄
✓理解ある人が多い ✓学校でそのような教育目標で取り組みがされているから ✓私の周りの環境は悪くないと思っています ✓あまり干渉されないの	40～49歳	✓個性を發揮できる場がない ✓柔軟性に欠ける。新しく何かを取り入れる。などが苦手な地域なのかなと思います ✓昔からある地域なので、人のうわさ話をこそこそとしているシーンがある。その点を考えるとそのようには思わない
✓思います ✓住みやすいので満足、新しく移り住んできた人も満足している	50～59歳	✓どちらかといえば不寛容な住民性を感じる ✓ハラスメントが多い ✓まず隣近所の交流が少ない
✓隣近所も地区も問題ない ✓信州人の気質ではないか ✓特に障壁はないように思われる	60～69歳	✓地域の中には古い考えの人がいる。閉鎖的なところがある。社会の流れと個々の意識が追いついていない ✓わりと、他人には無関心、または、そっとしておこうという考え方が習慣化している
✓住んで40年になるので、近所関係は特に問題ない ✓皆、独立した姿勢を尊重してる	70歳以上	✓むしろ無関心の人が多い ✓男女差別はまだ現存。LGBTなど性の多様化についての理解がそんなに進んではいないと感じる

【区分】	【指標名】
○	人権問題について理解を深めようとしている

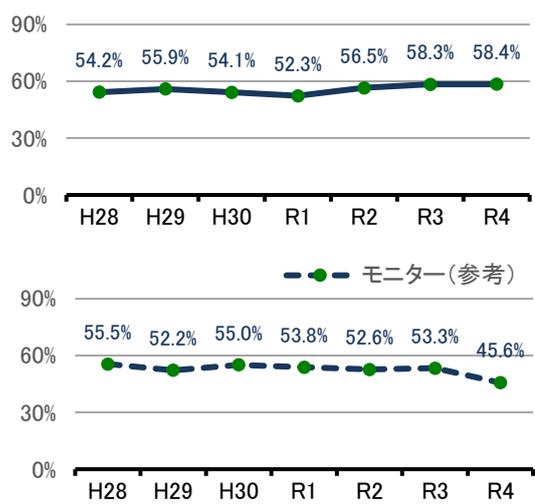
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	55.9%	54.1%	52.3%	56.5%	58.3%	58.4%
否定的評価割合	32.8%	36.9%	35.8%	33.8%	32.4%	32.3%
評価保留割合	8.8%	6.6%	8.7%	8.0%	7.5%	8.2%

現状値 (H28)	目標 (R4)	52.4%	↗
平均値 (H29～R4)		55.9%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校でも関心が高まっているから ✓ニュースや新聞などを見ている ✓ロシアみたいにならないようするため 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校の授業を通して深めている ✓人はみんな平等だとおもうから 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓とくに気にしていない ✓興味なし
<ul style="list-style-type: none"> ✓多様な価値観を認めている ✓ことあるごとに考えるようにしています ✓ニュース、特集番組などよく見るようにしている 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓中学生の時に授業はあったが今は特に気にしていない ✓子どもの頃は同和教育があったが、最近は理解を深める機会がない ✓機会がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓テレビや新聞・ネットで情報を得るようにはしている ✓人権問題について考えることは人として大切だと思うので 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓情報がないので ✓他者を気に掛ける余裕がない ✓人権を理解してくれない地域で理解を深めるのは無理がある
<ul style="list-style-type: none"> ✓人と接する時など、相手の人権を尊重することを考えている ✓自分の人権が侵されていると感じるから ✓多様性を認めています ✓わりと勉強しているほうだと思う 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓日常であまり意識する必要を感じない ✓具体的にどのような内容の案件を「人権問題」としているのかわからない ✓普段、意識していないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓意識して生活している ✓Human Right Abuse やGender discrimination、Crime against Humanity、Trafficking などの人権問題の専門書読んだり、国際法をべんきょうしています ✓報道や記事に関心を持っている 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓意識したことも無い ✓機会がない ✓あまり、深くは考えていない ✓特に活動していない
<ul style="list-style-type: none"> ✓朝陽地区人権教育指導員(朝陽地区人権協議会副会長)を務めさせていただいております ✓若い時から意識している 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓人権問題とは

【施策コード／施策名】 2-5-2 男女共同参画社会の実現		【担当部局】 地域・市民生活部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
●	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	29.0%																																																													
肯定的評価割合	25.5%	24.1%	23.1%	27.0%	23.5%	24.5%	29.0%	24.6%																																																														
否定的評価割合	44.5%	45.1%	45.6%	43.3%	46.7%	44.2%																																																																
評価保留割合	28.1%	27.9%	27.4%	27.7%	27.4%	29.7%	29.0%	24.6%																																																														
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>39.1</td><td>21.7</td><td>35.5</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>35.6</td><td>35.5</td><td>27.9</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>27.9</td><td>36.8</td><td>23.0</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>23.0</td><td>47.8</td><td>23.8</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>23.8</td><td>46.8</td><td>19.6</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>19.6</td><td>45.7</td><td>23.0</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>23.0</td><td>48.1</td><td>24.0</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>24.0</td><td>43.4</td><td>32.6</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>29.0%</td><td>23.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>25.5%</td><td>28.0%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>24.1%</td><td>24.8%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>23.1%</td><td>30.1%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>27.0%</td><td>23.7%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>23.5%</td><td>26.2%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>24.5%</td><td>20.7%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	39.1	21.7	35.5	20～29歳	35.6	35.5	27.9	30～39歳	27.9	36.8	23.0	40～49歳	23.0	47.8	23.8	50～59歳	23.8	46.8	19.6	60～64歳	19.6	45.7	23.0	65～69歳	23.0	48.1	24.0	70歳以上	24.0	43.4	32.6	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	29.0%	23.0%	H29	25.5%	28.0%	H30	24.1%	24.8%	R1	23.1%	30.1%	R2	27.0%	23.7%	R3	23.5%	26.2%	R4	24.5%	20.7%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	39.1	21.7	35.5																																																																			
20～29歳	35.6	35.5	27.9																																																																			
30～39歳	27.9	36.8	23.0																																																																			
40～49歳	23.0	47.8	23.8																																																																			
50～59歳	23.8	46.8	19.6																																																																			
60～64歳	19.6	45.7	23.0																																																																			
65～69歳	23.0	48.1	24.0																																																																			
70歳以上	24.0	43.4	32.6																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	29.0%	23.0%																																																																				
H29	25.5%	28.0%																																																																				
H30	24.1%	24.8%																																																																				
R1	23.1%	30.1%																																																																				
R2	27.0%	23.7%																																																																				
R3	23.5%	26.2%																																																																				
R4	24.5%	20.7%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 性差別はないと思うから ✓ 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 男子生徒だけができて、女子生徒は試してもいないのに危険だからときめつけられることがよくあるから 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 誰もが輝ける街づくりであるように感じる 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 性差がある ✓ パートナーシップ制度が導入されていない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 女性が生きやすい ✓ 個人事業主なのか、お店を持っている人が多いイメージ ✓ 子どもの好きな色、髪型を尊重できる ✓ あまり男女差別を意識するような出来事がないため 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 同じく、長野はまだまだ昔ながらの価値感が蔓延しています。私自身、子供が性の不一致だったら受け止められる自信がありません ✓ 託児可能な会社がありません、育児をしている女性にとっては働きにくい街だと思います ✓ 個性や能力を活かしたくても、活かせる職場や活動がない(知らない) 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校で、性別に関わらず個性を尊重する教育がなされているから ✓ 小学生の帽子が男女共通になった ✓ 現在の地区ではそう思う 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 勤務先では男女での区別もありますし、子供たちにおいてもやはり性別での違いは多少なりともあり、十分に活かせるとは思いません ✓ 地区の寄り合いに参加したことがあるが、男尊女卑が酷かった 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 性別で差別されやすいという話は聞いたことがないから ✓ 掃除など協力しあっていると思う ✓ 性別に関係なく個性を生かしている 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 女性の活用はまだまだ ✓ ある程度の年齢になると、女性の正規雇用の道はほぼないのでは ✓ 男性優位である。地域の役員はほぼ男性 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分はそうなので。女子高です ✓ 前に女性区長がいたから ✓ 制約はないと感じる 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 男尊女卑が強く残っている地域 ✓ 能力や個性を伸ばす機会は都会に比べ少ないと思う ✓ 性差別は現実にある 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 性別で、他の地域と比べて特別、差別された経験がない ✓ 皆、自由に活動してる 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 男女共同参画が言われて久しいがまだまだ十分とは言えず。女性の社会進出をもっと進める必要がある 																																																																			

【施策コード／施策名】 2-5-2 男女共同参画社会の実現		【担当部局】 地域・市民生活部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
○	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R3	現状値 (H28)	目標 (R4)	47.3%																																																													
肯定的評価割合	50.3%	48.6%	49.6%	51.2%	56.7%	56.3%	平均値 (H29～R4)	52.1%																																																														
否定的評価割合	36.0%	38.8%	35.6%	36.3%	32.5%	33.0%																																																																
評価保留割合	11.4%	10.0%	11.5%	10.9%	9.2%	9.7%																																																																
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>47.8</td><td>43.4</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>59.9</td><td>30.3</td><td>33.6</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>56.7</td><td>37.6</td><td>33.3</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>53.5</td><td>36.9</td><td>26.6</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>53.8</td><td>36.1</td><td>33.3</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>66.1</td><td>33.3</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>59.3</td><td>30.3</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>54.5</td><td>30.3</td><td>30.3</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>47.3%</td><td>53.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>50.3%</td><td>46.7%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>48.6%</td><td>52.4%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>49.6%</td><td>51.7%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>51.2%</td><td>51.9%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>56.7%</td><td>57.4%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>56.3%</td><td>51.3%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	47.8	43.4	30.3	20～29歳	59.9	30.3	33.6	30～39歳	56.7	37.6	33.3	40～49歳	53.5	36.9	26.6	50～59歳	53.8	36.1	33.3	60～64歳	66.1	33.3	30.3	65～69歳	59.3	30.3	30.3	70歳以上	54.5	30.3	30.3	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	47.3%	53.0%	H29	50.3%	46.7%	H30	48.6%	52.4%	R1	49.6%	51.7%	R2	51.2%	51.9%	R3	56.7%	57.4%	R4	56.3%	51.3%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	47.8	43.4	30.3																																																																			
20～29歳	59.9	30.3	33.6																																																																			
30～39歳	56.7	37.6	33.3																																																																			
40～49歳	53.5	36.9	26.6																																																																			
50～59歳	53.8	36.1	33.3																																																																			
60～64歳	66.1	33.3	30.3																																																																			
65～69歳	59.3	30.3	30.3																																																																			
70歳以上	54.5	30.3	30.3																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	47.3%	53.0%																																																																				
H29	50.3%	46.7%																																																																				
H30	48.6%	52.4%																																																																				
R1	49.6%	51.7%																																																																				
R2	51.2%	51.9%																																																																				
R3	56.7%	57.4%																																																																				
R4	56.3%	51.3%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓女性参画はすごく大切だから ✓新聞などで活動を見ている ✓最近問題だから 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓もともとそんなに女性が活躍していないという自覚を持ったことがないから 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分のこれからのキャリアがどうなるか気になるから ✓自分のこれからのキャリアがどうなるか気になるから 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓興味無い 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓男女ともに子育てをしたり、男女ともに進学率を上げようとしている ✓子どもがいても、女性がもっと働きやすくなるように ✓女性が働きやすい環境になればいい 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓女性活躍推進と少子化問題は表裏一体だと考えるから ✓機会がない ✓特に行動していない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分が今後どういうスタイルで働いて行くのかを常に考えている ✓自身の問題として考えている ✓女性の意見も大切だと思うので 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういう勉強の場がないと難しい ✓井戸端会議の女性の方々を声高々に参画されるとおかしくなる ✓理解した所で、出来る事はないので意味がない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓まだまだ女性の社会でのかつやくを妨げているものはあるし、今後の大きな課題だと思います ✓女性リーダー育成の企画に参加した事があります ✓多様性を認めています 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に何もしていない ✓具体的に家事を負担するのは現状ではかなり難しい ✓男女共同参画は意識せずに自然にそうなるべきで、「女性活躍」というキーワード自体が差別の現れなのではないか 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓女性の活躍期待します ✓男女関係なく個人を尊重している ✓公民館活動を通じて ✓社会問題だから 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓掛け声だけだと、思う ✓接していないので分からない ✓意識したことも無い ✓女性女性と声高に言い過ぎ ✓機会がない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓まさにこのことが課題でもあり、取り組まなければならないことになっています 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓わからない 																																																																			

【施策コード／施策名】 3-1-1 低炭素社会の実現		【担当部局】 環境部																																																																					
【区分】	【指標名】																																																																						
●	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている																																																																						
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	27.4%	↗																																																												
		肯定的評価割合	37.0%	27.4%	24.3%	24.8%	22.9%	22.5%	27.4%																																																														
		否定的評価割合	54.6%	54.9%	56.4%	58.0%	62.7%	60.2%																																																															
		評価保留割合	5.9%	14.9%	15.3%	15.1%	12.0%	15.6%	26.5%																																																														
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>令和4年度結果(年代別/単位%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>26.0</td><td>43.4</td><td>22.2</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>22.3</td><td>55.9</td><td>21.1</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>17.7</td><td>62.0</td><td>23.3</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>23.2</td><td>62.1</td><td>25.4</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>25.4</td><td>63.2</td><td>23.3</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>23.3</td><td>62.0</td><td>21.1</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>21.1</td><td>66.7</td><td>22.2</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>22.2</td><td>55.3</td><td>22.2</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>27.4%</td><td>52.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>37.0%</td><td>57.1%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>27.4%</td><td>49.0%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>24.3%</td><td>43.4%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>24.8%</td><td>40.0%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>22.9%</td><td>33.6%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>22.5%</td><td>24.9%</td></tr> </tbody> </table>												年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	26.0	43.4	22.2	20～29歳	22.3	55.9	21.1	30～39歳	17.7	62.0	23.3	40～49歳	23.2	62.1	25.4	50～59歳	25.4	63.2	23.3	60～64歳	23.3	62.0	21.1	65～69歳	21.1	66.7	22.2	70歳以上	22.2	55.3	22.2	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	27.4%	52.0%	H29	37.0%	57.1%	H30	27.4%	49.0%	R1	24.3%	43.4%	R2	24.8%	40.0%	R3	22.9%	33.6%	R4	22.5%	24.9%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																				
18～19歳	26.0	43.4	22.2																																																																				
20～29歳	22.3	55.9	21.1																																																																				
30～39歳	17.7	62.0	23.3																																																																				
40～49歳	23.2	62.1	25.4																																																																				
50～59歳	25.4	63.2	23.3																																																																				
60～64歳	23.3	62.0	21.1																																																																				
65～69歳	21.1	66.7	22.2																																																																				
70歳以上	22.2	55.3	22.2																																																																				
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																					
H28	27.4%	52.0%																																																																					
H29	37.0%	57.1%																																																																					
H30	27.4%	49.0%																																																																					
R1	24.3%	43.4%																																																																					
R2	24.8%	40.0%																																																																					
R3	22.9%	33.6%																																																																					
R4	22.5%	24.9%																																																																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校で行っているから ✓もっと温室効果ガスを抑える取り組みを増やせると思うから ✓太陽光施設はちらほら見るし、自転車のレンタルサービスも増えてきたと思う ✓おでかけパスポートの普及 ✓近所に太陽光パネルをとりつけている家が増えた ✓可能な限り自転車を利用しているが、もっと節電を呼びかけても良いのではと思う ✓自分が節電など心がけているから ✓ぐるりん号はとてもいいと思います ✓太陽光設備はたくさんあるので ✓自転車通勤をしています ✓電気自動車増えましたね ✓我が家も太陽光発電をしている。近くの用は徒歩と自転車利用も心がけている ✓太陽光発電装置など見かける ✓わが家でも、太陽光発電、車でなく自転車利用 ✓出歩きを最小限にしている ✓太陽光発電はごく当たり前に見える光景 	<ul style="list-style-type: none"> 19歳以下 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳 70歳以上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓自動車利用を控えている様子はないから ✓見ないから ✓そのような取り組みは目につかないためよくわからない ✓自動車はとても多い ✓自動車を主として乗っているから ✓自動車利用がなかなか減らせない ✓朝夕の通勤時間帯を見れば一目瞭然 ✓公共交通機関の限界もあり車は必須である ✓通勤などに車がないと生活できない ✓身の回りであまり見たり聞いたりしない ✓他県と比べると車社会なのかと思います。また、ごみについてはかなり遅れを取っていてもったいないと思います ✓路線バスの削減や値上げ(行政の補助がない)など、むしろ逆行していると思います。また雪の多い地域で太陽光発電は無理があります ✓自動車が無いと生活できないところだと思う ✓節電は意識しているが伴っていない。自動車は、生活面で手放せないから、なかなか難しさがある ✓かつての職場は通勤で自動車利用が禁止されていましたが、これはレアなケースだと思います。気候変動、エネルギー問題への取り組みは地域として遅れています ✓太陽光利用は少ない、車通勤等が多い 																																																																					

【施策コード／施策名】 3-1-1 低炭素社会の実現	【担当部局】 環境部
-------------------------------	---------------

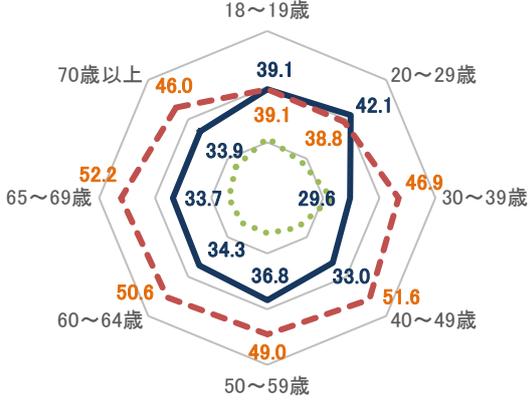
【区分】	【指標名】
●	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	—	—	—	—	—	34.4%
否定的評価割合	—	—	—	—	—	48.1%
評価保留割合	—	—	—	—	—	15.5%

現状値 (H28)	目標 (R4)	
平均値 (R4)	34.4%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ハザードマップが配られたり、テレビ放送があったりするから ✓学校で熱中症対策で体育の授業をマスク無しでやっているから ✓堤防が強化されている 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓感じないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓夫の職場では、暑い日によく経口補水液やお茶などが配られているそう ✓減災のため川幅を広げる工事がされている 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓避難訓練などコロナで実施されていない ✓そう行った対策の情報が自分に入ってきていないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓災害がいつ起きるかわからないなら備える ✓やらざるをえないため 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓グランドや公園にもっと東屋やパラソル、噴水、熱中症アラーム搭載の温度計などを設置していただきたい ✓何か行われていると感じたことがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓台風19号の災害で沢山の人が災害意識や防災を身近で感じ、備えが一層進んでいる 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に対策をとっていない為 ✓非常に消極的。苦情があってもお金がかかるからしょうがないんだろうけど ✓個人が防災、環境関連グッズ購入支援があると良い
<ul style="list-style-type: none"> ✓有線放送で伝えている ✓熱中症予防はきちんと取り組んでいる ✓昨今災害が多発しているので意識した生活をしている ✓河川の整備がされている。テレビなどで防災減災キャンペーンを行なっている 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓防災訓練がない ✓そうおもわないから ✓取り組みを聞いたことも、見た事も無い
<ul style="list-style-type: none"> ✓防災・減災対策は令和元年の台風19号災害によりさらに進んでいる。ただし、温暖化対策は遅々として進んでいない 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長沼の復興が進んでいない ✓地球温暖化対策への地域の取り組みは全く耳にしません。個人的には地震対策や熱中症対策を行っています ✓防災マップ等で確認できるが、具体的な取組がない
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓聞いたことがない

【施策コード／施策名】 3-1-1 低炭素社会の実現		【担当部局】 環境部								
【区分】	【指標名】									
○	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	43.3%	
肯定的評価割合	44.0%	40.9%	38.0%	40.4%	40.2%	41.1%				
否定的評価割合	50.6%	53.4%	55.9%	54.9%	55.6%	55.0%				
評価保留割合	3.2%	3.2%	2.9%	3.3%	2.6%	2.8%		平均値 (H29～R4)	40.8%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 歩いたり、自転車に乗るようにしている ✓ 近い距離なら歩くようにしている ✓ 自転車や徒歩で行けるところは車使わない ✓ 節電には心がけている ✓ 太陽光を利用している 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自動車を使わないと移動が不便だから 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 徒歩で行ける距離は歩くようにしている ✓ 市街地へ出る際はパークアンドライドを実践している ✓ 自動車通勤ではなくバス通勤をしているから ✓ 最近自宅を建てた際、太陽光発電を導入した。近隣への買い物は徒歩や自転車を利用するようにしている 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車を主として使っているから ✓ 自分の利便性優先 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 太陽光発電している時に料理するようにしている ✓ 自転車通勤 ✓ 界面活性剤なしの洗剤をつかったり、自然が分解できるものを使うようにしている。ゴミも最小限だけだすように心掛けている 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 太陽光は設置したいが、まだ。建て替えと共に検討中。パネルゴミについても気になる ✓ 節電については、生活する上で心がけているが、太陽光は設置費用がかかるし、自動車は長距離時には必要なものなので仕方ないと思う 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 太陽光発電設置、通勤はランニングだから ✓ 自動車の利用を控え、公共交通機関を使用している ✓ アパートの光熱費高すぎるため節電は当たり前 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自動車がないと生活が成り立たないので、温室効果ガスの発生は抑制できてない ✓ 自助努力や我慢を強いる生き方は長期的に見て反発を招くだけです。仕組みで解決すべきです 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 常に徒歩と自転車を、利用しています ✓ 太陽光発電を利用している。近くは徒歩と自転車利用も意識して使用している ✓ SDGsを意識している ✓ 太陽光発電利用、蓄電池導入検討、なるべく歩くを実践 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車がないと通勤できない、太陽光発電はよく売り込みにくるが維持が大変だと思いやめている ✓ 特になにもしていない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 太陽光発電の利用や、バスの利用を心掛けている 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 節電とか自動車を控えることはするが、節約、節金のため。温室効果ガスのためではない ✓ 節電の努力は、大切と思うが現状では取り組めていない ✓ そんなに電力を使ってはいないけど節電もしていない 							
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 古い家なので、そういうのを付けるにはお金がかかる ✓ 節電はするが車は生活には必需品 							

【施策コード／施策名】 3-1-1 低炭素社会の実現		【担当部局】 環境部								
【区分】	【指標名】									
○	災害に対する備え(防災グッズ・ハザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)		
肯定的評価割合	-	-	-	-	-	60.1%				
否定的評価割合	-	-	-	-	-	36.8%				
評価保留割合	-	-	-	-	-	1.9%	平均値 (R4)	60.1%		
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合</p>										
【モニターの主な肯定的意見】			【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】						
✓			19歳以下	✓考えたこともなかった						
✓家を買う時ハザードマップを確認した			20~29歳	✓防災グッズは揃えていない						
✓よく水分をとって自己管理している ✓防災グッズを買った。クーラーを適切に使ったり、水をしっかり飲むようにしてい ✓季節の変わり目には避難バックを確認している ✓暑い日は涼しい服を着て過ごす ✓ハザードマップの確認をしている			30~39歳	✓意識できていない ✓気をつけなきゃと思っている程度で行動にはうつせていない ✓機会がない ✓防災グッズの準備をしていないため ✓正常性バイアスで、自分は大丈夫とってしまいます						
✓台風19号で被害があったので、最低限のことはしている ✓災害時の避難場所・集合場所等を家族内で時々確認し、熱中症はこどもの試合・練習の際は気を付けている。防災グッズは購入していない ✓熱中症対策で水筒を持ち歩いている			40~49歳	✓防災グッズを持っていないので ✓特にしていない ✓ハザードマップ確認したところで意味がない ✓何もしていない ✓防災グッズは用意していますが、他にもっと備えがあると思うがよく分からない						
✓近年増えていると感じる異常気象に備え、蓄電装置や発電機の購入、消耗品の備蓄などを進めている ✓ハザードマップや防災アプリを使用している ✓防災グッズの購入、ハザードマップの確認している			50~59歳	✓防災意識は低い ✓防災グッズの購入、ハザードマップの確認などはない ✓避難所の確認と、持ち出し袋の常備くらいしかしてない						
✓熱中症対策はきちんと考えて行動している ✓防災グッズの購入、ハザードマップの確認してます ✓災害地域に住んでいる ✓災害地域に住んでいる			60~69歳	✓今後チェックしていこうと考えている ✓やらねばいけないといつも思っているができていない ✓準備していない						
✓防災グッズは一応備えてある。そのた市の防災情報は逐次入手している			70歳以上	✓ハザードマップは見るが、歩けず、自分で逃げる事が出来ないことを不安に思う ✓あまり意識していな家を買う時ハザードマップを確認した						

【施策コード／施策名】 3-1-2 循環型社会の実現		【担当部局】 環境部								
【区分】	【指標名】									
●	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	50.0%	
肯定的評価割合	58.6%	47.3%	44.4%	45.4%	44.1%	45.4%	50.0%			
否定的評価割合	37.0%	41.0%	43.7%	44.5%	45.9%	44.3%				
評価保留割合	3.2%	9.2%	8.6%	8.4%	7.9%	8.4%	平均値 (H29～R4)		47.6%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
✓自分でもゴミを減らせるようにしているから		19歳以下	✓そういう話を聞かないから ✓特に思い当たらないから							
✓分別が細かくされていると思う ✓フードロス気を付けているところを見かける		20～29歳	✓スーパーのトレイのゴミが多い。減らせると思う ✓ゴミが減っているように感じない							
✓地域の資源回収だけでなく、店舗でもリサイクルボックスが設置されているから ✓リサイクルプラザやサンマリンがあるおかげで、意識は高いと思う。もっとリユースをしやすい場所があるといいと思う		30～39歳	✓日常的に行われてはいない ✓おむつのごみがどうしてもたくさん出る ✓エコバックしか出ていないので ✓チラシなどのポスティングが多い							
✓生ゴミ等自然に還す取り組みをやっているから ✓畑で生ゴミ処理をしている ✓地域の環境班が資源ゴミのリサイクルを促しているため、自然とゴミが減っている気がする ✓ほぼ毎回エコバックを利用している。空き缶、ペットボトルの資源回収 ✓お店にリサイクル箱が置かれている		40～49歳	✓本当に遅れていると思います。もったいなくて歯がゆさを感じます ✓ゴミ捨て場を見ると、分別がきちんとされずに回収してもらえていないゴミもあるし、ゴミ削減の意識が高いとは思えないから ✓食品パックなど、プラ製品が多い ✓ゴミの発生はスーパーが考えなければならない							
✓長野市はゴミの量が少ないと聞いたことがある。資源ゴミと意識的に区別している		50～59歳	✓そうおもわないから							
✓ゴミ分別はよくできていると思う ✓日本一ですよ ✓町内のゴミステーションの分別は徹底してるし、スーパーのゴミ回収も充実している		60～69歳	✓日常的に行われていない ✓ゴミの日にたくさんゴミが出ている							
✓区を挙げて資源ごみの回収に力を入れたり、リユース・リサイクルなどの取り組みが進んでいる ✓日々、私自身取り組んでいる		70歳以上	✓ゴミの量は変わらないか、物によっては増えているのでは ✓ゴミステーションがいつも満杯状態。家庭菜園していると、多少生ゴミは減るのだが ✓自家においては生ゴミ処理をしている。もっと普及させてもよいと思う							

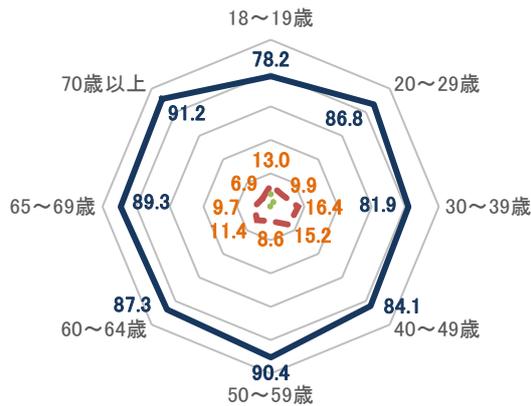
○	食べ物が無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
---	------------------------------------

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	81.0%	82.9%	81.7%	84.4%	85.2%	88.2%
否定的評価割合	16.6%	14.5%	15.1%	13.6%	12.6%	10.2%
評価保留割合	0.7%	0.7%	0.4%	0.8%	0.7%	0.8%

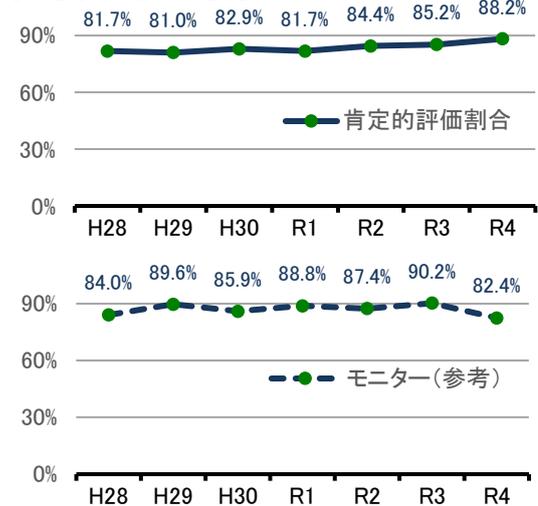
現状値 (H28)	目標 (R4)	81.7%	➡
平均値 (H29～R4)		83.9%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓ 日々気をつけているから
- ✓ 給食はすべてたべきる
- ✓ 無駄にしないことが好きだから
- ✓ その方が節約になる為
- ✓ 環境に悪くもったいないという気持ちがあるから
- ✓ 食べ切れる量しか買わない、帰省の前は冷蔵庫からにする
- ✓ 購入した食材は使い切るように心がけているため
- ✓ 紙ゴミはリサイクルに出している
- ✓ 野菜は皮まで食べるなどしています
- ✓ リサイクルなどを活用し、ゴミの量を減らすよう努力している
- ✓ 買った食料は無駄にしないよう気をつけている
- ✓ むしろ必要に迫られて
- ✓ 無駄な買い物をしないようにしたり、生ゴミを畑で処理している
- ✓ 皮ごと調理。生ごみは肥料に
- ✓ 生ごみはコンポストしてゴミを減らしている。利用経済的にも無駄がないように必要な分だけ買うか、保存方法を工夫
- ✓ 分別に注意し、可燃から資源ごみを拾い出している
- ✓ 衝動買いをせず、メニューを決め、メモ書きを見ながら買い物意識している
- ✓ 詰替を購入
- ✓ 冷蔵庫は常に整理整頓。自作の生ごみ処理機使用
- ✓ 意識はしている

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ 食べ物を残してしまう時があるから
- ✓ やらなければとは思っておる
- ✓ ゴミは生活している以上どうしても出る
- ✓ 食品ロスが多い
- ✓ 子供がご飯を残しがち。おむつもたくさん使う
- ✓ 賞味期限は切らしてしまい、捨ててしまうこともある
- ✓ ゴミは減りませんが
- ✓ ゴミを出さないということは消費活動を抑えるということです。お金を遣わない方が良いならゴミは減らせますが、経済を回す方が大切だと考えます
- ✓ 買いすぎはします。不便なので、土地的に
- ✓ あまり気にしない
- ✓ どうしてももらっても残してしまう
- ✓ 集合住宅に住んでいるので、スペースがなく、ゴミ出しをしてしまう
- ✓ していない

【施策コード／施策名】 3-1-2 循環型社会の実現		【担当部局】 環境部							
【区分】	【指標名】								
○	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる								
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	
肯定的評価割合	-	-	-	-	-	77.5%			
否定的評価割合	-	-	-	-	-	21.0%			
評価保留割合	-	-	-	-	-	0.8%	平均値 (R4)	77.5%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 									
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】						
<ul style="list-style-type: none"> ✓グッズなどでそういうものがあるから ✓水筒を持ち歩いている ✓環境保護をしたいから 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓具体的な活動はしていない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓マイボトルを使っている ✓コンビニやスーパーで袋、はし、スプーンもらわない 		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓めんどくさい ✓まだ自分で持ち歩く事ができていない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓職場にマイ箸を持っていったり、なるべく飲み物はマイボトルで済ませている ✓いらぬものはいらぬ。と言うようにしている ✓使い捨てのものはもらわない。買わないようにしている 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓別にいいと思う ✓マイボトルは持ち歩くようにしているがストロー類は衛生的に持ち歩きをしたくないのでもらってしまう ✓やっぱり便利なので、つい使ってしまいます 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓必要がないものは断るようになっている ✓ストロー、スプーンはもらわない ✓マイボトルの携帯しています ✓資源を大切にしたいから 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓本当に意味があるのか分からないから ✓プラ容器に入った飲み物を紙のストローで飲んでいると笑ってしまいます。自助努力や我慢を強いる生き方は長期的に見て反発を招くだけです。仕組みで解決すべきです ✓これから気をつけていかないと、と思いま 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓会社には水筒、コンビニではスプーンなどもらわないようにしている ✓毎日マイボトル携帯して自販機をなるべく使わないようにしている ✓なるべく頑張っています 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓プラスチック削減の本質は違うと思うから ✓経済的な理由でマイボトルを利用することは多いのですが、ストローやスプーン程度の削減に現実的な意味があるとはあまり思っていません。そもそもそんなに日常的にストローやスプーンを利用する菓子類は食べません。不要です 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓カフェで持ち帰りはマイタンブラーです ✓テイクアウトをしない ✓SDGsを意識している 		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓意識していない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓マイボトルは使用。しかしプラごみは多い！ 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓マイボトルは持ち歩かない。他はもらわないようにしている ✓あまり外に出ない 						

【施策コード／施策名】 3-1-2 循環型社会の実現		【担当部局】 環境部								
【区分】	【指標名】									
○	ごみの分別を徹底している									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	93.3%	➡
肯定的評価割合	91.5%	92.5%	92.2%	93.7%	93.7%	94.9%	93.3%	93.1%		
否定的評価割合	6.2%	5.0%	4.9%	4.5%	4.5%	4.1%				
評価保留割合	0.7%	0.5%	0.3%	0.5%	0.5%	0.4%	平均値 (H29～R4)	93.1%		
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●●● 評価保留割合 <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】			【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】						
<ul style="list-style-type: none"> ✓そういう教育を受けてきているから ✓しっかりと分別をしている 			19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓学校ではしていない ✓燃やせば同じ 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓徹底しています ✓リサイクルできるものはしたほうがよいから ✓自治体でそう決まっている為 ✓しっかりと分別を細かくしている 			20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓都会と比べ厳しすぎてめんどくさい 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ごみの分別は常識と思っているので ✓市町村によって分別や、ごみの種類が違うので必ず分別の手引きで確認する習慣ができています ✓ゴミ分別表をよくみて選別している 			30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓たまにわからないのどうすればよいかわからない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市の分別表をみてわけてます ✓子どもにも徹底してます ✓ゴミをチェックしている人がいるので分別していないものはゴミ置き場前に張り紙付きで晒されている為 ✓ルールは守ります。ただ9分別は明らかにやり過ぎです。地域住民に監視させる仕組みもよくありません 			40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓分別が苦手 ✓忙しいとサボる ✓可燃ゴミ、プラスチックゴミを一台の収集車に合わせて突っ込んでいるところを見るとそういう気にならない ✓細かい紙ゴミも分別するようにしたい 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓プラゴミ、不燃、粗大プラスチック、生ゴミ分別している ✓ごみを集めてくださっている人の苦勞を考えるときちんと分別は当たり前だと思います 			50～59歳							
<ul style="list-style-type: none"> ✓間違いなく徹底して、毎回ゴミを出している ✓牛乳パックは必ずゆすいで乾かし、資源ゴミに出している ✓ごみふくろをへらすため 			60～69歳							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミの分別には区の役員として苦勞が多かっただけに、徹底した分別に協力しているつもりである ✓市民の役目です 			70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミは別居の子供が来た時に捨ててもらおう 						

【施策コード／施策名】 3-2-1 豊かな自然環境の保全	【担当部局】 環境部
---------------------------------	---------------

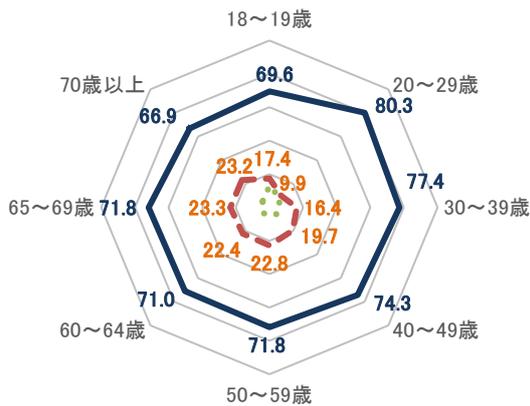
【区分】	【指標名】
●	豊かな自然環境が保たれている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	71.6%	69.1%	69.1%	72.5%	70.4%	71.6%
否定的評価割合	24.4%	23.3%	23.3%	20.9%	23.0%	21.0%
評価保留割合	2.3%	4.8%	4.1%	4.8%	4.5%	5.4%

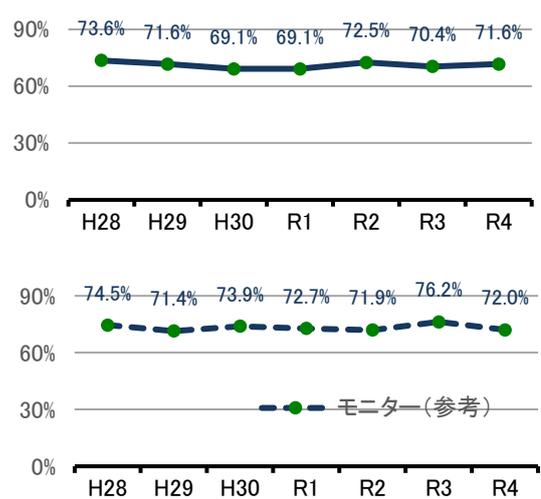
現状値 (H28)	目標 (R4)	73.6%	➡
平均値 (H29～R4)		70.7%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓水が綺麗だから
- ✓春夏秋冬自然を楽しめる
- ✓街路樹やお花がよく植えられていて心癒されます
- ✓山の緑が多く気持が良い。外来植物も多く、その管理はどうするのか
- ✓道路や歩道など、整備している様子をよく見るからです
- ✓緑に溢れていて素敵な環境だと思う
- ✓市街地でも景観がとても良い
- ✓山並みが美しく素晴らしいと感じる為
- ✓子供も自然の中で遊べる場所が多いから
- ✓近くに山や自然が多くあり、飯綱も整備されてとてもいい取り組みだと思います
- ✓山に囲まれた良い環境である
- ✓大規模な工事などが無い
- ✓周辺の山や河川、公園を見ていると、保たれているように思う
- ✓長野市の自然は長期にわたって保護されていて誇るべきです
- ✓四方を山に囲まれているから忘れがちだけど、街中の緑化も相当進んだと思う
- ✓長野市郊外にできれば自然環境は良好

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓木が多く伐採されているところがあるから
- ✓自然豊かではあるが、農地が宅地が変わったり、水害による護岸工事がすずみ、少し減った気がする
- ✓災害防止とは思うけれど、河川がきれいになりすぎて、生き物をあまり見なくなった
- ✓緑が減った
- ✓家の前の川はゴミだらけ
- ✓山の手入れができていない
- ✓最寄りの河川敷の樹木の伐採について長野県に意見と質問をしたことがありますが、防災や住民からの苦情的な理由で、必ずしも必要とは言いきれない樹木の伐採が現実としてはなされているという認識を持っています
- ✓公園の大きな木も、割とためらいなく伐採の話が進んでいたりしますが？
- ✓豊かな自然環境ではあるけれど、それを保つための取り組みがもう少しあっていいと思う。古い公園の環境整備など
- ✓太陽光発電のパネルが景観を壊している
- ✓山間部の鳥獣被害にもっと取り組んでほしいです
- ✓河はゴミが多い、山はあまり手入れされていない
- ✓緑が減っているように感じる
- ✓人工的につくられたものが自然の中にあたりする光景を目の当たりにすることもある

【施策コード／施策名】 3-2-1 豊かな自然環境の保全	【担当部局】 環境部
---------------------------------	---------------

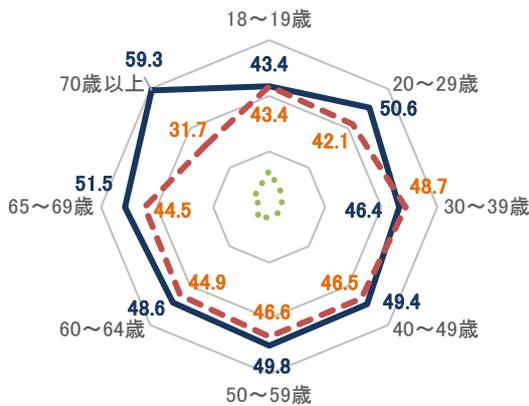
【区分】	【指標名】
○	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	46.9%	49.5%	49.6%	53.3%	51.7%	52.5%
否定的評価割合	45.2%	43.8%	42.4%	39.8%	42.2%	41.4%
評価保留割合	5.7%	4.2%	4.7%	5.5%	4.5%	5.1%

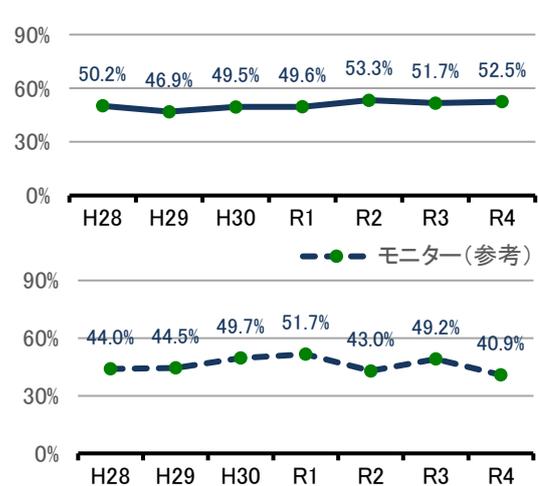
現状値 (H28)	目標 (R4)	50.2%	
平均値 (H29～R4)		50.6%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然を大切にしている ✓ころがおちつくから ✓少し勉強 ✓学校でそういう機会があるから ✓娘と外で沢山あそんでいるから 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓子どもたちには自然を感じてもらいたいから ✓家庭菜園などしている。山にも出かける 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓興味無い ✓自然について積極的に学んだりはしていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓クワガタを飼育している ✓子供と公園に行きお互い学んでいる ✓庭に花を植えているし、子供と自然に触れる場所へいくから ✓休みの日は公園や高原など自然に触れ合える場所を意識して出かけている ✓山が好きなので、近くの山に登ったり、子供と外でお昼をたべたりする 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に意識していない ✓あまり関わりがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓田畑を手伝っている ✓近所の野鳥観察会に参加しました。「自然観察会」的なものにしばしば参加しています。河川敷の木の伐採についての意見募集看板について本当に必要なのか県に意見と質問を行い、県の職員の方と直接お会いしてお話する機会を持ちました 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自然について学び触れ合う機会がない ✓自然について学んでおらず、自然環境保全を意識した生活が具体的にどういものかわからない ✓自宅に花と少しの野菜を植えているぐらいです
<ul style="list-style-type: none"> ✓庭に木や花を植えている ✓SDGsを意識している ✓環境保護のセミナーを信州大学で受講しました 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自然に触れ合う機会はない ✓平日は時間がなく、休みは家の片付けしていることが多い ✓興味はあるが実践に至っていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓当然 ✓家庭菜園やバラなどを慈しんでいる 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に意識はしていない ✓思い当たることがないので
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓自然に触れる機会がない

【施策コード／施策名】 3-2-2 良好な生活環境の保全		【担当部局】 環境部								
【区分】	【指標名】									
●	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	74.1%	➡
肯定的評価割合	71.6%	71.0%	71.0%	74.1%	71.8%	73.3%				
否定的評価割合	24.4%	23.3%	22.3%	20.3%	22.8%	21.6%				
評価保留割合	1.7%	3.2%	3.3%	3.6%	3.4%	3.2%	平均値 (H29～R4)		72.1%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
✓水が美味しい。空気が綺麗だから		19歳以下								
✓裾花川かが綺麗で素敵です		20～29歳	✓路上に落ちているゴミをよく見かける							
✓水も空気も美味しい！ 町にゴミもあまり落ちていない		30～39歳	✓ゴミがよく落ちている							
✓区の掃除なども定期的にありますし、きれいに保つ活動はしていると思います			✓昔より水道水が生臭くなった							
✓自然に囲まれて、観光地なのに街もきれいだと思う			✓川にごみが浮いていたりします							
✓水資源が豊富で、水質がよいと思う		40～49歳	✓駅前歩きタバコや車の窓開けながらのタバコが多い							
✓長野市の水道水は大変美味しく、街もゴミで汚れている印象はないから			✓まちはキレイではありません。一人ひとりが思いやりの気持ちをもっと持てれば環境は変わるかもしれませんが							
✓月に一回の地区掃除以外でも、住んでいる地域ではきれいで気持ち良い住環境である			✓ポイ捨て、屋外での喫煙について条例で規制すべき							
✓昔に比べたら街中が随分きれいになった		50～59歳	✓ポイ捨てゴミがよくある。川もあまりきれいとは言えない							
✓まちはごみが散らばっていることもなくきれいだと思う			✓そうおもわないから							
✓花壇の整備も行き届いていると思う			✓草だらけの植え込みが多くて							
✓東京から長野に戻ってくると実感します		60～69歳	✓市道の雑草が夏場はひどい							
✓長野から「きれいな空気」「きれいな水」を外したら良さがなくなる			✓空き地の雑草が、多い							
✓毎日くらしていると当たり前のように、空気と水に感謝			✓どの自治体の管理なのか、個人での管理なのか、植え込みが枯れたり、伸び放題になっているのを見ると残念に思う。逆に、素晴らしい植え込みで楽しませてくれている会社もあり、これからは素晴らしい建物だけではなく外構整備も大切だと思う							
✓町内会ではごみは無い。地域で定期的に清掃もやっている		70歳以上	✓街路樹や植え込みが結構場所によっては結構枯れたり荒れている							
✓汚い地域があるという訳でもなく、水はいつも美味しい			✓河川は下水道の普及により水質はかなり良くなったと感じるが、依然としてごみの不法投棄などが見られ残念に感じる							

【施策コード／施策名】 3-2-2 良好な生活環境の保全		【担当部局】 環境部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
○	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	48.8%																																																													
肯定的評価割合	50.6%	45.2%	46.7%	46.7%	47.5%	46.7%																																																																
否定的評価割合	42.2%	49.5%	46.9%	47.1%	47.5%	48.7%																																																																
評価保留割合	4.9%	3.1%	3.1%	4.5%	3.4%	3.6%	平均値 (H29～R4)		47.2%																																																													
<p>【令和3年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和3年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>30.4</td><td>58.5</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>30.9</td><td>63.1</td><td>6.0</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>33.1</td><td>64.2</td><td>2.7</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>43.5</td><td>53.5</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>46.6</td><td>50.4</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>49.4</td><td>47.0</td><td>3.6</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>53.7</td><td>43.7</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>52.4</td><td>40.3</td><td>7.3</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>48.8%</td><td>55.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>50.6%</td><td>52.7%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>45.2%</td><td>54.3%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>46.7%</td><td>55.2%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>46.7%</td><td>58.5%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>47.5%</td><td>54.1%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>46.7%</td><td>44.0%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	30.4	58.5	11.1	20～29歳	30.9	63.1	6.0	30～39歳	33.1	64.2	2.7	40～49歳	43.5	53.5	3.0	50～59歳	46.6	50.4	3.0	60～64歳	49.4	47.0	3.6	65～69歳	53.7	43.7	2.6	70歳以上	52.4	40.3	7.3	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	48.8%	55.0%	H29	50.6%	52.7%	H30	45.2%	54.3%	R1	46.7%	55.2%	R2	46.7%	58.5%	R3	47.5%	54.1%	R4	46.7%	44.0%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	30.4	58.5	11.1																																																																			
20～29歳	30.9	63.1	6.0																																																																			
30～39歳	33.1	64.2	2.7																																																																			
40～49歳	43.5	53.5	3.0																																																																			
50～59歳	46.6	50.4	3.0																																																																			
60～64歳	49.4	47.0	3.6																																																																			
65～69歳	53.7	43.7	2.6																																																																			
70歳以上	52.4	40.3	7.3																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	48.8%	55.0%																																																																				
H29	50.6%	52.7%																																																																				
H30	45.2%	54.3%																																																																				
R1	46.7%	55.2%																																																																				
R2	46.7%	58.5%																																																																				
R3	47.5%	54.1%																																																																				
R4	46.7%	44.0%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
✓活動に参加している		19歳以下	✓じかんがない ✓地域でそういう活動をしているかどうか分からないから																																																																			
✓雑草めきには参加したことがあります ✓散歩はゴミ拾いをしながら		20～29歳	✓興味無い ✓特に取り組みをしていない ✓そのような取り組みに馴染みがないから																																																																			
✓家族で参加してます ✓外にでたらゴミひろいします ✓河川掃除など ✓月の掃除には出席している		30～39歳	✓そこまで心の余裕がなく… ✓小さい子どもがいるので、一緒に参加できない ✓参加する機会が無い ✓とくに連絡がないので参加していない																																																																			
✓自治会で活動している ✓地域の環境美化活動には必ず参加しています。ご近所さんと協力して、夫がビーパーで草刈り等しています		40～49歳	✓参加していない ✓そのような時間の余裕はない ✓環境美化活動によって良好な生活環境が保てるとは思えない																																																																			
✓地域の清掃、草取り ✓地域のゴミゼロ運動の朝のゴミ拾いは毎回参加している ✓環境美化推進委員です ✓清掃活動は夫婦で参加している		50～59歳	✓要請が無い ✓地域での活動には参加していないから ✓地域の主催する活動には興味はないが、近隣の草刈り・ゴミ拾いなどは個人的に実施している ✓特にやっていることはない																																																																			
✓緑を植えて、景観と空気のために考えている。ツバメの巣もあるが、今年は来なかった ✓地域の定期的な清掃活動には参加している ✓年1回だが用水路の清掃に参加している ✓日頃からの清掃が大切だと思います		60～69歳	✓特にしてない ✓時間のゆとりがない ✓地域での活動自体がない																																																																			
✓自主的に道路の草取りをしている ✓地域の美化、衛生環境の保持については取り組んでいるつもり ✓地域の定期清掃には参加		70歳以上	✓歩けないので参加出来ない																																																																			

【施策コード／施策名】 4-1-1 防災・減災対策の推進		【担当部局】 総務部																																								
【区分】	【指標名】																																									
●	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている																																									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	<table border="1"> <tr> <td>現状値 (H28)</td> <td>目標 (R4)</td> <td>35.5%</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均値 (H29～R4)</td> <td colspan="2">34.1%</td> </tr> </table>	現状値 (H28)	目標 (R4)	35.5%	↗	平均値 (H29～R4)		34.1%																												
現状値 (H28)	目標 (R4)	35.5%	↗																																							
平均値 (H29～R4)		34.1%																																								
	<table border="1"> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>35.7%</td> <td>34.0%</td> <td>32.9%</td> <td>32.3%</td> <td>34.2%</td> <td>35.6%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>47.7%</td> <td>42.5%</td> <td>36.4%</td> <td>46.7%</td> <td>43.8%</td> <td>41.2%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>14.7%</td> <td>20.5%</td> <td>27.1%</td> <td>18.8%</td> <td>19.7%</td> <td>21.2%</td> </tr> </table>						肯定的評価割合	35.7%	34.0%	32.9%	32.3%	34.2%	35.6%	否定的評価割合	47.7%	42.5%	36.4%	46.7%	43.8%	41.2%	評価保留割合	14.7%	20.5%	27.1%	18.8%	19.7%	21.2%															
肯定的評価割合	35.7%	34.0%	32.9%	32.3%	34.2%	35.6%																																				
否定的評価割合	47.7%	42.5%	36.4%	46.7%	43.8%	41.2%																																				
評価保留割合	14.7%	20.5%	27.1%	18.8%	19.7%	21.2%																																				
	<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>令和4年度結果(年代別/単位%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>43.5</td><td>30.4</td><td>26.1</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>40.1</td><td>37.5</td><td>22.4</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>35.4</td><td>31.8</td><td>32.8</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>44.1</td><td>33.2</td><td>22.7</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>40.6</td><td>35.2</td><td>24.2</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>49.4</td><td>33.1</td><td>17.5</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>43.3</td><td>35.9</td><td>20.8</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>39.7</td><td>37.5</td><td>22.8</td></tr> </tbody> </table>						年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	43.5	30.4	26.1	20～29歳	40.1	37.5	22.4	30～39歳	35.4	31.8	32.8	40～49歳	44.1	33.2	22.7	50～59歳	40.6	35.2	24.2	60～64歳	49.4	33.1	17.5	65～69歳	43.3	35.9	20.8	70歳以上	39.7	37.5	22.8
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																							
18～19歳	43.5	30.4	26.1																																							
20～29歳	40.1	37.5	22.4																																							
30～39歳	35.4	31.8	32.8																																							
40～49歳	44.1	33.2	22.7																																							
50～59歳	40.6	35.2	24.2																																							
60～64歳	49.4	33.1	17.5																																							
65～69歳	43.3	35.9	20.8																																							
70歳以上	39.7	37.5	22.8																																							
	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>35.5%</td><td>30.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>35.7%</td><td>41.2%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>34.0%</td><td>38.9%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>32.9%</td><td>41.3%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>32.3%</td><td>23.7%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>34.2%</td><td>27.0%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>35.6%</td><td>34.7%</td></tr> </tbody> </table>						年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	35.5%	30.0%	H29	35.7%	41.2%	H30	34.0%	38.9%	R1	32.9%	41.3%	R2	32.3%	23.7%	R3	34.2%	27.0%	R4	35.6%	34.7%												
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																								
H28	35.5%	30.0%																																								
H29	35.7%	41.2%																																								
H30	34.0%	38.9%																																								
R1	32.9%	41.3%																																								
R2	32.3%	23.7%																																								
R3	34.2%	27.0%																																								
R4	35.6%	34.7%																																								
	【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】																																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自然災害などから色々なことを学んでいるから 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 聞かないから ✓ 台風のとき被害を最小限に抑えられたとは思わないから 																																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 台風被害などの経験を経て、対策されているのではないと思う 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 以前の台風の際被害が大きく感じた ✓ 災害が起こってから対策しているように思う 																																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の連携がすごい ✓ 千曲川に堤防を作った ✓ 長野市防災ナビアプリがあるから ✓ 台風19号のときの対応は良かった ✓ 減災のための工事が行われているので ✓ 公園整備とともに、防災施設を整備しているから ✓ TVなど倒れたら危ないものには固定具をつけている 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 篠ノ井橋あたりの千曲川を見ると土砂などがたまって底上げされていて、また氾濫するのではと心配している ✓ 19号災害ボラをして不十分であった ✓ 家でも一応準備はしているが、どんな被害が起こるか分からないので、この準備で足りるのか分からない ✓ 令和元年台風19号のとき浸水したため。市は何もしてくれなかった 																																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 千曲川の整備が進んでいる ✓ 限られた予算で尽力されていると思う ✓ 台風19号以来 ハザードマップなど、配られるようになり、全体的に意識が高まった 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 土砂崩れ等があるから、十分ではない ✓ 電波が悪いのでいざという時に放送が聞こえない ✓ 地区の避難訓練参加者が少ない ✓ 市民の意見にまったく耳を貸さない 																																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 防災施設が多い ✓ 努力はしている ✓ 地域防災マップの作成や防災訓練の実施 		50～64歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 避難場所を充実させてほしい ✓ 避難場所が水没地域になっている 																																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 災害が多発しているので我が家できる準備をした ✓ 長沼の災害から少しは整ってきたと思うし、ハザードマップを見る習慣がついた 		65～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者の避難場所が、近くにない ✓ 地域的に、あまり話題にはならない、意識が欠けている 																																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 個別避難計画などモデルケースとしての取り組みをもっと進める必要がある。ハードよりもソフト面がこれからは大事 ✓ 台風19号以降はそう思う 		70歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の体制が実態に即していない ✓ 地域での取組がとても低い。防災指導員制度ではなく、各町に防災指導団(消防団のように)を作るべきだろう 																																						

【施策コード／施策名】 4-1-1 防災・減災対策の推進		【担当部局】 総務部								
【区分】	【指標名】									
○	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	41.1%	
肯定的評価割合	37.2%	36.5%	42.3%	51.2%	49.6%	52.1%				
否定的評価割合	58.5%	58.2%	54.0%	46.4%	48.1%	45.9%				
評価保留割合	2.1%	2.6%	0.8%	1.2%	1.0%	1.2%				
							平均値 (H29～R4)	44.9%		
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 — モニター(参考) 										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
✓もし備蓄していなかったら困るから		19歳以下	✓飲まずに期限が切れてしまうのが勿体無い ✓水は備えている							
✓少量ですがしています ✓非常用にリュックに詰めている ✓防災バッグ用意している		20～29歳	✓備蓄していない ✓今を生きるのに食べる食料を確保するのが金銭的にギリギリです							
✓防災グッズをしっかり用意している。避難場所も確認している ✓定期的を確認している。ローリングストックをしている ✓水や簡易トイレなど準備している ✓1週間程度の備蓄を用意している		30～39歳	✓機会がない ✓備蓄はしていない ✓水しかできてない ✓家計に余裕がない							
✓ローテーションしてます ✓2週間分を目安に備蓄している ✓米と水は置いている ✓水1ケースなど、保管中		40～49歳	✓災害の備蓄としては、特になく、カップラーメンを少しおいてあるぐらいです ✓用意しても流されておしまいだから ✓非常食は全く用意していないから ✓必要だから備えたい							
✓災害時には、問題ない商品もスーパーで不安による買占めで品薄になることがわかったので、備蓄することにした		50～59歳	✓備蓄していない ✓得に無い ✓何もしていない							
✓リュックサックに緊急備品を常備してます ✓お菓子、缶詰、飲料水を確保している ✓災害地域だから ✓多くはないが準備している		60～69歳	✓意識しているが、備えていない ✓面倒でやっていない ✓特に何もしていない ✓以前やっていたが古くなった。今後考えたい ✓備えなくては…とは思っているが、とりあえずあるものと思ってしまう							
✓保存食、飲料水は備蓄 ✓当然 ✓意識はしている		70歳以上	✓申し訳ないですが、ほとんど備蓄できておりません ✓していない ✓若干の備えはしている							

【施策コード／施策名】 4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防		【担当部局】 消防局																																																																												
【区分】	【指標名】																																																																													
●	消防や救急体制が十分に整っている																																																																													
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	62.7%																																																																					
肯定的評価割合	61.8%	61.3%	61.5%	61.7%	60.4%	63.1%		62.7%																																																																						
否定的評価割合	24.9%	23.6%	19.4%	19.9%	22.7%	20.6%																																																																								
評価保留割合	11.6%	12.7%	15.7%	16.4%	14.8%	14.6%	平均値 (H29～R4)	61.6%																																																																						
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>令和4年度結果(年代別/単位%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>60.9</td><td>17.1</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>64.5</td><td>17.7</td><td>17.7</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>58.8</td><td>25.7</td><td>19.5</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>55.1</td><td>24.1</td><td>20.7</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>65.0</td><td>19.7</td><td>15.3</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>62.0</td><td>20.7</td><td>17.7</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>65.9</td><td>20.7</td><td>13.4</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>66.2</td><td>19.7</td><td>14.1</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>62.7%</td><td>61.8%</td><td>61.3%</td><td>61.5%</td><td>61.7%</td><td>60.4%</td><td>63.1%</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>63.0%</td><td>61.5%</td><td>69.8%</td><td>65.0%</td><td>67.4%</td><td>69.7%</td><td>61.1%</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>30.0%</td><td>30.0%</td><td>30.0%</td><td>30.0%</td><td>30.0%</td><td>30.0%</td><td>30.0%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	60.9	17.1	4.3	20～29歳	64.5	17.7	17.7	30～39歳	58.8	25.7	19.5	40～49歳	55.1	24.1	20.7	50～59歳	65.0	19.7	15.3	60～64歳	62.0	20.7	17.7	65～69歳	65.9	20.7	13.4	70歳以上	66.2	19.7	14.1	年代	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	18～19歳	62.7%	61.8%	61.3%	61.5%	61.7%	60.4%	63.1%	20～29歳	63.0%	61.5%	69.8%	65.0%	67.4%	69.7%	61.1%	30～39歳	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																											
18～19歳	60.9	17.1	4.3																																																																											
20～29歳	64.5	17.7	17.7																																																																											
30～39歳	58.8	25.7	19.5																																																																											
40～49歳	55.1	24.1	20.7																																																																											
50～59歳	65.0	19.7	15.3																																																																											
60～64歳	62.0	20.7	17.7																																																																											
65～69歳	65.9	20.7	13.4																																																																											
70歳以上	66.2	19.7	14.1																																																																											
年代	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																							
18～19歳	62.7%	61.8%	61.3%	61.5%	61.7%	60.4%	63.1%																																																																							
20～29歳	63.0%	61.5%	69.8%	65.0%	67.4%	69.7%	61.1%																																																																							
30～39歳	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%																																																																							
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																											
<ul style="list-style-type: none"> ✓到着までの時間が速いから ✓避難訓練で指導していただくなど有難いです ✓よく救急車を見るから ✓道幅が広く、水源も豊富なので、すぐにどこでも駆けつけてくれるので安心 ✓すぐきてくれる。山奥の田舎はどうだろ ✓妊娠中に救急車を呼ぶ機会があったが、すぐきてくれた ✓消防車が結構見回りにくる ✓消防署が機能している ✓活動する様子を目にします。おかげ様で安心して暮らせています ✓救急車を利用した際そう思った ✓市内の緊急時医療体制は問題無いと思う ✓全消防署に、救急車配置されているため ✓消防施設が増えている ✓消防、救急、救助体制の充実 ✓緊急時にはそれほど時間がかからずに到着する。公民館などにはAEDなど設置されている。知り合いに消防士が何人かいる ✓母が世話になった ✓消防署が近くにある ✓十分配置されていると思う ✓周囲には消防署等があり整っていると思います ✓何度か助けて頂いている。有り難い ✓松代消防署がある ✓日頃救急車を見る機会があり、消防署の近くを通った時、署員の皆さんのまじめな訓練を見てそのように思える 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓過疎地へは時間がかかる ✓長野日赤の救急外来は機能していないと思います。大学生のような医師でろくな診断をしていないと思います ✓消防署が少ない気がする ✓地区の消防団がいるということは、消防士が足りないのでは？と思う ✓消防車・救急車の台数が適正がわからないため。日赤の場所に疑問。橋が渋滞しているときに救急車がきても、避けたくても避けられない。手遅れにならないか心配になります ✓連絡しても対応が遅すぎる。他人事ではなく真剣に対応してほしい ✓道が狭くて、消防車は自宅前には来られない ✓消防、病院は近くにあるが、体制が十分なのかは不明 ✓消防団員のなり手が少ない ✓水害を除き災害の歴史体験が少ない ✓高齢者が多い ✓消防や救急体制はあるが十分なのかは疑問だ✓ ✓救急医療を充実してほしい 																																																																											
		20～29歳																																																																												
		30～39歳																																																																												
		40～49歳																																																																												
		50～59歳																																																																												
		60～69歳																																																																												
		70歳以上																																																																												

【施策コード／施策名】 4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防		【担当部局】 消防局								
【区分】	【指標名】									
○	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	37.6%	
肯定的評価割合	34.5%	33.6%	34.8%	34.0%	33.3%	31.7%				
否定的評価割合	59.6%	60.9%	60.9%	62.7%	63.1%	65.5%				
評価保留割合	3.5%	2.7%	1.4%	1.9%	2.1%	1.8%				
							平均値 (H29～R4)	33.6%		
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓参加したことがない ✓保健の授業でやったから ✓あてはまらないから 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓講習を受けた ✓1年前の職場で勉強していました 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓必要性を感じない為 ✓興味無い 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓AEDつかえる ✓ガイドラインを確認し、必要ならば、実技を学んでいる ✓ICLSを2回受講 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓あまりその機会がない ✓どこでなにが開催されているのかわからない。消防署の講習会はすこしハードルが高すぎて気軽には参加しにくい ✓講習会に参加する時間がない ✓社会人だった頃は講習を受けていたが、専業主婦になってそのような機会がなくなったため 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓機会があれば参加するようにしている ✓オンラインで一通り学びました 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓講習会があるのは知っていますが、必要に迫らせていないため、参加したことがありません ✓受講の機会がない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓職場の研修に参加 ✓地区の部長なので年に1度は参加しています ✓以前、応急手当の講習会に参加しました 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓参加の機会がない ✓興味ある。平日開催で少人数過ぎて参加しにくい ✓講習会には出たことはない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓職場で ✓AED使用を勉強した ✓一応、資格や知識はある ✓以前職場で毎年講習会に参加し知識を付けた。実際に骨折した人に遭遇し役立ったこともある 		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓勉強不足である ✓講習会があっても参加しなかった ✓地域とは交わりがない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓講師をしている ✓手当ぐらいはできる 		70歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓講習会が無い ✓区の自主防災訓練時ぐらいしか講習を受けたことがありません ✓講習会の機会が無い。歩けない ✓していない 						

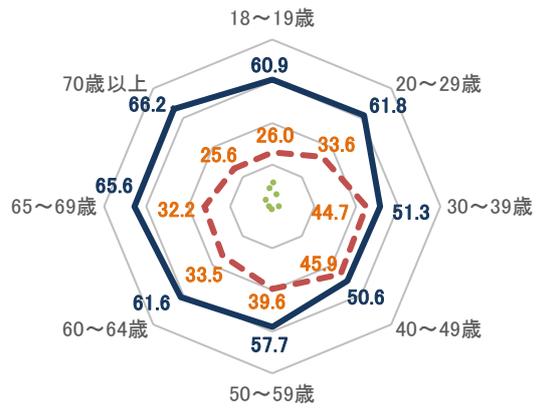
【区分】	【指標名】
●	交通マナーが良い地域である

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	46.2%	45.5%	43.7%	54.9%	56.4%	60.2%
否定的評価割合	48.9%	49.4%	48.7%	38.2%	37.9%	34.8%
評価保留割合	3.2%	3.0%	4.2%	5.0%	3.6%	3.2%

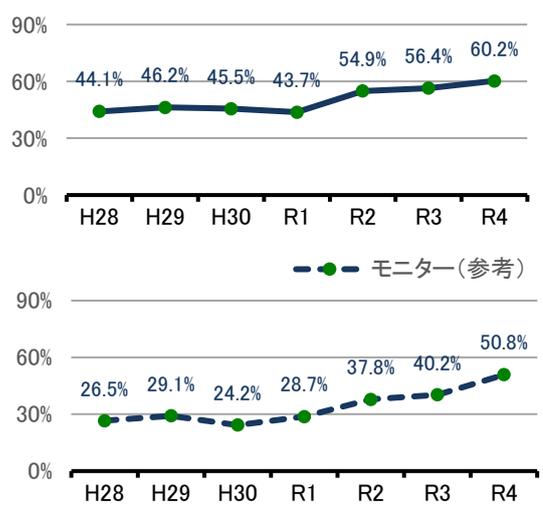
現状値 (H28)	目標 (R4)	44.1%	↗
平均値 (H29～R4)		51.1%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合

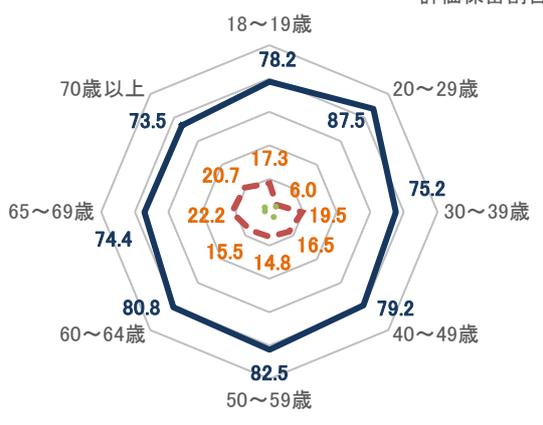
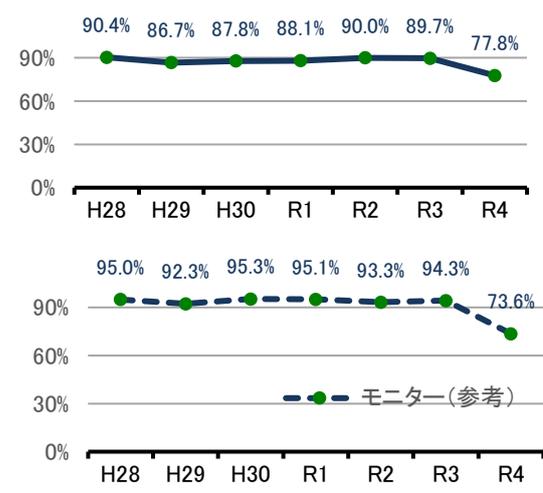


【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
----------------	--------	----------------

<ul style="list-style-type: none"> ✓みちを譲ってくれる人がいるから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓見通しの良いまっすぐな道でスピードを出す車や、横断歩道で止まってくれないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓道を譲ってくれる人がおおい、荒い運転の人を見かけない ✓横断歩道で車が止まってくれる為 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓バイクが大きな音を出して走るのがうるさく感じるので交通マナーが良いと思えない ✓危険運転の自転車が多い
<ul style="list-style-type: none"> ✓横断歩道で待っていると、よく止まってくれる ✓他県に比べ無理な運転や煽りををする人が少ない。気持ちよく運転できる ✓交通マナーは良いと思う。怖い思いをしたことはない ✓長野は横断歩道できちんと止まるとSNSでも絶賛されていた 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野ならではの悪しきローカルルールがあり、取締も徹底していない ✓ウインカーを出さないまたは出すのが遅い車がおおいため ✓田舎道ではスピードを出す車が多く煽られることが多い ✓信号が変わってからの対向車の急な右折、信号待ち時にウインカーを出さないなど
<ul style="list-style-type: none"> ✓横断歩道で、ほとんどの車が止まってくれる。私も止まるように心がけています ✓車のマナーがよい 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓路上駐車や急に追い越す車が多い。高齢者が道を横切る ✓救急車が来ても、長野はすぐに避けない ✓交差点付近でも減速しない、事故多発の懸念がある
<ul style="list-style-type: none"> ✓全国的にも自慢できるのでは？ ✓他県の方が誉めてくれてますね ✓横断歩道で、止まってくれる車が多い 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓横断歩道のない国道を平気で横断する、車の運転マナーがわるい ✓ヒヤッとする運転をよく見かける
<ul style="list-style-type: none"> ✓日本一だから ✓横断歩道での自動車待ち全国ナンバーワン 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓赤信号にかわっても侵入してくる車は多い ✓夜の国道では、バイクの暴走族の走る騒音が、わりと聞こえる ✓横断歩道で止まらない車が多い
<ul style="list-style-type: none"> ✓横断歩道では多くの車が止まってくれる ✓そんなに問題を感じない 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓結構ルールを守らない運転者がいる。スピード・赤信号・停止位置

【施策コード／施策名】 4-2-1 交通安全対策の推進		【担当部局】 地域・市民生活部								
【区分】	【指標名】						現状値 (H28)	目標 (R4)	90.4%	➡
○	自転車の交通ルールやマナーを意識している						90.4%	90.4%		
		H29	H30	R1	R2	R3	R4			
肯定的評価割合		86.7%	87.8%	88.1%	90.0%	89.7%	77.8%			
否定的評価割合		10.1%	8.7%	8.4%	7.6%	8.0%	17.7%			
評価保留割合		1.2%	1.3%	0.8%	1.1%	1.1%	3.7%			
							平均値 (H29～R4)	86.7%		
【令和4年度結果(年代別/単位%)】		— 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合								
		【肯定的回答割合の推移】								
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校で言われてるから ✓ ルールやマナーを守っている ✓ ルールやマナーを守るのは当たり前だから ✓ 事故を起こさないように気をつけているから ✓ マナーに気をつけている ✓ 自転車よく乗るから、事故したくないから ✓ その方が安全だから 		19 歳以下								
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事故を防ぐ為 ✓ 左側通行、ながら運転はしていない ✓ こども二人が自転車通学であるため、交通ルールや交通安全については気にしている ✓ 自転車でも重大事故につながる加害者になってしまうこともあるので、そこは意識して乗っています ✓ 自転車での事故が怖いのでしている ✓ 自転車と自動車の両方の立場でどうすれば安全か意識して走行している ✓ 家族でルールやマナーを意識している 		20～29 歳		✓ 急いでいるので						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもがいるので安全運転している ✓ 車を運転していると危ない動きをする自転車が多いので、自分はそうしないように気を付けている ✓ 車を運転するし、自転車にも乗るので、どちらの立場も意識している 		30～39 歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車に乗らない ✓ 自転車はもっていない ✓ マナーの意識が足りていないと思う 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事故に遭わないために ✓ 横断歩道は、自転車を引いている ✓ 私の乗り物は自転車。これ以外の移動手段を持たないため、交通ルール、マナーを意識しての運転に心掛けている 		40～49 歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車には乗らない ✓ マナーを意識しているが、無意識のマナーの悪い高齢者が多すぎる 						
		50～59 歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ いまのところ自転車で車道ではなく歩道を通るしかない ✓ 自転車には乗らない ✓ 乗らないのでわからないけど、マナーは気になってしまいます 						
		60～69 歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車のルールわかってないかも ✓ 自転車は乗らない 						
		70 歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車に乗らないので 						

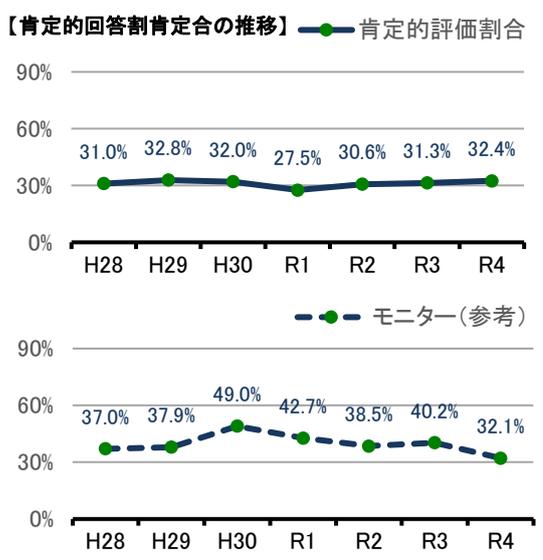
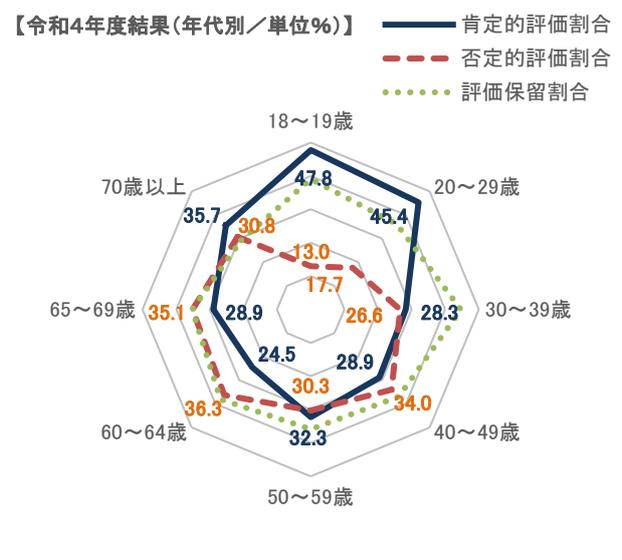
【施策コード／施策名】 4-2-2 防犯対策の推進		【担当部局】 地域・市民生活部																																												
【区分】	【指標名】																																													
●	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である																																													
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)																																						
肯定的評価割合	—	—	—	—	—	70.6%																																								
否定的評価割合	—	—	—	—	—	20.6%																																								
評価保留割合	—	—	—	—	—	6.9%	平均値 (R4)			70.6%																																				
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 <table border="1"> <caption>令和4年度結果(年代別/単位%)</caption> <thead> <tr> <th>年代別</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18~19歳</td> <td>77.0</td> <td>13.8</td> <td>17.3</td> </tr> <tr> <td>20~29歳</td> <td>68.1</td> <td>23.9</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>30~39歳</td> <td>66.2</td> <td>25.9</td> <td>21.1</td> </tr> <tr> <td>40~49歳</td> <td>71.8</td> <td>19.2</td> <td>19.2</td> </tr> <tr> <td>50~59歳</td> <td>72.2</td> <td>19.2</td> <td>19.2</td> </tr> <tr> <td>60~64歳</td> <td>75.6</td> <td>20.0</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>65~69歳</td> <td>69.3</td> <td>19.1</td> <td>19.1</td> </tr> <tr> <td>70歳以上</td> <td>60.9</td> <td>17.3</td> <td>17.3</td> </tr> </tbody> </table>											年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18~19歳	77.0	13.8	17.3	20~29歳	68.1	23.9	20.0	30~39歳	66.2	25.9	21.1	40~49歳	71.8	19.2	19.2	50~59歳	72.2	19.2	19.2	60~64歳	75.6	20.0	20.0	65~69歳	69.3	19.1	19.1	70歳以上	60.9	17.3	17.3
年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																											
18~19歳	77.0	13.8	17.3																																											
20~29歳	68.1	23.9	20.0																																											
30~39歳	66.2	25.9	21.1																																											
40~49歳	71.8	19.2	19.2																																											
50~59歳	72.2	19.2	19.2																																											
60~64歳	75.6	20.0	20.0																																											
65~69歳	69.3	19.1	19.1																																											
70歳以上	60.9	17.3	17.3																																											
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																											
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分が犯罪にあったことがないから ✓今まで生きてきて犯罪にあったことがないし、近くでもないから 		19歳以下																																												
		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓盗難や事故にあったことがある ✓治安は良いと思うが、住宅に近いところを警察が巡回していることが少ないと思う ✓変質者がいる 																																											
<ul style="list-style-type: none"> ✓全然心配していない ✓いつ何があるかわからないと思いながら生活はしています ✓住宅街なので変な人がいたらすぐわかるし、誰かが見ていると思っている 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓近所に空き巣が入った ✓連日のように不審者情報があるため ✓フロントガラスを割られた ✓バイクを暴走する音がうるさい ✓痴漢騒動がある 																																											
<ul style="list-style-type: none"> ✓周りも自分も安全に暮らしていると思う ✓治安が悪いと感じたことはない ✓いつも地域の方が散歩しているため怪しい人がいれば、すぐわかる 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓居住地は街灯はない畑には隠れ場になる ✓当て逃げ、盗難があつて被害届を出しても一向に改善しない ✓無言電話が来たときがあつたから 																																											
<ul style="list-style-type: none"> ✓安心して生活しています ✓犯罪は少ない街だと思うので ✓窓やカギを開けたままでも出掛けられる ✓他に比べて日本は安全だと思う 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓毎晩のように近所の方がフェンスを乗り越え宅地に入り、防犯カメラの死角をついて家屋や樹木を痛めていく。この間は、早朝ゴミ捨てに行っている間に家の中にまで侵入された。被害を毎日受けていても、軽被害で証拠もないと警察は相手にもしてくれない。軽犯罪でも、犯罪は犯罪。本当は、犯人を捕らえてほしい 																																											
<ul style="list-style-type: none"> ✓ニュースになるような大事件がない ✓近辺でそういう話は聞かないから ✓犯罪は少ないと思う ✓でも犯罪はあるけど。交番の人とかいい人が増えた 		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ガラス窓を割られ空き巣被害にあったことがある ✓近所で、コンビニ強盗があつた ✓近頃、車上狙いが頻繁におきている ✓農作物が取られたり、以前に義母がオレオレ詐欺にあつた 																																											
<ul style="list-style-type: none"> ✓警察の適宜なパトロールや、地域での防犯活動、見守り活動など防犯体制の強化が上げられる 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓治安は良くない ✓最近是不審者の出没や女性を狙った犯罪が多い 																																											

【施策コード／施策名】 4-2-2 防犯対策の推進		【担当部局】 地域・市民生活部							
【区分】	【指標名】								
○	犯罪被害に遭わないよう対策をしている								
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)
		-	-	-	-	-	65.9%		
		-	-	-	-	-	29.7%		
		-	-	-	-	-	3.4%	平均値 (R4)	65.9%
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 									
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 犯罪にあいたくないから ✓ 戸締まりを徹底している ✓ 楽しい生活をしたいから 		19歳以下							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 夜歩くときはライトつける、誰かと電話して歩く ✓ ケータイを使用している際にワンクリック詐欺などに気をつけている ✓ 施錠をしっかりしている 		20~29歳		✓ 意識していない					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 必ず鍵をかけて、確認してから家を出る ✓ 夜間は出歩かない。子どもをひとりにしない ✓ ネットは警戒しています ✓ 暗くなったら一人で出歩かないようにしている 		30~39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特別なことはしていない ✓ どうすればいいかよく分からない ✓ してません ✓ 特段対策をおこなっているという意識がないため 					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 空き巣に入られたことがあるので、しっかりしている ✓ 夜一人で外出しない ✓ 危険そうな場所には近寄らない ✓ 防犯カメラ設置をしている 		40~49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 何の対策もしていない ✓ 犯罪被害についての対策はとっていません ✓ 具体的な対策はしていない ✓ 夜は子供を一人で出さない ✓ ご近所同士の話し合いくらい ✓ 子どもには力を入れています ✓ 留守の際の戸締りをする程度です 					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 防犯カメラやセンサーライト、施錠など対策をしている ✓ 情報収集、セキュリティ対策 		50~59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ どんな対策があるのでしょうか？ ✓ 施錠するくらい ✓ 電話の受け取りと戸締りには注意している 					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車の中に貴重品を置かない。留守電にしている ✓ 防犯灯をつけている。留守電を常に設定している ✓ 防犯ブザーを、つけている 		60~69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 対策がわからない ✓ 子供に詐欺に気をつけるように言われることはある 					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 留守電設置、相手先不明な電話には出ない ✓ 自転車のカギのかけ忘れ、外出の際のカギのかけ忘れがないこと、電話による詐欺等の対策は講じているつもり 		70歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子供に詐欺に気をつけるように言われることはある 					

【区分】 ●	【指標名】 悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
------------------	--

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	32.8%	32.0%	27.5%	30.6%	31.3%	32.4%
否定的評価割合	41.2%	38.2%	35.0%	31.8%	33.3%	30.8%
評価保留割合	24.0%	27.0%	34.0%	35.6%	33.2%	35.0%

現状値 (H28)	目標 (R4)	31.0%	↗
平均値 (H29～R4)		31.1%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
	19歳以下	✓もしそのようなことに引っかかってしまったら、どこに相談すれば良いのかわからないから
✓店でのポスターや、銀行での声かけなどがあるので良い	20～29歳	
✓相談できる場所がある。情報を放送してくれる ✓注意喚起の放送もよく流れている印象がある ✓CMなどで注意喚起もしているから	30～39歳	✓目立つサービスがない ✓どこに相談していいかわからないから整っていると は言えない ✓長寿王国であり、働く高齢者が多い長野県なので、 出前講座や季節毎、年金支給日毎の呼びかけなど もっと積極的に行うべき ✓被害にあっているが、相談先はない
✓情報発信が活発 ✓ラジオで注意喚起をしている！ ✓警察がいつも相談ののってくれる	40～49歳	✓どこに相談したらいいかわからないため ✓相談体制が整っているが、まだ詐欺にあう人が 多いと思う ✓警察以外どこに相談するかわからない
✓消費生活センターがある ✓相談窓口が整っている	50～59歳	✓そうおもわないから
✓町の関係でセミナーみたいのに行ってみた ✓相談の窓口がたくさんある ✓まだ効果は十分とは言えないけれども✓✓	60～69歳	✓全く思わない。行政は真剣に取り組んでもらいた いと思う ✓相談機関が、わからない
✓消費生活センターが対応してくれる ✓コロナ禍で中断しているが、交番による講習は行っ てきた ✓それなりに啓発活動が行われているから	70歳以上	✓その体制が有るのを知らない ✓特殊詐欺よりも悪質な商法の方が多く、消費者が 安心して暮らすレベルにはまだなっていない。ど こへ相談したらよいかかわからないことがある ✓高齢者への安心の電話機の設置を行政として取り 組むべき

【施策コード／施策名】 4-2-3 安全な消費生活の確保		【担当部局】 地域・市民生活部								
【区分】	【指標名】									
○	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	60.9%	↗
肯定的評価割合	55.7%	54.5%	58.9%	57.7%	57.2%	62.8%				
否定的評価割合	66.8%	70.1%	36.9%	39.0%	39.8%	34.5%				
評価保留割合	4.8%	2.8%	1.5%	2.2%	1.8%	1.8%	平 均 値 (H29～R4)		57.8%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
✓断る練習を日頃からしている		19歳以下	✓一回も話し合ったことがない ✓どこか他人事を感じてしまうから							
✓危ないことがあれば共有している		20～29歳	✓詐欺やマルチの断り方は心得ている、まだ詐欺にあったことない							
✓一緒にニュースをみている		30～39歳	✓ラジオで耳にするが、話題にはしない ✓対策を話し合った事がないため ✓特に気をつけてはいない ✓機会がない							
✓声がけている										
✓電話には注意している		40～49歳	✓家族と話してみたことがない ✓特殊詐欺について、高齢の母に対策等を話し合うことが必要であるので行いたいと思います ✓被害に遭う方がわるい ✓自分は大丈夫という変な自信							
✓ニュースで見た時、話題にしています										
✓ニュースで出てきた話題を、食事の時に扱う		50～59歳	✓必要ない時はすぐに断っているため、相談までしていない ✓自分はまだ大丈夫とおもっているところがある							
✓新聞の記事から対策を話し合っている										
✓家族が実際の被害者ですから		60～69歳	✓今時、固定電話に、かけてこないと思う ✓話し合っても意味がない。自分自身で気を付けるしかない ✓家族で話すことはない							
✓自分は騙されないとは言いきれない										
✓女性防犯パトロールを6年間やっていた		70歳以上								
✓母には話をしている										
✓変なメールは取り合わない様にしている										
✓留守番電話にしている										
✓両親にオレオレ詐欺の電話がかかってきた										
✓合言葉を決めている										
✓話はよくする。電話も対策している										
✓元金融機関に勤務していたため、その意識は普通の人より高く、家族友人と話題にする機会も多い										
✓そういう年齢になったから										
✓常に家人とは被害に遭わないよう話し合い、合い言葉等を決めてもいる										
✓話題にしている										
✓たまに言われる										

【施策コード／施策名】 5-1-1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実		【担当部局】 教育委員会、こども未来部								
【区分】	【指標名】									
●	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	41.2%	
肯定的評価割合	40.1%	38.8%	46.3%	47.6%	43.4%	41.6%				
否定的評価割合	29.7%	32.0%	28.6%	26.6%	30.9%	29.8%				
評価保留割合	28.3%	26.6%	22.8%	23.2%	23.5%	26.9%	平均値 (H29～R4)		42.9%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
<ul style="list-style-type: none"> ✓小学校の頃はのびのびと生活出来ていたから ✓教育学部にいたが、信州は教育に力を入れているイメージ ✓教育には力を入れていると感じる ✓自分が学校に普通通っていて、身についたと思うから ✓教育熱心 ✓我が子が、通う学校がそうだから 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓体力がないから ✓体を動かす機会が減っている 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校でその方針に沿って学んでいる ✓十分だと思う ✓共和小学校がとても良かった ✓習い事が豊富 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓昔あった登山もなくなったし、全体的に簡素化されていてたくましく生きていく教育が行われているとは思わないから ✓周囲でそのように実感することはない ✓もっと子供への教育を拡充すべき 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓小中学校は頑張っていると思います ✓文化・体育施設が多い 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナで課外活動が減っている ✓学校では教科書を進めるのが精一杯な感じがある ✓教師の質が悪すぎる。校長の質が悪いからですかね ✓挨拶しても返ってこないから ✓外部の識者等からの話を聞かせてあげたい ✓小学校の1クラスあたりの生徒数が多く、学習や指導が行き届いているのか疑問に思う 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓地方では感受性豊かに育つ環境がある ✓周りの人達を見て ✓都会よりずっといい。教育県長野 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓長野県は、教育県は、死語 ✓そうおもわないから 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓都会に比べて、子供を縛って勉強だけに集中させるような親が少ないように感じる。塾の数や学校の数など環境のせいもあると思うが、それは徳、体もバランスよく育てることが出来ているということだと思う 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓信州教育の瓦解がはっきりしている、大学進学率 ✓バランスの良い一体的な教育は、なかなか難しいと思う。学校格差、教師の指導力の格差があるため、一概にはまとめられない 						
		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓硬直化した教育委員会。話にならない。一部のものが支配とは言わないが、好き勝手にしている状況はないですか？ 						
		70歳以上								

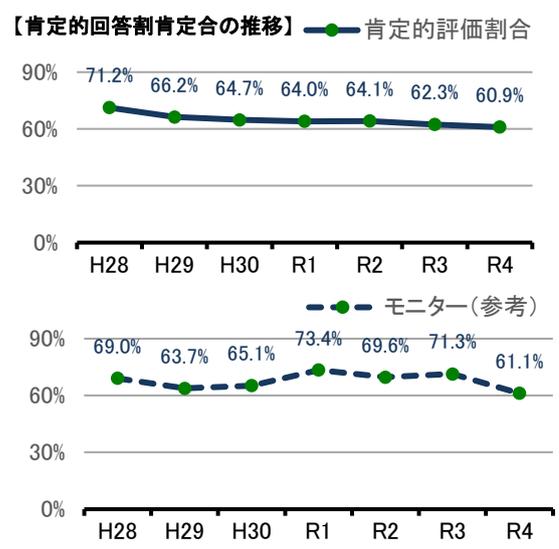
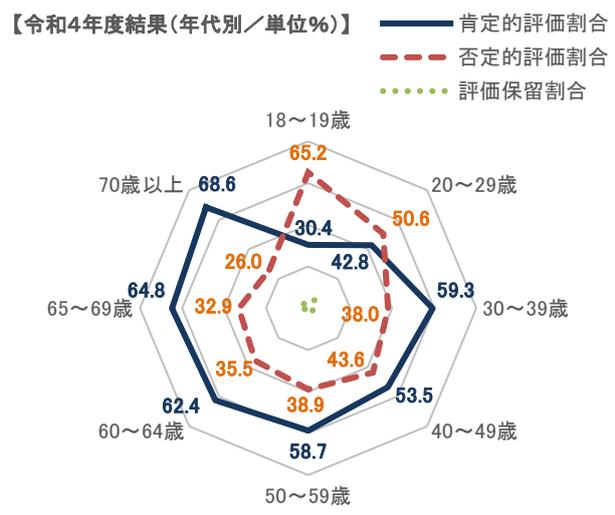
【施策コード／施策名】 5-1-2 子どもに応じた支援の充実		【担当部局】 教育委員会、こども未来部								
【区分】	【指標名】									
●	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	41.0%	
肯定的評価割合	40.9%	40.2%	42.5%	47.4%	42.7%	43.7%				
否定的評価割合	28.4%	29.6%	31.0%	27.0%	31.0%	28.8%				
評価保留割合	29.0%	27.6%	24.4%	23.2%	24.4%	26.1%				
							平均値 (H29～R4)	42.9%		
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
✓不便を感じたことがないから		19歳以下		✓不登校の子がいるということは一人一人に向き合っていないのかなと思うから						
✓ICT教材が導入されるなど豊かな学びが提供されていると感じる		20～29歳		✓授業はできる子中心に進むところもあるので、できない子は置いていかれそう						
✓長野市巡回相談員、SSW等の整備は、他市町村と比べてもサポートが手厚い ✓楽しんで学校へ行き勉強できているので		30～39歳		✓小中と、相談しても何も変わらなかったから ✓周囲でそのように実感することはない ✓もっと学習支援に力を入れてほしい ✓どのような体制がとられているのか具体的によくわからない						
✓先生方が見守ってくれるし、困ったときは相談出来る先生もいるから ✓大事な時期である小学校時代の先生方が良かった ✓学校の取り組みがよい ✓今は少子化で、クラスの人数も少なく、私が子供の頃に比べたらより大人の目が行き届きやすくなっていると思う		40～49歳		✓うちの真ん中の子どもは小学生のとき教員にいじめられた ✓支援が必要な子供への支援が足りないと日々感じて困っている為 ✓学校において、社会のいざこざを巻き込むような校長や教師の発言は良くない ✓相談場所がわからないから						
✓小中学校は頑張っていると思います ✓子供のための施設が多い ✓少人数学級は良い		50～59歳		✓世帯差が強いと思う ✓リソース不足だと思います						
✓先生にもよるが、いいんじゃないかな？ ✓特になし ✓✓		60～69歳		✓子どもの相談・支援体制の前に大人への信頼が子どもにあるだろうか？ ✓貧困家庭への援助が大いに必要 ✓高校格差がまだある 進学校と言われる学校に行くために塾通いする						
✓子供も多くないので、大切にされていると思う		70歳以上		✓抜本的に教育委員会が改善される必要がある。本当に今のままでいいんですか？ ✓現場の体制を知らないの、なんとなく印象として						

【施策コード／施策名】		【担当部局】																																																																				
5-1-3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力の向上		教育委員会、こども未来部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
●	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	49.7%																																																													
肯定的評価割合	51.4%	49.4%	53.4%	55.9%	51.0%	51.9%																																																																
否定的評価割合	24.7%	26.4%	26.2%	22.9%	28.2%	27.2%																																																																
評価保留割合	21.8%	21.8%	18.3%	18.6%	19.0%	19.8%																																																																
							平均値 (H29～R4)		52.2%																																																													
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>令和4年度結果(年代別/単位%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>78.2</td><td>17.4</td><td>29.6</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>46.1</td><td>24.8</td><td>30.8</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>47.3</td><td>30.2</td><td>30.6</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>53.3</td><td>30.8</td><td>30.2</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>49.6</td><td>30.2</td><td>30.6</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>49.0</td><td>30.2</td><td>30.6</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>46.3</td><td>27.8</td><td>30.6</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>57.1</td><td>22.9</td><td>30.6</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>49.7%</td><td>45.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>51.4%</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>49.4%</td><td>47.7%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>53.4%</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>55.9%</td><td>46.7%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>51.0%</td><td>39.3%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>51.9%</td><td>37.3%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	78.2	17.4	29.6	20～29歳	46.1	24.8	30.8	30～39歳	47.3	30.2	30.6	40～49歳	53.3	30.8	30.2	50～59歳	49.6	30.2	30.6	60～64歳	49.0	30.2	30.6	65～69歳	46.3	27.8	30.6	70歳以上	57.1	22.9	30.6	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	49.7%	45.0%	H29	51.4%	44.0%	H30	49.4%	47.7%	R1	53.4%	46.2%	R2	55.9%	46.7%	R3	51.0%	39.3%	R4	51.9%	37.3%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	78.2	17.4	29.6																																																																			
20～29歳	46.1	24.8	30.8																																																																			
30～39歳	47.3	30.2	30.6																																																																			
40～49歳	53.3	30.8	30.2																																																																			
50～59歳	49.6	30.2	30.6																																																																			
60～64歳	49.0	30.2	30.6																																																																			
65～69歳	46.3	27.8	30.6																																																																			
70歳以上	57.1	22.9	30.6																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	49.7%	45.0%																																																																				
H29	51.4%	44.0%																																																																				
H30	49.4%	47.7%																																																																				
R1	53.4%	46.2%																																																																				
R2	55.9%	46.7%																																																																				
R3	51.0%	39.3%																																																																				
R4	51.9%	37.3%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓色々な人に支えられていると感じるから ✓家族地域で見守る環境ができていて感じる ✓地域対抗運動会とかがあるから 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓育成会の活動が減ってきているから ✓子供との関わりがない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓小学生の朝登校についてくれるボランティアの方がいてありがたい ✓全体で支えあっている 		20～29歳																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校から家庭へ色々情報発信がされているし、地域の方と交流する機会もあるから ✓地域の育成会など連携が良かった ✓学校と良好な関係を築く事ができている ✓PTA等で連携はされている 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓周囲でそのように実感することはない ✓コロナ禍で地域との関わりが薄れ、連携してともにという姿勢があまり見られない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓放課後児童支援が充実してきていると思う ✓地域のこどもにあいさつや声かけの実施 ✓学校の便りなどが回覧で回ってくるので、学校の事を知ることはできます ✓育成会活動や登下校時の見回りなど地域の関与は多いと思う 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓学校のホームページが二年近く放置されていたり、連携が取れているように思えない。ちぐはぐ ✓教師に対する教育委員会の指導を徹底してもらいたい ✓ラグビー1つ指導に行くのに、ケガの責任は誰がとるとか面倒なことを言われて指導しなかったことがあったから 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓子どもが少ないので、大切にされている ✓育成会が熱心だから ✓朝の通学に近所の人のがはたふりにたっていてくれる ✓近くの美容室が登下校の子供達のトイレを貸してあげたりしているのを聞いて 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の子供の数によって差があると思う ✓地域との連携は薄い ✓地域も頑張っているだろうが難しい ✓小学生の支援は有るか、中学生の学習支援が無い。公民館等々で大学生を利用して学習支援をしたらどうかと思う 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域との結び付きが強い分、近所付き合いやイベントが面倒だが、連携して子供を守ってくれている感じはある 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域で応援する施設体制が大いに欠けている、長野市でも最も重要な課題 ✓地域として、学校に関わることは、減っている ✓子供もその親も、いろいろな考えがあるので正解はわからない。事件があると他人との関わりを否定する人もいる 																																																																			
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓地区によって差が大きいのでは ✓コロナ禍で地域の行事が行われていない 																																																																			

【区分】	○
【指標名】	地域の子どもにあいさつや声かけをしている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	66.2%	64.7%	64.0%	64.1%	62.3%	60.9%
否定的評価割合	29.5%	31.2%	31.1%	31.8%	33.2%	35.5%
評価保留割合	2.5%	2.0%	2.0%	2.3%	2.6%	2.7%

現状値 (H28)	目標 (R4)	71.2%	↗
平均値 (H29～R4)		63.7%	

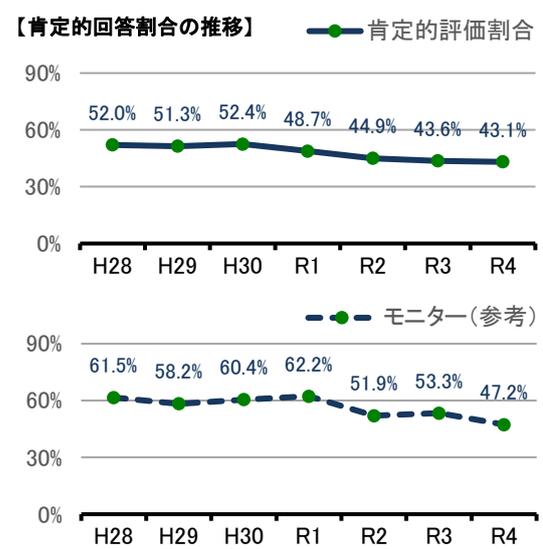
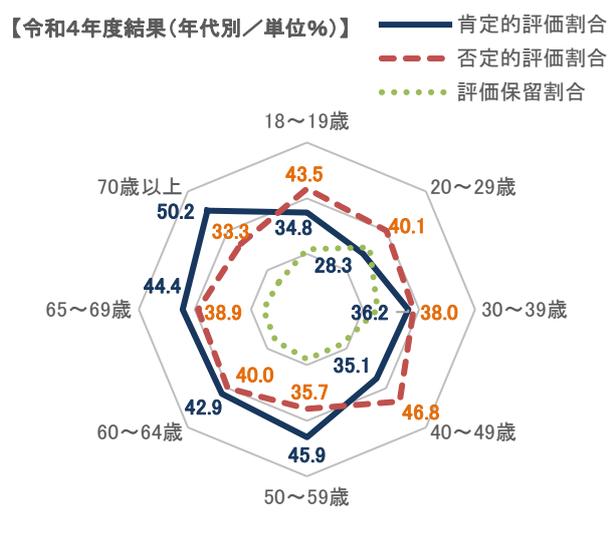


【モニター(参考)の主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニター(参考)の主な否定的意見】
✓ 少しでも繋がりが欲しいから	19歳以下	✓ 自分が子供側だから
✓ 帰宅している小学生などが娘と遊んでいると挨拶をしてくれるので私もしている	20～29歳	✓ 子供に会わない ✓ 不審者扱いされても嫌なので
✓ 明るくしている ✓ 子どもたちにも挨拶の大切さを伝えるため ✓ 子供同士が挨拶して居るので一緒に行く ✓ 挨拶してくれる子がとても多い	30～39歳	✓ 機会がない ✓ 会うことがない ✓ 不審者と間違えられたくないから ✓ 声かけをしたことはない
✓ 旗当番などの際に声をかけたりしている ✓ あいさつは必ず誰にでもするようにしています ✓ あいさつは大事だよと伝えたい ✓ 挨拶します。返ってこない時もありますが	40～49歳	✓ していない ✓ 出来ていない ✓ 下手に声かけしたら不審者扱いされる ✓ 地域の子供にすれ違う時がない
✓ 返事は無いけどね。さみしい ✓ あえてしている意識はない ✓ 犬の散歩時などにあいさつは必ず ✓ 小学校が近いのであいさつはよくしている ✓ 子供から挨拶をしてくれるので嬉しい ✓ 近隣の子どもたちは挨拶も返してくれるので気軽にできる。地域によっては下手に声掛けをするとそれだけで不審者扱いされる場所もあると聞く。この地域はそうならないでほしい	50～59歳	✓ 知らない子に声をかけると不審者あつかいされる ✓ あらぬ疑いをかけられるのではないかと心配なので、特に事情がなければこちらから声はかけないようにしています ✓ 子供みない ✓ 知らない子ばかりだから、こちらから声をかけたら不審者に思われかねない ✓ 今は積極的に声かけしていいものが迷うところがあるので
✓ 必ず声がけする ✓ 知らない子供でもあいさつしてくる ✓ あいさつは大事です ✓ 子供だけではなく。ご近所の方とは挨拶が大切です	60～69歳	✓ 近所に子どもが少ない ✓ 知り合いのお子さんには挨拶するが、なかなかできない ✓ 声掛けは今のご時世難しい ✓ 必要な時だけ挨拶してます
✓ 登校する小学生への挨拶運動実施 ✓ 常に私の方から声がけをしている。最近は子供たちからの声がけが増えたと感じる	70歳以上	✓ あまり外に出ない

【区分】 ●	【指標名】 公民館などで、学びの機会が提供されている
------------------	--------------------------------------

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	51.3%	52.4%	48.7%	44.9%	43.6%	43.1%
否定的評価割合	28.0%	28.0%	32.7%	35.3%	36.4%	38.0%
評価保留割合	18.7%	17.2%	16.5%	17.5%	18.2%	17.7%

現状値 (H28)	目標 (R4)	52.0%	↗
平均値 (H29～R4)		47.4%	



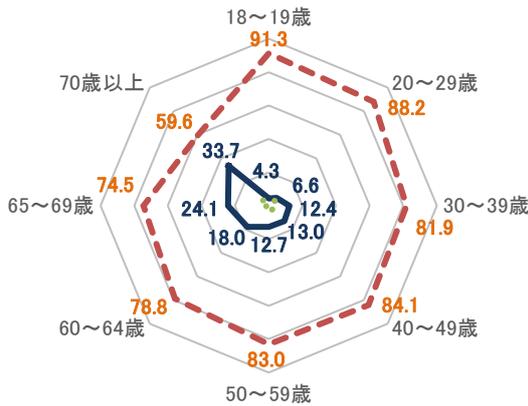
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ そういった活動を聞いた方があるから	19歳以下	✓ 学びの機会は提供されていないと思うから
✓ よく土日遊びに行ってる子を見かける ✓ 公民館の貸出無料がすごい	20～29歳	✓ 公民館で提供されている講義は平日の昼間なので誰が行けるんだろうと思う。ご老人向け？
✓ 広報ながや回覧板に情報が載っているから ✓ 教室が多く開催されている ✓ さつまいも植えなど、催しものの企画など楽しませてもらった ✓ 朝陽公民館の電気クラブに参加したが、とてもよかった。県立図書館のものことベースもとても良い試みだと思う	30～39歳	✓ そもそも近所の公民館のイベント情報が入手できない ✓ 周囲でそのように実感することはない ✓ 一見では入りづらい雰囲気になっている ✓ 呼びかけが足りてない ✓ 若い人がいないので参加しにくい
✓ いくつか子供と参加させてもらいました ✓ 実際に公民館に月一で通っています ✓ 各地域に公民館などがあり、利用されている ✓ 手厚いと思う	40～49歳	✓ この地域は無い。公園で遊ぶことを注意する者もいる ✓ 一部役員会等で使っているだけ ✓ 高校生になり全くない ✓ 現在、コロナで全くありません
✓ 利用しているので ✓ 回覧板にいろいろな講座が紹介されている	50～59歳	✓ 新しく入って学習できるよう 長くて3年など 制限しないと いつも古い人ばかりで学べない ✓ 勤労青少年ホーム、サンライフ長野等の廃止方針について疑問に思います
✓ 公民館の施設も多く学習内容も豊富 ✓ 講座やカルチャーは、いろいろ行われていると思う ✓ 公民館講座を自身が受講したので ✓ 公民館の役員をしており、自分自身その機会を提供しているので	60～69歳	✓ 少なくともここ押鐘地区はやっていません。中学・高校などの中退者への教育など私は、是非力を貸したいといつも思ってます ✓ 公民館は会議の場としか使われてなく、学びの場としてもっと提供すべき
✓ 公民館で行われている学習機会は、地域にとって極めて重要な位置づけにある。学びの要望がさらに高まると良い	70歳以上	✓ 遊部イベントはあっても学びの機会はあまりないと思う

【区分】
○ 【指標名】
公民館などで提供されている学びの場に参加している

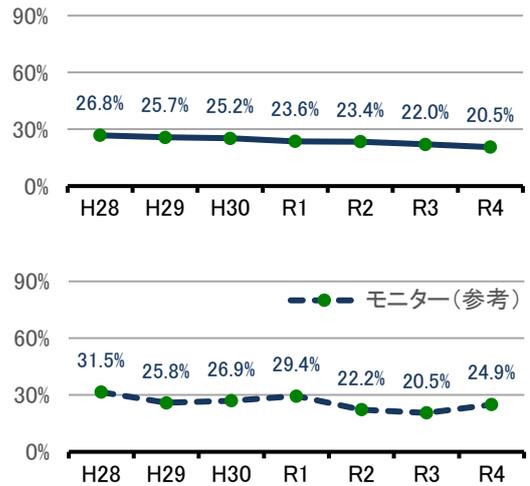
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	25.7%	25.2%	23.6%	23.4%	22.0%	20.5%
否定的評価割合	67.2%	69.9%	70.1%	70.6%	72.2%	74.9%
評価保留割合	4.7%	2.5%	3.3%	4.1%	3.9%	3.8%

現状値 (H28)	目標 (R4)	26.8%	
平均値 (H29～R4)		23.4%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】
 — 肯定的評価割合
 - - - 否定的評価割合
 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓競技かるたをやっている
✓参加している

19歳以下

✓参加する時間がないから
✓まず、それがいいのかも知らないから

✓格安で参加しやすい
✓興味がある講座で日程があうものは参加するようにしている
✓朝陽公民館の電気クラブに行っている
✓意識してやるようにしている

20~29歳

✓学びの場があるのを知らない
✓参加したくても時間が融通きかない、平日の昼間や夕方は若い人参加できないと思う
✓あまり興味のあるものがない

✓児童書の読みかせボランティアに参加している
✓少し前はときどき

30~39歳

✓高齢者向けが多いので社会人は参加しにくい
✓参加するような内容がないため参加していないから
✓時間と場所が合わない
✓興味はあるが、どういう年齢の人が参加しているかわからないから。既に常連さんばかりだと参加しづらい

✓これまで、料理、英会話、生け花、茶道、ヨガ、ピラティス、ストレッチ、ゴルフ、などいろいろと大変にお世話になっています

40~49歳

✓休日や夜間に参加できるものがない
✓放送大学やオンラインスクールに通っています。地域で学びたいとは思いません。逆に地域でしか学べないことを教えてくれるなら参加します

✓非常に良く利用させていただいている
✓年1回講座に参加している
✓大好きで参加してます
✓自分自身が公民館の役員のため機会を提供中

50~59歳

✓昼間開催の講座が多いため出られない
✓興味のあるものがない
✓公民館に行った事がない

✓常に参加する講座あり
✓興味のあるものには積極的に参加
✓住自協活動や今自分が置かれている立場上、必要のことはできる限り参加している

60~69歳

✓仕事をしていて参加する時間はない
✓コロナ禍でめっきり機会が減った
✓老人かいみみたいで参加したくない

70歳以上

✓自分のことをしているので、無理だろうと思う
✓出かけない

【施策コード／施策名】		【担当部局】				
5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進		教育委員会				
【区分】	【指標名】					
●	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	52.0%	52.1%	48.9%	45.6%	43.8%	43.1%
否定的評価割合	27.9%	27.9%	32.9%	34.5%	37.0%	37.7%
評価保留割合	17.9%	17.5%	15.9%	17.6%	17.4%	17.8%
現状値 (H28)	目標 (R4)	50.8%		↑		
平均値 (H29～R4)		47.6%				
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p>						
<p>【肯定的回答割合の推移】</p>						
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ✓大学生も気軽に参加できるコミュニティがあれば嬉しい ✓色々なイベントを目にする ✓充実 ✓回覧板等で公民館で地域に関する講座の催しが行われているのを知る機会があるので ✓広報誌などで見る ✓いろいろ企画されてると感じる ✓広報ながの等で募集をみる 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓学びの場は提供されていないと思うから ✓あまり行われていないから ✓そういった活動を知らないから 			
<ul style="list-style-type: none"> ✓回覧板にいろいろな講座が紹介されている ✓しめ縄づくりや神楽など文化継承、三世代参加の球技大会など開催されている 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓公民館では高齢者向けが多いと思う。もっと幅広い世代が利用できる方がよい 			
<ul style="list-style-type: none"> ✓利用して参加してる ✓体操教室がある ✓提供されている ✓個人の教室などハードルが高いものも 公民館の開催なら定額だし単発だったりと参加しやすい ✓公民館の役員をしており、その機会を提供している 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓周囲でそのように実感することはない ✓呼びかけが足りていない ✓公民館まで行くのが大変 			
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域公民館でようやく復活しつつある ✓いろいろな活動があるので 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ禍で公民館活動に参加していない ✓そのような機会があまりないと思うから ✓公民館にそういうものは求めていない ✓されているのは高齢者のみ。地域の格差がすごい 			
		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域づくりか？疑問 ✓そうおもわないから ✓講座はあっても提供される情報は少ないと思う 			
		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域づくりとは、そもそも何か。地域の課題点を解決することの方が重要。高齢化と人口の減少、自治会の運営や統廃合など ✓公民館での学びの講座などは全くなく、会議とまた、祭りなどの会合場としてしか使われてなく、もっとコンカレント学習の場として利用されるべき ✓全くそのような活動はありません 			
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓学びの機会はあるが、地域づくりにリンクしない ✓地域づくりを担う人材の育成は喫緊の課題ではあるが、そうした学びの機会が提供されているとは必ずしもそうはなっていない 			

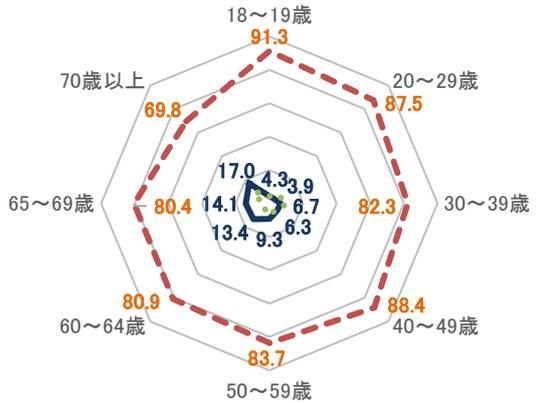
【区分】	【指標名】
○	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	18.1%	15.6%	14.6%	13.1%	13.1%	11.5%
否定的評価割合	71.8%	76.7%	76.3%	76.8%	77.5%	79.7%
評価保留割合	7.4%	5.1%	6.2%	8.0%	7.3%	7.4%

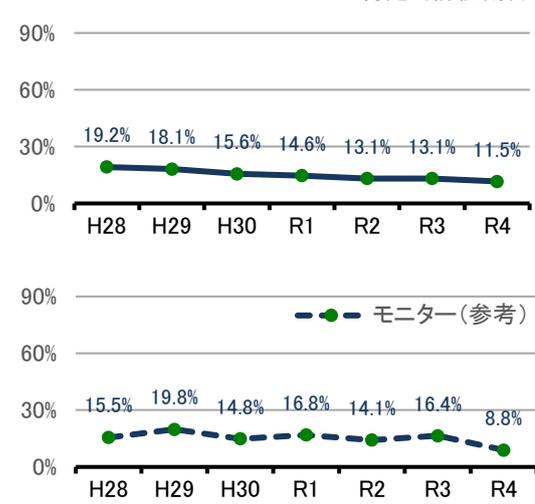
現状値 (H28)	目標 (R4)	19.2%	↗
平均値 (H29～R4)			14.3%

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ イベントに参加している	19歳以下	✓ 学んでいることがないから
✓ 組長をやっていた時、なんとなく参加した人権公演会が、意外とためになり、自分の常識をアップデートできた	20～29歳	✓ 地域づくりに参加出来ない ✓ 公民館に行く機会がない ✓ 興味無い ✓ 学んでない
✓ 自分の興味を広げてくれる ✓ コロナ前は、健診時の赤ちゃんに読みかかせに行っていたが、今はなくなった	30～39歳	✓ 学ぶ機会が今はないから ✓ 公民館に行く事がほとんどないため ✓ 学んだことがないです ✓ 転居組なのであまり地域のことに関心がない
✓ 学びの場でできた人間関係や、得た知識や技術をきっかけとした交流が、地域づくりに活かしている部分もあるように思います。何よりそれらによって地域住民の一人である自分の血肉となり活きていると思います	40～49歳	✓ 参加出来ない ✓ 公民館で学んだことはない ✓ 公民館での学びがないので、どのあたりのことをさしているのかわかりません ✓ 学ぶ機会が無いので活かすことができていない
✓ 学びの場でできた人間関係や、得た知識や技術をきっかけとした交流が、地域づくりに活かしている部分もあるように思います。何よりそれらによって地域住民の一人である自分の血肉となり活きていると思います	50～59歳	✓ 参加したことはありません ✓ 学んだことが無い ✓ 公民館に行くことはほとんどない ✓ 自分のためなので。しかし参加することによって地域のことをより知ることもある
✓ 他の人にも声を掛け誘っている ✓ 家の前の鉢植えは講座で習った物を飾っている	60～69歳	✓ 勉強は自分の学習のため ✓ 地域づくりまではしてない ✓ 時間がなく、参加できない ✓ コロナ禍でめっきり機会が減った ✓ 一度も参加した事はない。興味がない
✓ 地域づくりに生かすために学んでいることから、学んだことは活かしていきたいと常に銘じています ✓ 活動している ✓ 地域のお茶のみサロンで披露(いきいき体操)	70歳以上	✓ 参加したことがない ✓ 学びに行く機会がない

【施策コード／施策名】 5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援		【担当部局】 文化スポーツ振興部									
【区分】	【指標名】										
●	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている										
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	40.7%	↗
		肯定的評価割合	39.6%	40.6%	40.7%	39.6%	39.5%	41.6%	40.7%		
		否定的評価割合	47.2%	46.1%	47.7%	47.7%	50.1%	46.6%			
		評価保留割合	10.9%	11.1%	9.5%	10.4%	8.8%	10.7%	40.3%		
【令和4年度結果(年代別/単位%)】								【肯定的回答割合の推移】			
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美術館などの施設があるから ✓ 教育現場では、多くの機会が与えられていて良いと思う ✓ 美術館が新しくなって気軽に楽しめる ✓ 市民芸術館やホクト文化ホール等で様々な催しが開催されているのを目にするので ✓ 市民芸術館や信濃美術館が新しくなって良い環境になった ✓ 幼い子も参加できるようなプログラムがあるから ✓ 芸術館や美術館がある ✓ たくさんイベントがある ✓ 施設は十分にある ✓ 近くに県立美術館があるので ✓ 美術が豊富 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 気軽に楽しめる企画が思いつかないから ✓ 松本の方が整っているイメージ ✓ 芸術に触れる機会があまりない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民芸術館の活動が活発 ✓ ホクト文化ホール、若里文化ホール、芸術館、これらが近いのはありがたいです ✓ 美術芸術に関する施設は多く、またアマチュア劇団などの活動も活発だと思います ✓ 長野市芸術感ができて盛んになっている気がする ✓ 芸術館・県立美術館・城山公園が整備され自慢できる施設が増えた 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 未就学児がいるとほとんどが入れない。未就学児入場可のコンサートなど行っても他のお客さんにちゃんと周知してくれないから、他のお客さんにうるさい！などいわれて悲しい思いを何回もしている ✓ 周囲でそのように実感することはない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美術館や美術館がある ✓ たくさんイベントがある ✓ 施設は十分にある ✓ 近くに県立美術館があるので ✓ 美術が豊富 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ ビックハットや M ウェーブなどの施設があるのもっとイベントを長野市で開催してほしい ✓ 松本の方が整っているように感じる ✓ 芸術館利用しにくい ✓ 全て有料なので気軽とは程遠い ✓ 気軽にいけるような時間帯に設定されていないケースが多い 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民芸術館の活動が活発 ✓ ホクト文化ホール、若里文化ホール、芸術館、これらが近いのはありがたいです ✓ 美術芸術に関する施設は多く、またアマチュア劇団などの活動も活発だと思います ✓ 長野市芸術感ができて盛んになっている気がする ✓ 芸術館・県立美術館・城山公園が整備され自慢できる施設が増えた 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 施設が不足している。音響の良い施設がほとんどない。松本などと比べると文化レベルが低い ✓ 例えば長野市芸術館にしても、長野市としてもっと気軽に楽しめる環境を整えることはいくらでも可能かと思えます 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美術館や美術館がある ✓ たくさんイベントがある ✓ 施設は十分にある ✓ 近くに県立美術館があるので ✓ 美術が豊富 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 松本市に比べ土台が貧弱 ✓ 長野市は松本に比べて文化の環境がかなり遅れています ✓ 夕方から夜にかけての催しが少ないと思う 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民芸術館の活動が活発 ✓ ホクト文化ホール、若里文化ホール、芸術館、これらが近いのはありがたいです ✓ 美術芸術に関する施設は多く、またアマチュア劇団などの活動も活発だと思います ✓ 長野市芸術感ができて盛んになっている気がする ✓ 芸術館・県立美術館・城山公園が整備され自慢できる施設が増えた 		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 広報には載っているが、全体的にPRが少ない ✓ 市中心部は機会に恵まれるけれども、周辺ではどんなものでしょうか 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美術館や美術館がある ✓ たくさんイベントがある ✓ 施設は十分にある ✓ 近くに県立美術館があるので ✓ 美術が豊富 		70歳以上									

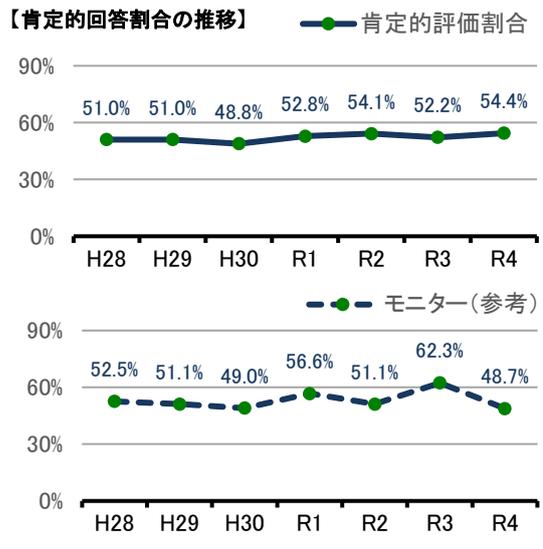
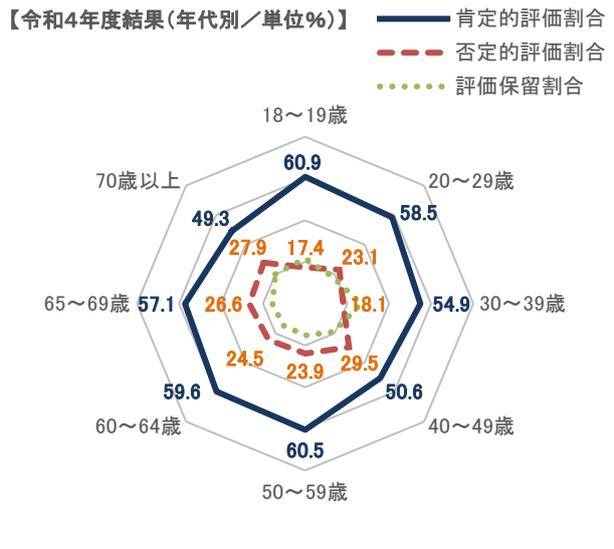
【施策コード／施策名】		【担当部局】																																								
5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援		文化スポーツ振興部																																								
【区分】	【指標名】																																									
○	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる																																									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																				
肯定的評価割合	37.1%	35.1%	33.0%	32.6%	31.7%	36.1%																																				
否定的評価割合	56.1%	60.1%	61.3%	61.4%	63.1%	60.4%																																				
評価保留割合	4.4%	2.4%	2.6%	3.8%	3.1%	2.5%																																				
	現状値 (H28)	目標 (R4)	39.4%																																							
	平均値 (H29～R4)		34.3%																																							
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 <table border="1"> <caption>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代別</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>26.1</td><td>69.6</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>44.7</td><td>51.9</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>33.6</td><td>62.4</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>30.8</td><td>67.5</td><td>1.7</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>41.2</td><td>57.5</td><td>1.3</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>36.3</td><td>62.0</td><td>1.7</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>36.7</td><td>61.9</td><td>1.4</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>34.6</td><td>58.1</td><td>7.3</td></tr> </tbody> </table>							年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	26.1	69.6	4.3	20～29歳	44.7	51.9	3.4	30～39歳	33.6	62.4	4.0	40～49歳	30.8	67.5	1.7	50～59歳	41.2	57.5	1.3	60～64歳	36.3	62.0	1.7	65～69歳	36.7	61.9	1.4	70歳以上	34.6	58.1	7.3
年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																							
18～19歳	26.1	69.6	4.3																																							
20～29歳	44.7	51.9	3.4																																							
30～39歳	33.6	62.4	4.0																																							
40～49歳	30.8	67.5	1.7																																							
50～59歳	41.2	57.5	1.3																																							
60～64歳	36.3	62.0	1.7																																							
65～69歳	36.7	61.9	1.4																																							
70歳以上	34.6	58.1	7.3																																							
<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>39.4%</td><td>55.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>37.1%</td><td>53.8%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>35.1%</td><td>54.4%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>33.0%</td><td>53.1%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>32.6%</td><td>43.7%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>31.7%</td><td>42.6%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>36.1%</td><td>53.4%</td></tr> </tbody> </table>							年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	39.4%	55.0%	H29	37.1%	53.8%	H30	35.1%	54.4%	R1	33.0%	53.1%	R2	32.6%	43.7%	R3	31.7%	42.6%	R4	36.1%	53.4%												
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																								
H28	39.4%	55.0%																																								
H29	37.1%	53.8%																																								
H30	35.1%	54.4%																																								
R1	33.0%	53.1%																																								
R2	32.6%	43.7%																																								
R3	31.7%	42.6%																																								
R4	36.1%	53.4%																																								
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓美術館に時々行くから 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ほとんど行けていない ✓行きたいとは思うが忙しいから 																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓参加している ✓たまにお芝居、コンサート見に行く ✓美術館に行くのが好きだから 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり機会がない ✓行く機会がない ✓行っていない 																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓時折楽しんではいる ✓舞台観劇が趣味なので ✓美術館に行っている ✓公演のチェックをしている ✓出来る範囲で楽しんでいる 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ禍で行けていない ✓余暇を楽しむ時間がない ✓小さな子どもたちがいると忙しくて行けない ✓子育て中でなかなか行けないがこれから楽しみたい 																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓音楽も美術館も大好きです。演劇は長野市で行きたいのがあまりない ✓子連れで行けるようなコンサートなどをもう少し増やして欲しい ✓子どもが演劇をしているので 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナであまり出かけていない ✓経済的に余裕がない ✓興味が湧くものがない ✓そういった機会が無い ✓興味無し 																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ホクト文化ホールと、芸術館にはお世話になってます ✓良い施設がある。ネットからチケットが取れる ✓ピアノが趣味のため、興味のある催しには必ず参加 ✓水野美術館・県立美術館…案外美術館が多いので驚く ✓劇団に所属している ✓月3回シルバーピアノ教室に通っている 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓余暇を楽しむ余裕がない ✓特に興味がない ✓体調が良くないため 																																							
<ul style="list-style-type: none"> ✓楽しみに出かけている ✓最近では少なくなったが、楽しんでいる 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓時間がない。また、機会が少ない ✓あまり好きでないし、お金が高い ✓コロナ禍でめっきり機会が減った ✓余裕がない 																																							
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ほとんど行かない ✓歌を歌うことはあるが、鑑賞することは無い ✓身内の演奏会には出かけている ✓可能な限りそうしたいところですがなかなか機会に恵まれません 																																							

【施策コード／施策名】 5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進	【担当部局】 教育委員会、文化スポーツ振興部
---	---------------------------

【区分】	【指標名】
●	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	51.0%	48.8%	52.8%	54.1%	52.2%	54.4%
否定的評価割合	28.3%	26.4%	27.4%	25.6%	29.5%	25.7%
評価保留割合	18.7%	22.4%	17.5%	18.0%	16.5%	18.6%

現状値 (H28)	目標 (R4)	51.0%	↗
平均値 (H29～R4)		52.2%	

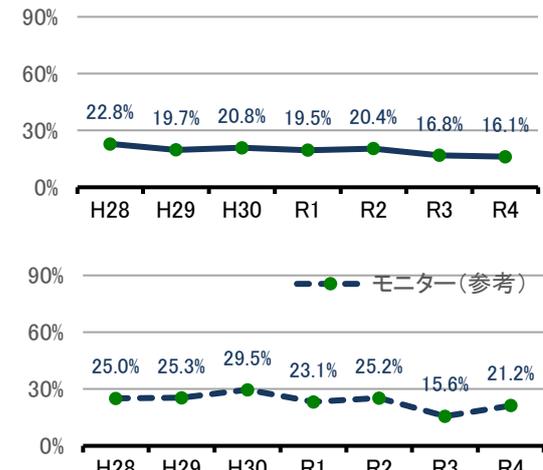


【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓お祭りなどが続いているから ✓善光寺が保護されているから ✓高齢の方が守ってくださっているから 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺とか、古民家カフェとか ✓善光寺はとてもよかった 	20～29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓位置情報ゲーム(ポケモンGOなど)で文化財の情報が活用されているから ✓善光寺は本当に市民に愛されていると感じるため(観光客だけでなく、地元民も日常的に通っているのが珍しいと感じました) 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓文化財がよく分からない ✓周囲でそのように実感することはない ✓学ぶ機会がどんどん減っている気がする ✓地域の文化財と聞いて、すぐに答えられるものがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の役員が主体になり、保存活動をしっかりやっているから ✓地区別のお祭りなど盛んに行われていると感じる為 ✓善光寺ご開帳はとても盛り上がりについていいと思う ✓博物館や歴史館がある 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の文化財が何なのか分からない ✓善光寺しか手厚くされていない。他の文化財をもっとアピールまたは活用してもらいたい ✓知らないってことは継承されてないからだと思うから ✓継承が上手くいってないと思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓松代地区の保存が行われている ✓整備されているので ✓廃線になった長野でんてつの駅で思った 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓後継者不足 ✓地域のお祭りの継承者募集を繰り返し目にする ✓地域の文化財の保存・継承・活用は、市の政策として、予算や人の手配についてもっと積極的になされるべきだと思います
<ul style="list-style-type: none"> ✓古いものが残っている ✓地元で保存に取り組んでいるから 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓もともと地域文化財が貧弱であり、その意識が薄い ✓文化財指定の時は話題になるが、その後の維持・管理は出来ていない気がします
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の文化財が適切に保存されているが、伝承や活用がされているかと問われれば、必ずしもそうとはなっていないと申し上げるしかない 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓もっと行政として文化財に目を向けてほしい。理解が足りないと感じる ✓文化財があるのか分からない

【施策コード／施策名】 5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進		【担当部局】 教育委員会、文化スポーツ振興部									
【区分】	【指標名】										
○	地域の伝統的な行事に参加している										
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	38.5%	↗
		肯定的評価割合	34.6%	34.0%	32.1%	34.1%	31.3%	28.9%	平均値 (H29～R4)	32.5%	
		否定的評価割合	58.9%	61.5%	62.3%	61.3%	64.6%	67.7%			
		評価保留割合	3.9%	2.0%	2.4%	2.6%	2.2%	2.3%			
【令和4年度結果(年代別/単位%)】		<ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 評価保留割合 		【肯定的回答割合の推移】							
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓楽しい ✓家の近くでやっているから ✓イベントに参加している ✓どんど焼きや御開帳に行った 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の伝統的な行事を知らないから 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓イベントなどには参加したりする ✓地域のお祭りは参加している ✓三才の神事 ✓神社のお祭りに参加している 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓参加してないし、やっていることも知らない ✓子供のときは参加したが大人になって参加しづらく感じている ✓興味無い ✓行く機会がない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓可能なかぎり ✓コロナ前は初詣に行っていた ✓イベント参加する ✓秋祭りは盛大です。子供がとても楽しんでいるお祭りです。継承して行ってほしいです 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓木槍などやってみたいが、できていない ✓コロナでなくなっている ✓気力的に余裕がないので ✓興味がないため ✓子どもが行きたがらない ✓越してきたばかりで伝統的な行事をしらない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓子どもを通じて参加することがほとんど ✓神楽保存会に入って活動している。獅子舞フェスにも参加しました 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓伝統的な行事が何かわからない ✓地区の歴史は浅く、ないと思う ✓近所付き合いが嫌 ✓地域に関わることをしていない ✓コロナであまり出かけていない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓子どもを通じて参加することがほとんど ✓神楽保存会に入って活動している。獅子舞フェスにも参加しました 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓お祭りは子どもが小さい時だけ参加した ✓必要を感じず、興味もないので参加しない ✓借家住まいの住民を除外する傾向がある 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓町の活動にはなるべく参加するようにしている ✓地区の役員のため ✓善光寺花回廊には毎回参加してます 		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓行事が昔に比べ少なくなっている ✓地域とは交わりがない ✓コロナ禍で、地域行事が制限されているから 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓興味があるので ✓地域の祭りには参加(こ2年はコロナ禍で中止) ✓神社お祭り・注連縄つくりに参加 		70歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓地域として伝統的な行事がありません(秋の例祭や年末の越年祭、どんど焼きぐらいです) ✓参加出来ない ✓参加したことがない 							

【施策コード／施策名】 5-4-1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進				【担当部局】 文化スポーツ振興部																																																																		
【区分】	【指標名】																																																																					
●	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	54.8%																																																													
肯定的評価割合	52.5%	51.8%	53.3%	53.9%	53.5%	53.7%																																																																
否定的評価割合	37.1%	37.6%	38.0%	36.1%	38.5%	37.7%																																																																
評価保留割合	8.3%	8.2%	6.8%	7.9%	6.4%	7.5%	平均値 (H29～R4)		53.1%																																																													
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>78.2</td><td>21.7</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>56.6</td><td>38.1</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>62.8</td><td>27.9</td><td>9.3</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>56.8</td><td>40.7</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>53.7</td><td>42.5</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>49.8</td><td>41.1</td><td>9.1</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>49.7</td><td>37.4</td><td>12.9</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>50.8</td><td>37.4</td><td>11.8</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>54.8%</td><td>66.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>52.5%</td><td>62.6%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>51.8%</td><td>65.1%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>53.3%</td><td>62.9%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>53.9%</td><td>62.2%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>53.5%</td><td>60.7%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>53.7%</td><td>64.2%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	78.2	21.7	0.1	20～29歳	56.6	38.1	5.3	30～39歳	62.8	27.9	9.3	40～49歳	56.8	40.7	2.5	50～59歳	53.7	42.5	3.8	60～64歳	49.8	41.1	9.1	65～69歳	49.7	37.4	12.9	70歳以上	50.8	37.4	11.8	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	54.8%	66.0%	H29	52.5%	62.6%	H30	51.8%	65.1%	R1	53.3%	62.9%	R2	53.9%	62.2%	R3	53.5%	60.7%	R4	53.7%	64.2%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	78.2	21.7	0.1																																																																			
20～29歳	56.6	38.1	5.3																																																																			
30～39歳	62.8	27.9	9.3																																																																			
40～49歳	56.8	40.7	2.5																																																																			
50～59歳	53.7	42.5	3.8																																																																			
60～64歳	49.8	41.1	9.1																																																																			
65～69歳	49.7	37.4	12.9																																																																			
70歳以上	50.8	37.4	11.8																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	54.8%	66.0%																																																																				
H29	52.5%	62.6%																																																																				
H30	51.8%	65.1%																																																																				
R1	53.3%	62.9%																																																																				
R2	53.9%	62.2%																																																																				
R3	53.5%	60.7%																																																																				
R4	53.7%	64.2%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】			【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 気軽に運動できる場所を増やしてほしいから ✓ 公園などが整備されていると思う ✓ 無料の体育館貸出などそういった施設があるから 			19歳以下																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ オリンピック施設があるから ✓ スポーツ施設が充実。廃線になった線路跡にサイクリングロードが出来たり道に自転車専用のレーンが出来て素敵 ✓ スポーツをしている姿を目にするため 			20～29歳																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 山歩き、トレッキングなどのコースも多い ✓ 自然が多いので運動もしやすいと思う ✓ 近所にウォーキングができる公園が何か所かあり、いいと思う ✓ スポーツジムや体を動かす環境が整っている ✓ 公園やプールなどの充実 ✓ 北部レクリエーションパークをよく利用する 			30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どこでなにができるのか簡単に調べる術がない。在職中の方も参加してみたいと思う広告が必要 ✓ 周囲でそのように実感することはない ✓ もっと個人でも利用できる場所があるといいなあとと思う ✓ 近くに気軽にスポーツできる施設がないため 																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 場所に困らない。トレーニングに必要な知識は自分で持っている ✓ 公園や地域の体育館が充実していると思う ✓ 体育施設が多い 			40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Mwave やビッグハットという立派なアイスアリーナがあるのに、営業期間が短い為 ✓ 学校の校庭を開放してほしい ✓ ないから ✓ 気軽に利用できる施設があまりない。有料や予約がとれない体育館など ✓ 体育館などの施設はあるが個人で気軽に使えるイメージがない 																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 施設も組織もたくさんあるので ✓ 運動公園がある ✓ オリンピックで使用された施設がある 			50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 勤労青少年ホーム、サンライフ長野等の廃止方針について疑問に思います ✓ コロナで中止 ✓ 道路の凸凹が酷すぎるので気軽にジョギングも出来ないから 																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域や小学校毎のクラブチームなどがある ✓ 運動施設はある 			60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 体育館が、再建されている ✓ 施設が貧弱、これからの課題 ✓ 以前はサンマリンに良く行っていたが、リニューアル後は料金が高く行けない 																																																																		
			70歳以上																																																																			

【施策コード／施策名】 5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進		【担当部局】 文化スポーツ振興部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
●	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	35.1%																																																													
肯定的評価割合	36.7%	37.7%	39.6%	33.0%	36.1%	40.4%	35.1%	37.2%																																																														
否定的評価割合	47.1%	45.7%	46.7%	51.2%	50.0%	46.1%																																																																
評価保留割合	14.5%	14.2%	11.8%	13.7%	12.1%	12.2%																																																																
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>令和4年度結果(年代別/単位%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18~19歳</td><td>47.8</td><td>34.7</td><td>17.5</td></tr> <tr><td>20~29歳</td><td>42.7</td><td>42.1</td><td>15.2</td></tr> <tr><td>30~39歳</td><td>45.1</td><td>40.7</td><td>14.2</td></tr> <tr><td>40~49歳</td><td>46.2</td><td>43.3</td><td>10.5</td></tr> <tr><td>50~59歳</td><td>48.8</td><td>42.3</td><td>8.9</td></tr> <tr><td>60~64歳</td><td>51.8</td><td>48.8</td><td>5.4</td></tr> <tr><td>65~69歳</td><td>50.7</td><td>38.4</td><td>10.9</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>47.4</td><td>35.9</td><td>16.7</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>35.1%</td><td>58.5%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>36.7%</td><td>52.7%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>37.7%</td><td>61.7%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>39.6%</td><td>58.7%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>33.0%</td><td>44.4%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>36.1%</td><td>41.8%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>40.4%</td><td>49.7%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18~19歳	47.8	34.7	17.5	20~29歳	42.7	42.1	15.2	30~39歳	45.1	40.7	14.2	40~49歳	46.2	43.3	10.5	50~59歳	48.8	42.3	8.9	60~64歳	51.8	48.8	5.4	65~69歳	50.7	38.4	10.9	70歳以上	47.4	35.9	16.7	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	35.1%	58.5%	H29	36.7%	52.7%	H30	37.7%	61.7%	R1	39.6%	58.7%	R2	33.0%	44.4%	R3	36.1%	41.8%	R4	40.4%	49.7%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18~19歳	47.8	34.7	17.5																																																																			
20~29歳	42.7	42.1	15.2																																																																			
30~39歳	45.1	40.7	14.2																																																																			
40~49歳	46.2	43.3	10.5																																																																			
50~59歳	48.8	42.3	8.9																																																																			
60~64歳	51.8	48.8	5.4																																																																			
65~69歳	50.7	38.4	10.9																																																																			
70歳以上	47.4	35.9	16.7																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	35.1%	58.5%																																																																				
H29	36.7%	52.7%																																																																				
H30	37.7%	61.7%																																																																				
R1	39.6%	58.7%																																																																				
R2	33.0%	44.4%																																																																				
R3	36.1%	41.8%																																																																				
R4	40.4%	49.7%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓色々な大会があって楽しいから ✓バスケやサッカーなどよく見かける ✓パルセイロの試合があったり、野球の試合があるから ✓サッカーやバスケ観覧に行ったことがある ✓いろんな施設を積極的に活用していると思うから 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓中学において大会が少なかったから 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓運動公園、エムウェーブなどプロがよく来る ✓長野市近隣にプロ3チーム！ ✓長野オリンピックの施設でよく行われているイメージ ✓スケートなど見に行きました ✓長野オリンピック施設の活用のために更に利用を増やしてほしい ✓サッカーを見に行ってます 		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓松本のほうが山雅など盛り上がっているイメージ。プロバスケの試合を長野市でやってほしい ✓盛んではない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓パルセイロやプレイブウォリアーズなど頑張っている ✓Mウェーブやビックハットや、ホワイトリング、Uスタ、が賑わっているのは知っています ✓複数のスポーツでのプロチームもあり、力を入れているのがわかります ✓地域密着型のスポーツ活動の支援 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓周囲でそのように実感することはない ✓コロナ禍で減っている ✓実感がありません 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓プロスポーツとかあまり好きではないのですが、いいことですね ✓マラソンや冬スポーツなどは盛んにおこなわれているが、個々の運営施設に任せているのではなく、運営経営を市が助けるべき ✓サッカー、フットサル、バスケットボールなどプロのスポーツがかなり身近で観戦できるようになった 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地元チームが強くなる事で活性化されるのでは ✓会場までのアクセスが不便すぎるから ✓プロ競技が少ない ✓盛んな地域からきたため、好きな人は物足りなさを感じると思いますが、それをこちらの人は知らないのが残念 ✓プロ野球がない。マイナーなスポーツばかり 																																																																			
		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓無名の試合は興味がない ✓盛んだとは思わない ✓招致が少ない ✓プロ野球が生でみられない ✓セパ・プロ野球の誘致してほしい ✓市などは消極的でプロスポーツの参加に対して足をひっぱっていると思う 																																																																			
		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓はっきり少ない ✓スタジアムや等、活用が多いのかわかりません ✓地元のプロスポーツの盛り上がりもあまりなく、もっとアピールしてください。例えば浦和レッズや鹿島アントラーズの商店街のように 																																																																			
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓プロスポーツとしてはサッカーのみ 																																																																			

【施策コード／施策名】		【担当部局】								
5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進		文化スポーツ振興部								
【区分】	【指標名】									
○	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	22.8%	
肯定的評価割合	19.7%	20.8%	19.5%	20.4%	16.8%	16.1%				
否定的評価割合	73.9%	74.4%	75.5%	75.3%	79.2%	81.0%				
評価保留割合	3.7%	1.9%	2.0%	2.4%	2.1%	2.0%	平均値 (H29～R4)		18.9%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p>  <p>【肯定的回答割合の推移】</p> 										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスケをみている ✓スポーツが好きだから 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓時々観戦しに行く 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓野球を見に行ったりしている ✓バスケやサッカー観戦している ✓バスケは観戦にいく 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓やっていることを知らない ✓関心がない ✓スポーツに興味がない ✓いつあるのかが分からない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓野球を見に行く ✓サッカーやバスケ観覧をしている ✓オリスタでプロ野球を観戦した ✓ビックハットでアイスホッケーを観戦した 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓観戦していない ✓スポーツ観戦はそこまで好きじゃないです ✓イベントがない ✓子供が小さいので長時間の観戦が難しい 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓サッカーを見に行きました ✓参加している ✓サッカー楽しみ ✓パルセイロの試合は年に数回観戦している ✓子供の部活の観戦 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓金銭的に余裕がないため、そのようなことはしていません ✓小さい子供がいて難しい ✓興味のある試合がない(プロ野球の試合はここ数年こない) ✓市内では冬季スポーツのみ 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓スポーツを通じた交流拡大 ✓がんばれパルセイロ ✓近くに気軽に行ける施設がある 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓興味がない ✓行ったことがない。一部リーグもなく魅力がない ✓体調が良くないため 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスケットは必ず観戦 ✓サッカー場があるから ✓但し野球、サッカー、バスケットが多い ✓信州ブレイブウォリアーズはたまに応援に行く ✓時々パルセイロの応援に行く ✓十分に時間がとれていない 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり興味がなく行ってない ✓スポーツが好きではないので ✓機会がない ✓仕事で行かれない ✓コロナ禍で、制限されているから 							
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓サッカー観戦は行きたいと思っているが、今のところその機会なし ✓プロスポーツに興味がない ✓もっぱらTV観戦 							

【施策コード／施策名】 5-5-1 国際交流活動の推進		【担当部局】 企画政策部、教育委員会								
【区分】	【指標名】									
●	国際交流が盛んに行われている									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	12.6%	
肯定的評価割合	14.3%	15.4%	17.4%	14.9%	12.3%	14.2%	12.6%	14.8%		
否定的評価割合	58.0%	56.1%	57.4%	57.9%	62.5%	60.1%				
評価保留割合	25.9%	26.4%	23.0%	24.8%	23.5%	24.6%	14.8%			
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】			【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】						
✓私が通っている高校がユネスコスクールに加盟しており、そういう活動を行っているから			19歳以下	✓コロナもあって、留学生が少ないから						
✓親戚の会社でも外国人受け入れしてたりしているから			20～29歳	✓コロナのためなのか見かけたことがない今後に期待						
✓街中を歩いていても海外の観光客や定住している方をよく目にするので			30～39歳	✓コロナを理由に交流がない ✓情報を聞かないし、コロナ禍だから ✓周囲でそのように実感することはない ✓気にしたことがない						
✓一校一國運動の名残			40～49歳	✓コロナ前がどうなのか分からないが、もっと国際交流のイベントやサークルなど開催し在留外国人と触れ合う機会を作って欲しいと感じる為 ✓国際交流についてまったく聞いたことや募集についてもわかりません ✓まだ外国人観光客などもあまり見かけないので ✓コロナだし外国人を見ない						
✓外国人労働者が増えたから			50～59歳	✓コロナの影響だと思います ✓国際交流については見聞きしたことがありません ✓国際交流できるような施設、団体がいない ✓コロナ禍のため無理だと思う						
✓コロナではないときは観光、市内交流の場があるから			60～69歳	✓交換学生や、留学生を増やして、地元の人を交えた活動をもっとすべきだと思う ✓この分野は全く遅れています。冬季スポーツや登山・キャンプなどを地の利を生かし、国際的なアピールが急務です。特にポストコロナ後や現在の円安局面を見据えてもっとインバウンド活動を推進して下さい						
✓国際交流少年団にいました			70歳以上	✓交流した経験がない						
✓保育園で英語の授業がある										
✓職場で外国人技能実習指導員となり、ミャンマーから実習生を受け入れている										
✓入国ができない間も、オンラインなどで交流がもたれていると感じる										
✓新聞記事などで目にする										
✓良く知りませんが長野にも多くの外国の方が働いているようなので										
✓活発とはいえなくても、外国人が定住しているので										
✓なんとなく										

【施策コード／施策名】 5-5-1 国際交流活動の推進		【担当部局】 企画政策部、教育委員会								
【区分】	【指標名】									
○	国際交流イベントに参加している									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	5.2%	
肯定的評価割合	4.8%	3.9%	3.7%	3.9%	3.2%	3.0%				
否定的評価割合	86.4%	90.4%	90.1%	91.3%	92.1%	92.8%				
評価保留割合	6.2%	3.2%	3.3%	3.1%	2.9%	3.1%	平均値 (H29~R4)		3.8%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 評価保留割合 <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> —●— 肯定的評価割合 —●— モニター(参考) 										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
✓国際交流イベントを楽しみにしている		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓参加したいが忙しい ✓国際交流に興味が無いから 						
		20~29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓イベントのことを知らない、知ってたら行きたい ✓参加したいがいつあるのかが分からない ✓多言語が喋れないため、積極的にしたいとは思わない ✓関心がない 						
		30~39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓参加していない ✓コロナで参加した事がない ✓開催されているのを知らない ✓情報を見かけないし、今は優先順位が低い ✓英語が話せないので参加する気になれない 						
		40~49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓子供がいるため、なかなか参加する機会がない ✓どこで国際交流しているか分からない ✓行ってみたい気持ちはあります ✓コロナで国際交流がなくなった 						
✓野外イベントに出会えたら、立ち寄る事はあります		50~59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓参加したことはありません ✓語学が得意でないため ✓全くしていないし、イベントがあるのか知らない ✓興味がない 						
		60~69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓時間的に難しい ✓行きたいイベントがない。国際交流には興味はある ✓国際交流イベント自体いつどこでやっているのか全く知りません ✓コロナ禍でめっきり機会が減った 						
✓機会が少ない		70歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓全くその機会がありません ✓参加したいが、どこで何をしているかの情報がない ✓興味がない 						

【施策コード／施策名】 5-5-2 多文化共生の推進		【担当部局】 企画政策部、教育委員会																																												
【区分】	【指標名】																																													
○	外国の文化や習慣を理解しようと努めている																																													
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	31.0%																																					
肯定的評価割合	32.5%	29.3%	27.7%	30.5%	29.4%	31.0%																																								
否定的評価割合	58.6%	63.6%	64.4%	61.3%	63.3%	62.2%																																								
評価保留割合	6.4%	4.6%	4.8%	6.3%	5.3%	5.5%																																								
							平均値 (H29～R4)	30.1%																																						
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>43.5</td><td>52.2</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>42.1</td><td>52.6</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>31.9</td><td>62.4</td><td>5.7</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>32.2</td><td>64.6</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>35.0</td><td>61.4</td><td>3.6</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>28.6</td><td>65.7</td><td>5.7</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>30.3</td><td>64.0</td><td>5.7</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>26.7</td><td>61.6</td><td>11.7</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	43.5	52.2	4.3	20～29歳	42.1	52.6	5.3	30～39歳	31.9	62.4	5.7	40～49歳	32.2	64.6	3.2	50～59歳	35.0	61.4	3.6	60～64歳	28.6	65.7	5.7	65～69歳	30.3	64.0	5.7	70歳以上	26.7	61.6	11.7
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																											
18～19歳	43.5	52.2	4.3																																											
20～29歳	42.1	52.6	5.3																																											
30～39歳	31.9	62.4	5.7																																											
40～49歳	32.2	64.6	3.2																																											
50～59歳	35.0	61.4	3.6																																											
60～64歳	28.6	65.7	5.7																																											
65～69歳	30.3	64.0	5.7																																											
70歳以上	26.7	61.6	11.7																																											
<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>31.0%</td><td>51.5%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>32.5%</td><td>48.9%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>29.3%</td><td>49.7%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>27.7%</td><td>41.3%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>30.5%</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>29.4%</td><td>46.7%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>31.0%</td><td>43.5%</td></tr> </tbody> </table>											年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	31.0%	51.5%	H29	32.5%	48.9%	H30	29.3%	49.7%	R1	27.7%	41.3%	R2	30.5%	41.5%	R3	29.4%	46.7%	R4	31.0%	43.5%												
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																												
H28	31.0%	51.5%																																												
H29	32.5%	48.9%																																												
H30	29.3%	49.7%																																												
R1	27.7%	41.3%																																												
R2	30.5%	41.5%																																												
R3	29.4%	46.7%																																												
R4	31.0%	43.5%																																												
【モニターの主な肯定的意見】			【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】																																									
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 違う文化などを知るの楽しい ✓ 外国に興味がある 			19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 興味無い 																																									
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 留学経験による ✓ 外国の文化を知るの楽しいし、もっと積極的に交流したいと考えている ✓ 国独自の文化があるので、その人を知って、文化も知りたい ✓ 英会話を習得したいため 			20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 努めてはいない ✓ 接する機会がない ✓ 接することがないから分からない ✓ あまり関心がない 																																									
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 知り合いに外国人がいる ✓ 日頃から興味があるため ✓ 積極的につとめている ✓ 異文化があつて当然です。逆に外国の方がいたら、その国の習慣や文化を教えてくださいたいです✓ 			30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 接する機会がない ✓ 必要に迫られていないので特にしていない ✓ どう理解するかわからない ✓ 外国の文化についてはどのような方法で理解を深めていいのかわかりません 																																									
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 理解は深めている ✓ 勤務先がそういうところだから ✓ 仕事で交流している ✓ 興味、関心があり、面白くも必要だと思うので、理解しようと努めています 			40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外国人が暮らしやすく共生できる環境整備 ✓ 特に何もしていない ✓ 興味がない ✓ 意識して取り組んだことがない ✓ 学ぶ機会がない 																																									
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 英語を教えている ✓ 常に関心を持つようとしている ✓ 海外生活が長いので、理解できる ✓ 毎年必ず1、2回海外旅行してました ✓ 海外旅行が好きで、行った先で楽しみたいから 			50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一人一人違うと思うので ✓ 外国に関して、身近には、関わる機会がない ✓ 外国人との付き合いがないので、理解まではいかない ✓ コロナ禍でめっきり機会が減った ✓ この事に費やす時間がない ✓ 触れることがない 																																									
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 興味がある 			60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ コロナ禍でめっきり機会が減った ✓ この事に費やす時間がない ✓ 触れることがない 																																									
			70歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機会がない ✓ していない 																																									

【施策コード／施策名】 6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進 6-1-2 インバウンドの推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

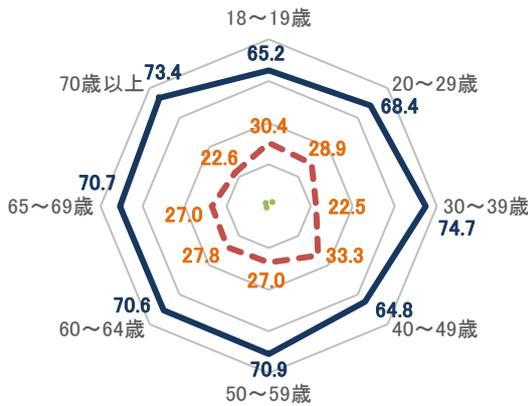
【区分】	【指標名】
●	長野市は、魅力的な観光都市である

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	64.7%	60.3%	63.7%	66.7%	64.0%	70.9%
否定的評価割合	31.5%	34.6%	31.6%	28.8%	32.1%	26.3%
評価保留割合	2.2%	2.0%	2.7%	2.5%	2.2%	1.8%

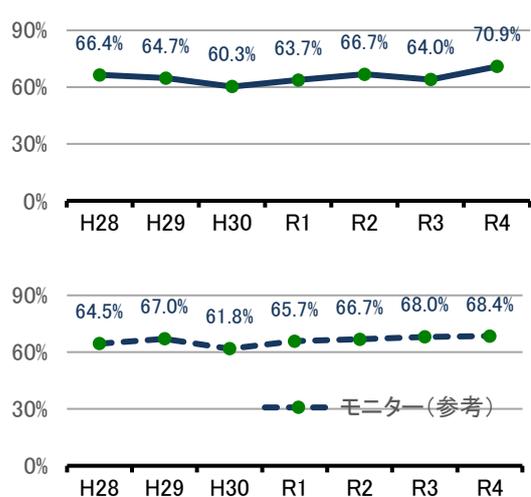
現状値 (H28)	目標 (R4)	66.4%	↗
平均値 (H29～R4)		65.1%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合

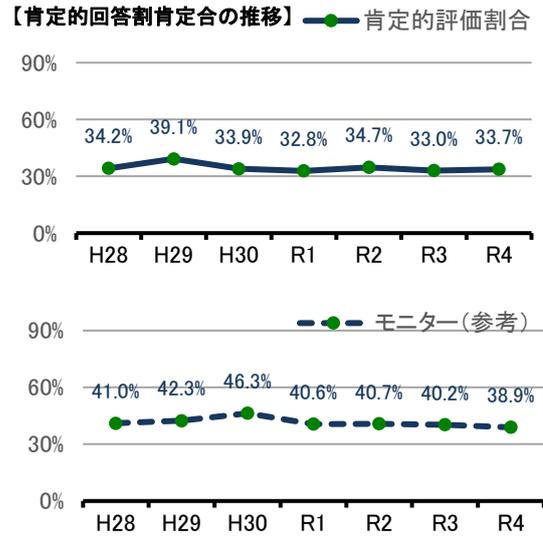


【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓レジャースポットがあるから ✓魅力が沢山あると思うから ✓善光寺などがあり、観光地だと思う ✓戸隠とか善光寺とか 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺や門前町がある ✓食事おいしく、も観光もできて、ウィンタースポーツもできて、とても魅力的だと感じるため ✓新幹線の駅もあるし、良い観光地だと思う ✓広い且つ都内からもアクセスがよいので ✓さまざまな施設がたくさんあるし、銘菓もある 	20～29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然にとっても魅力を感じる ✓御開帳が開催されて良かった ✓善光寺が一番誇れる観光場所だと思う ✓自然豊で食べ物も美味しい。温泉や観光地も多く、回るところも多い ✓自然が豊か！温泉がたくさんある！地元の農産物おいしい！ 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓魅力的な観光スポットが存在しているとは思えないのでほかの県の人に観光を勧められない ✓県庁所在地だけで市民が何か優遇されてると感じた事は少ない ✓大型ショッピングモールもなければ、栄えているのは駅前と善光寺のみ。中央通りは閑散としている
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然にとっても魅力を感じる ✓御開帳が開催されて良かった ✓善光寺が一番誇れる観光場所だと思う ✓自然豊で食べ物も美味しい。温泉や観光地も多く、回るところも多い ✓自然が豊か！温泉がたくさんある！地元の農産物おいしい！ 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺以外は何もないと県外でも有名です ✓県外者に、長野市の観光案内をする場合に善光寺と戸隠しか思い浮かばない。また子連れの家族の場合は、楽しめるような施設がないと思う ✓善光寺御開帳という七年に一度人が集まる仕組みは、七年中六年の機会損失を生んでいます
<ul style="list-style-type: none"> ✓観光活動が積極的に行われている ✓観光地が沢山あり、宿泊施設も充実していると思う ✓名所・旧跡が多い ✓観光バスも、増えてきました 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓女性問題など不祥事の目立つ善光寺、また「善光寺商法」なる言葉もあるように、集客力に胡座をかいている状態で、魅力があるととても思えません。知人には絶対に勧めません
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺はもちろんの事、山や高原、材料にできる事はたくさんあると思う ✓世界に誇る自然、生物多様性などから 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺しかない ✓長野市と言われても 私の住んで豊野など観光には無縁
<ul style="list-style-type: none"> ✓御開帳は最後の方までたくさんの方がきていた。経済効果も大きそう ✓資源が豊富なので、更に工夫と活用を求めたい 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺に依存大。寺を大事にする街より城を大事にする街の方が発展するのでは？ ✓善光寺、戸隠しか思い浮かばない

【施策コード／施策名】 6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進		【担当部局】 商工観光部									
【区分】	【指標名】										
○	知人や友人などに地域の魅力を伝えている										
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	36.4%	
		肯定的評価割合	35.8%	32.3%	30.9%	32.9%	33.1%	31.8%	36.4%	32.8%	
		否定的評価割合	56.7%	61.7%	62.1%	61.0%	61.2%	62.6%			
		評価保留割合	4.9%	3.4%	3.8%	4.0%	3.8%	4.3%			
【令和4年度結果(年代別/単位%)】											
【肯定的回答割合の推移】											
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓よく話している ✓ぜひ長野市に来てほしいから ✓長野はとても素晴らしいとことだと伝えている ✓季節のフルーツなど、美味しいものがあると広めている 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓知人や友人も市内在住だから ✓積極的に伝えようとはしていない ✓都会の方が好きな人 ✓魅力を伝えることはない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市は気候も食べ物も素晴らしい ✓ブログで長野県の情報を発信している ✓県外の友人が長野市に来てくれた際、案内した ✓長野最高 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓話題にならない ✓魅力を感じないため ✓特に伝えたことはない ✓伝える機会が無い 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓他県の友人からきかれた時は色々情報提供する ✓素敵な場所や、美味しいお店があれば周りに紹介するから ✓自然が豊かで食べ物おいしいよ～と伝えています。移住しておいで～とも言っています 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓魅力的なものが無いと思っている ✓率直に言って地域に魅力は感じていません。ただ魅力のあるお店などがあるので積極的に紹介しています ✓地元の友人ばかりなので ✓そういった交流がない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓SNSで発信している ✓長野の良さは伝えている ✓長野オンだから 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓そういった機会がない ✓地域に魅力があるとは思えない ✓そのような場がない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓良いところや美味しいものがあるから ✓海外の人に伝えているし、長野に招待している ✓季節ごとの良いところを話す ✓SNSで発信 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓特に自慢するほどのものがない ✓NHKのラジオ番組のようなことは無理です ✓この事に費やす時間がない ✓同じ地域なので ✓コロナの影響で行われない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域新聞(自腹)を月2回発行し、1年が過ぎた ✓活動で取り組んでいる 		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓話すことがあまりない ✓自分自身が地域の魅力を感じていないのかもしれない ✓していない 							
		70歳以上									

【施策コード／施策名】 6-1-2 インバウンドの推進		【担当部局】 商工観光部																									
【区分】	【指標名】																										
○	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている																										
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	<table border="1"> <tr> <td>現状値 (H28)</td> <td>目標 (R4)</td> <td>34.2%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均値 (H29～R4)</td> <td>34.5%</td> </tr> </table>	現状値 (H28)	目標 (R4)	34.2%	平均値 (H29～R4)		34.5%														
現状値 (H28)	目標 (R4)	34.2%																									
平均値 (H29～R4)		34.5%																									
	<table border="1"> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>39.1%</td> <td>33.9%</td> <td>32.8%</td> <td>34.7%</td> <td>33.0%</td> <td>33.7%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>48.9%</td> <td>57.0%</td> <td>57.1%</td> <td>55.6%</td> <td>56.9%</td> <td>56.0%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>9.5%</td> <td>6.6%</td> <td>7.0%</td> <td>7.9%</td> <td>8.0%</td> <td>9.2%</td> </tr> </table>						肯定的評価割合	39.1%	33.9%	32.8%	34.7%	33.0%	33.7%	否定的評価割合	48.9%	57.0%	57.1%	55.6%	56.9%	56.0%	評価保留割合	9.5%	6.6%	7.0%	7.9%	8.0%	9.2%
肯定的評価割合	39.1%	33.9%	32.8%	34.7%	33.0%	33.7%																					
否定的評価割合	48.9%	57.0%	57.1%	55.6%	56.9%	56.0%																					
評価保留割合	9.5%	6.6%	7.0%	7.9%	8.0%	9.2%																					
	<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 評価保留割合 			<p>【肯定的回答割合肯定合の推移】</p> 																							
	【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																								
<ul style="list-style-type: none"> ✓外国の人と話したいから ✓簡単な英語は練習している ✓コロナ以前は、声をかけられることもあったので、対応した 	19歳以下																										
<ul style="list-style-type: none"> ✓外国で困るのは心細いから、手助けしたい ✓外国に旅行した際に親切にもらった経験があるので、自ら話しかけることはないが、聞かれたら対応できるよう、英語と中国語は勉強している ✓英語を使えるから ✓今は機会がないけれど、機会があれば是非！ ✓困っているなら助けたい ✓困っている人がいたら、日本人でも外国人でも手助けするようにしています ✓いつもしています ✓助けます 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓声をかけられない ✓言葉が通じない為 ✓出会ってない 																									
<ul style="list-style-type: none"> ✓英会話好きなので ✓道を教えたことがある ✓やってるから 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓困っている外国人に会ったことがないため ✓機会がないため ✓英語が出来ない ✓あまり関心がない ✓外国人観光客がいない 																									
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分自身海外で助けてもらったことがあるので声をかけている ✓善光寺付近で声掛けしました ✓当然のおもてなし行為である ✓簡単な英語で助けたことはあるが、数は少ない ✓当然 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓会わないから ✓英語が話せない ✓あまり見かけたことはないが、実際に見かけても手助けはできないと思う ✓外国人観光客すらみない ✓助ける気持ちの余裕がない 																									
	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういった場面に遭遇しない ✓なかなか勇気はないが、困っていたら助けたいと思う ✓外国語は苦手ですが、話しかけられてしまったらその時はがんばります 																									
	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓見かける事が少ないし、語学力がないので ✓その場面に会わない ✓外国人と出会わない ✓この事に費やす時間がない 																									
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓そのような機会に巡り合っていないためわかりかねます。手助けはしたいとは思いますが ✓していない 																									

【施策コード／施策名】 6-1-3 コンベンションの誘致促進		【担当部局】 商工観光部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
●	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	52.6%																																																													
肯定的評価割合	45.2%	46.4%	47.0%	40.9%	34.4%	43.6%																																																																
否定的評価割合	46.0%	45.1%	44.7%	50.5%	57.2%	49.5%																																																																
評価保留割合	7.1%	5.5%	6.2%	6.7%	6.7%	5.8%	平均値 (H29～R4)		42.9%																																																													
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代別</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>52.1</td><td>34.7</td><td>13.2</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>51.3</td><td>41.5</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>46.9</td><td>47.3</td><td>5.8</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>41.1</td><td>55.4</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>46.8</td><td>49.8</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>39.6</td><td>53.8</td><td>6.6</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>38.9</td><td>55.6</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>43.0</td><td>46.0</td><td>11.0</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>52.6%</td><td>54.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>45.2%</td><td>52.7%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>46.4%</td><td>60.4%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>47.0%</td><td>64.3%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>40.9%</td><td>43.0%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>34.4%</td><td>32.0%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>43.6%</td><td>52.8%</td></tr> </tbody> </table>											年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	52.1	34.7	13.2	20～29歳	51.3	41.5	7.2	30～39歳	46.9	47.3	5.8	40～49歳	41.1	55.4	3.5	50～59歳	46.8	49.8	3.4	60～64歳	39.6	53.8	6.6	65～69歳	38.9	55.6	5.5	70歳以上	43.0	46.0	11.0	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	52.6%	54.0%	H29	45.2%	52.7%	H30	46.4%	60.4%	R1	47.0%	64.3%	R2	40.9%	43.0%	R3	34.4%	32.0%	R4	43.6%	52.8%
年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	52.1	34.7	13.2																																																																			
20～29歳	51.3	41.5	7.2																																																																			
30～39歳	46.9	47.3	5.8																																																																			
40～49歳	41.1	55.4	3.5																																																																			
50～59歳	46.8	49.8	3.4																																																																			
60～64歳	39.6	53.8	6.6																																																																			
65～69歳	38.9	55.6	5.5																																																																			
70歳以上	43.0	46.0	11.0																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	52.6%	54.0%																																																																				
H29	45.2%	52.7%																																																																				
H30	46.4%	60.4%																																																																				
R1	47.0%	64.3%																																																																				
R2	40.9%	43.0%																																																																				
R3	34.4%	32.0%																																																																				
R4	43.6%	52.8%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ご開帳での賑わいはすごいから ✓コンサートや大会では、交通の便が良いためか、他県からも人が多く集まっていると感じる ✓ホクト文化ホールは駅から近いので、県外からもイベントに来やすいので、人が多いように思う ✓長野マラソンや聖火リレー、御開帳等で人出が多くなっている ✓そういう日は、まちが賑やか！ ✓ビックハットをよく利用している ✓国際競技の大会など多い ✓コンサートやスポーツイベントがあったときは、長野駅前や会場周辺がものすごく混雑しているの、その周辺の飲食店などにもたくさんお客さんが入っていると思う ✓長野オリンピック後の施設の利用がうまくできていると思う ✓コンサートに来る若い人を街なかで見かける ✓芸術館のオープンは大きい。今年は御開帳でお祭りも多くにぎわっている ✓若者を集客することが大切だと思う ✓バスケット観戦に行く駐車場に県外ナンバーの車が結構入っていてうれしく思います ✓長野マラソンは良いと思います ✓イベント当日は該当する ✓スケートやスキーなど冬のスポーツは特にそう思う ✓賑わいの創出は必ずしもコンサートやスポーツ大会ばかりとは言えないが、確かに賑わいの創出の一つにはなるものである 		19歳以下																																																																				
		20～29歳	✓松本のほうが賑わっている気がする。サイトウキネンとかクラフトフェアとか、長野市はないような																																																																			
		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ自粛が多すぎる ✓賑わうのはアイドルライブの時くらいだけではないでしょうか 																																																																			
		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓もっと賑わって良いと思う ✓ビッグな方に野外ライブとか誘致してほしいです！戸隠にB'zとか(笑) ✓集客できる体制になっていないのでは？にぎわっているところをみたことがない ✓騒ぐと、煙たがる人が多いから 																																																																			
		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野を素通りされるコンサートツアーも多いように感じ、残念に感じています ✓賑わいは無い 																																																																			
		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓にぎわいを感じないから ✓定着した開催がないと、活気には繋がっていない ✓以前と比較すると現在はそうではない ✓コンサートは、新潟市、演劇は松本市。市民の意識が冷めているので向かない気がする。にぎわう時は、県外からのお客さん 																																																																			
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓たまたま今年は御開帳があるが、ウィンタースポーツにかつての賑わいがない ✓コロナ禍で外のことがわからない。テレビ情報のみ。人の集まる場所にはあまり行きたくないと言う状況なのでは？ 																																																																			

【施策コード／施策名】 6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進		【担当部局】 農林部								
【区分】	【指標名】						現状値 (H28)	目標 (R4)	47.5%	
●	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる						47.5%			
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	41.8%		
		45.0%	40.4%	41.8%	47.0%	44.6%	31.8%	平均値 (H29～R4)		
		39.1%	41.8%	42.1%	36.3%	39.9%	52.0%			
		14.2%	14.9%	14.6%	15.0%	14.1%	15.4%			
【令和4年度結果(年代別／単位%)】		— 肯定的評価割合		- - - 否定的評価割合		●●●● 評価保留割合				
		【肯定的回答割合の推移】		—●— 肯定的評価割合						
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新規就農者の話をよく聞かから ✓ しんぶんにのってたから 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若者が農業をやっているところは見えないから ✓ 高齢の方が体が動かなくなってきたのに、仕事のにないてがいないとなげいていたからか 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 友達が実際にやっているから ✓ マルシェなど参加すると若い人が野菜などを育てて売っている人をよくみかける 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 身近では感じない ✓ 若い人を見かけない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 知人でどうを作っているのそう思います ✓ 直売所にも若い農業者の方をみるから ✓ 友達が農業をやっているから ✓ 若い農家さんの農産物を見かけるから ✓ 両親が農業を楽しんでいるから 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若者農業を見ない ✓ 生き生きとはしていない、後継者がいない、共働きでないと家計が回らないなど、「しょうがなく働いている」 ✓ 農業をやっているのは高齢者ばかりです。退職後に、畑があるからやるって感じ 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若い人も農業をするという事が働く選択肢に入ってきている。県外から移住してきて農業をされる方もいるから、魅力をうまくアピール出来ればより農業をやる若い方が増えそう ✓ 市民農場などがある ✓ 新規就農者がいると聞くので 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 後継者不足から畑を止める人が多いから ✓ 自分が若い時に農業をやりたいかったが支援が無かった。現在も支援がない ✓ あまり若者が農業をやる姿を見ない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若い就農者が頑張っていると思う ✓ 新聞でその姿を見かけることが増えたが、そのボリュームは大したことはないと感じる 高齢者問題もある ✓ 若者の農業従事者が、増えた 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 後継者不足 ✓ 若者は見られない ✓ 遊休農地が目立つ 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 増えて来た 		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 農業の高齢化は急速に進み、一部の移住の若者以外はあまり話題になりません。現在の製品の輸入価格の高騰をみると政府による農業振興策等がとりわけ必要なのではないでしょうか ✓ 空き地等も多い所もあり、農業人口は減少しているのでは?と思っている 						
		70歳以上		<ul style="list-style-type: none"> ✓ とても、そのようには感じられない ✓ 逆に従事者が減っている ✓ 若者はそれほど、農業に興味をもてていないと思う 						

【施策コード／施策名】 6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進		【担当部局】 農林部								
【区分】	【指標名】									
○	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	44.0%	
肯定的評価割合	47.0%	41.7%	40.8%	43.5%	42.4%	42.2%				
否定的評価割合	48.5%	54.1%	54.9%	53.4%	54.6%	54.9%				
評価保留割合	2.5%	1.8%	1.3%	1.5%	1.2%	1.9%	平均値 (H29～R4)		43.0%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>18～19歳: 54.7% (positive), 56.5% (negative), 39.1% (reserved) 20～29歳: 23.7% (positive), 71.7% (negative), 27.0% (reserved) 30～39歳: 40.6% (positive), 68.2% (negative), 48.8% (reserved) 40～49歳: 34.3% (positive), 64.3% (negative), 35.5% (reserved) 50～59歳: 44.9% (positive), 63.0% (negative), 53.9% (reserved) 60～64歳: 50.0% (positive), 53.9% (negative), 48.8% (reserved) 65～69歳: 54.7% (positive), 50.0% (negative), 48.8% (reserved) 70歳以上: 54.7% (positive), 50.0% (negative), 48.8% (reserved)</p>						<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <p>Series 1 (肯定): H28: 44.0%, H29: 47.0%, H30: 41.7%, R1: 40.8%, R2: 43.5%, R3: 42.4%, R4: 42.2% Series 2 (モニター): H28: 37.0%, H29: 37.4%, H30: 34.9%, R1: 39.9%, R2: 39.3%, R3: 41.8%, R4: 44.6%</p>				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校で学んでいるから ✓ 野菜が好きだから 		19歳以下	✓							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 夏野菜をつくっている ✓ ベランダで野菜育ててる 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特に作っていない ✓ 野菜や果物を育てていない ✓ 興味無い 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家庭菜園 ✓ いろいろ作るの楽しいと思うから ✓ トマトを育ててる ✓ 畑を借りてやらせてもらっている ✓ 大変だが、頑張っている 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 土地を持っていないため ✓ マンション暮らしなので ✓ やりたいと思っているが子供が小さくてできない ✓ 時間も場所もたりない ✓ 関心がない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 畑を借りた ✓ 農業を手伝う事があるので ✓ 自宅の庭に少しだけ野菜があります ✓ 今年は初めてキュウリを植えてみた ✓ プランターの範囲だが 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アパートのためできない ✓ 畑を持っていない ✓ 楽しんでないから。場所がないから ✓ 野菜づくりや果物づくりの方法を知らないし、余裕がない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 楽しんでいる ✓ 家庭菜園 ✓ やってるから 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ やってみたいのですが、やってないです ✓ 自分では作ってはいない ✓ 果物野菜づくりする場所がない ✓ 畑の経験がない ✓ 暇がない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民菜園を借りている ✓ リンゴを少し栽培している。これをやめたら体を動かすことができなくなるだろう ✓ 自分で作る方が見た目が悪くても美味しいし、安心です 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 時間のゆとりがない ✓ 野菜や果物は育てるのに大変で根気がありません ✓ 土地がなく、プランターで成功したことがないのでやらない ✓ 中心部に住んでいるので身近に畑がない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小規模ではあるが自家用の野菜を生産している ✓ 家庭菜園は楽しい 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ すみません。全く興味がありませんが、家内は一生懸命取り組んでいますので、その手伝いぐらいです ✓ 作っていない 							

【施策コード／施策名】 6-2-2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進		【担当部局】 農林部								
【区分】	【指標名】									
●	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	87.8%	➡
肯定的評価割合	86.4%	85.7%	88.6%	89.8%	92.0%	91.7%				
否定的評価割合	9.5%	9.5%	8.2%	7.1%	5.6%	6.4%				
評価保留割合	2.6%	2.1%	1.6%	1.6%	1.1%	1.1%				
							平均値 (H29～R4)	89.0%		
【令和4年度結果(年代別／単位%)】				<ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 		【肯定的回答割合の推移】				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美味しいから ✓ 毎年美味しいりんごを食べれているから ✓ どのフルーツもとても美味しいから 		19歳以下								
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 産地直売所では沢山売られている ✓ 果物はダントツでおいしい ✓ 果物農家が多く、スーパーにもよく売っている 		20～29歳								
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 県外の知り合いにそういわれるから ✓ おみやげ屋や農協などで特産品として多く販売されているのを目にするので ✓ 季節ごとの果物が大好きです 		30～39歳		✓ あまり聞かない						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 川中島の桃は美味しい ✓ 自宅の周りが桃畑や、りんご畑が多いから ✓ 他県の人にシャインマスカットを送ると凄く喜ばれるから 		40～49歳		✓ 良く買うが、いつも外れる。美味しくない						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 山間部での生産が盛んである ✓ 長野は果物がおいしいし、安価で買えるのでうれしい ✓ 果物が豊富で、新鮮なものが食べられて幸せ ✓ 桃の産地に暮らしているので 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 須坂の実家にいた頃と比較すると、若里に住んでいる現在はあまりそういう実感がありません ✓ 長野市限定だと、あまりそう思わない 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 果物の質が高い ✓ Aコープ等で安く買えてうれしい ✓ 昔よりも、おいしくなった ✓ 長野は「果物王国」です。もっと宣伝した方が良い 		60～69歳								
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美味しいものがたくさんある ✓ 農家の皆さんには感謝しているが、リンゴの木が切られている場所が多くなっているように感じる ✓ 農産物はいつでも不自由しない地域である 		70歳以上								

【施策コード／施策名】 6-2-3 森林の保全と資源の活用促進		【担当部局】 農林部								
【区分】	【指標名】									
●	森林が整備されている地域である									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	41.1%	➡
肯定的評価割合	36.6%	34.8%	38.8%	42.4%	41.7%	41.5%				
否定的評価割合	41.4%	43.8%	42.8%	39.8%	41.4%	40.7%				
評価保留割合	20.2%	18.5%	16.5%	16.1%	15.5%	17.1%	平均値 (H29～R4)		39.3%	
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓山も紅葉などで見に行くととても綺麗だから ✓しっかり整備されている ✓定期的に整備されてる様子を見る ✓植林などのイベントがあったりするため ✓きれいに保全されている ✓木々が豊かな公園があり良い ✓飯綱の整備がよい ✓直接森林を見たわけではないが、土砂災害が少ないのは森林整備のおかげだと思います ✓運転していてそう感じます ✓戸隠森林公園いいね ✓市街地から20分も離れたら雄大な自然がある ✓山だらけです ✓昭和の森公園は、整備されている ✓鳥も住みやすい 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓放置されている山は多いと思 ✓荒れている山がある ✓一部森林がないはげ山のような山もよく目にする 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓飯綱戸隠を見て思う ✓ドライブ程度で見ただけですが、よく看板などで標記してあり、整備されていると思いました ✓思います 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓クマやイノシシが目撃されている。ドングリやむやみにエサを与えている人がいるのではないかと ✓土砂崩れと川の氾濫が怖い 							
✓		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市、そんなに森林が多いように思えない ✓未整備の林が多いから ✓山が荒れているから ✓近くに手付かずの竹林がいくつかある 							
		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓森林の果たす役割や重要性を高める ✓長野県森林づくり県民税はいったい何に使われているのか、見えてきません ✓下草刈りとかやっているのか心配 ✓そうおもわないから ✓鳥獣被害が有る ✓コロナで活動自粛 							
		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓整備実態がわからないから ✓場所場所により大きな違いがあると思う ✓立ち枯れの木や整備されていない森林が災害の原因ですから整備をおねがいします ✓猪や熊が出るのは山が荒れていると思う 							
		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓周りの山は間伐されて無い ✓荒れた山が目につく ✓手入れがされていない ✓土砂崩れなどは頻繁にある 							
		70歳以上								

【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

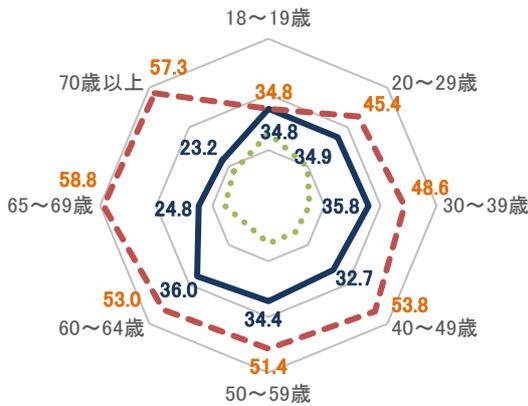
【区分】	【指標名】
●	活力のある企業が多い地域である

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	21.7%	23.5%	24.9%	26.9%	30.1%	29.9%
否定的評価割合	59.4%	57.6%	57.9%	55.5%	54.5%	53.8%
評価保留割合	17.0%	16.3%	15.0%	16.0%	13.9%	15.3%

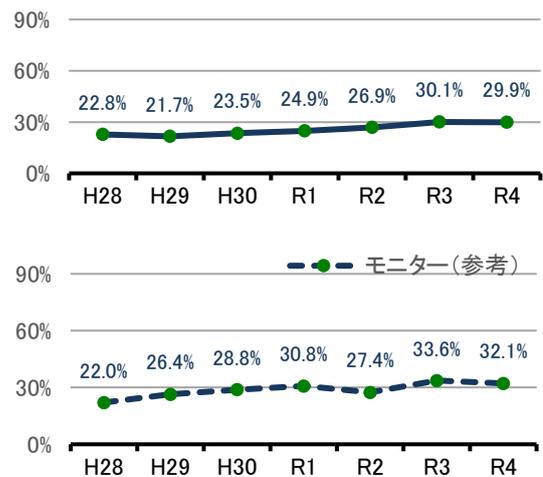
現状値 (H28)	目標 (R4)	22.8%	
平均値 (H29~R4)		26.2%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- ... 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓ 企業のさまざまな取り組みを目にするから
- ✓ つるやががんばってるから
- ✓ どの会社も活力があると思う
- ✓ 自分の所属する会社は活力や勢いがあると思う
- ✓ 長野から全国へ進出している企業もたくさんで、活気があると感じるため
- ✓ 県庁所在市として多くの企業の主要部門が置かれているイメージがある
- ✓ ホクトや磯五郎などそう思います
- ✓ 頑張っている企業さん多いです
- ✓ 地元スーパーは独自性を出して頑張っている。もの作りの技術も企業で磨かれていると思う
- ✓ 新光電気さんのような、地元の人々の就業を下支えするような企業もあるが、閉鎖する企業もあり手放しに喜べるわけではない
- ✓ 地元の企業が頑張っている
- ✓ 元気な企業が多い感じがする。八十二銀行もあるし
- ✓ エプソンなど世界に並ぶ企業が多くあると思う
- ✓ 大きな企業、休み時間に会社の周辺のゴミ拾いしている
- ✓ 小売り業の縮小・整理が気にかかるが、工業、土木・建築業などそれなりに活力のある企業があると感じる

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ 古くからの会社が多い。ベンチャーなど少ないと思う
- ✓ 景気ももっと
- ✓ 地場企業は先細りが見られ、日本や世界を代表するような企業が少ない
- ✓ いつも長野市には何の企業があつて、みんなどこで働いているのか産業が何かわからないなあと不思議に思っている
- ✓ 活力はあったとしても、広がりが薄いように感じられます。何かしら閉鎖的なイメージと、新しく何かを...というのがないのかもしれない。若い人たちには魅力が少ない
- ✓ コロナ禍のせいもありますが、不景気な企業ばかりだと思います
- ✓ 求人が少ない。給料が安いから
- ✓ なんとなくの感覚ですが、あまり景気の良い話はそれほど聞こえてこない気がします
- ✓ 絶対多数が中小企業であり、製造業は大企業の下請けがほとんどであり。建設業は大規模なインフラ事業もなく、サービス・商業はロードサイド型の大規模チェーン店ばかりと全く地元産業は元気がありません
- ✓ 若者が帰ってこられない原因がここにあると思う。大企業は少なく、優秀な学生は都会の大企業へ出ていく場合が多いと感じる

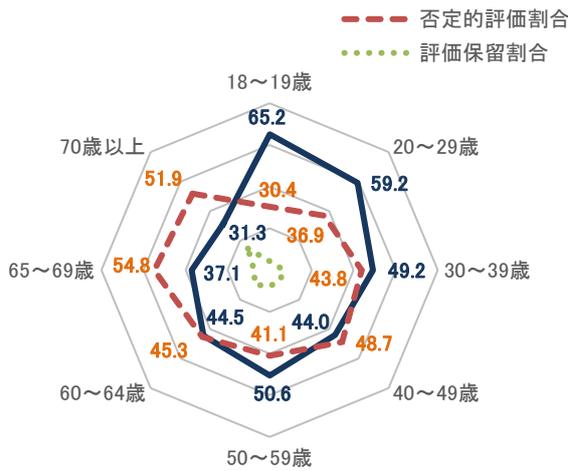
【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

【区分】	【指標名】
●	市内に個性的で魅力的なお店が増えている

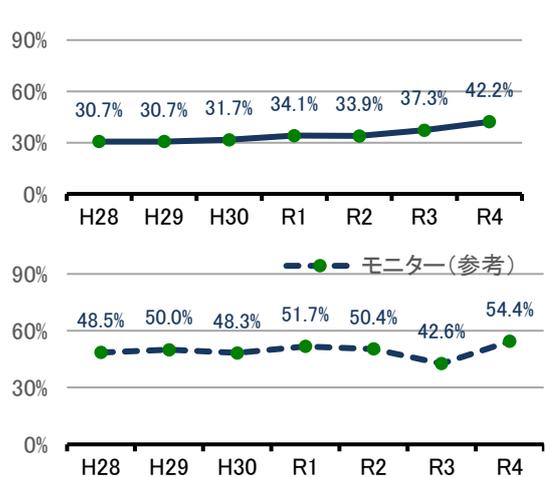
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	30.7%	31.7%	34.1%	33.9%	37.3%	42.2%
否定的評価割合	57.1%	55.6%	54.4%	54.7%	51.5%	47.4%
評価保留割合	10.7%	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.5%

現状値 (H28)	目標 (R4)	30.7%	↗
平均値 (H29～R4)		35.0%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓専門店が増えてきていて、楽しい
- ✓魅力的な飲食店を多く見かける
- ✓面白いカフェが増えた
- ✓若者向けの飲食店が増えた印象
- ✓ご開帳を機に新店舗が増えたから
- ✓古民家や蔵をリノベーションしたり、素敵なお店が多い
- ✓パン屋などそう思います
- ✓善光寺界限は独特な雰囲気があり、魅力的
- ✓発信もしてくれてわかりやすい
- ✓よくTVなどで拝見し、行ってみたいと思う✓
- ✓若者の店が増えた
- ✓リノベしたり新しいお店が増えています
- ✓行ってみたいカフェが増えた
- ✓フリーペーパーで、新しいお店がどんどんオープンしているのを見るから
- ✓古民家を改装したお店がとても増えているいいことだと思う
- ✓若い人の営む店はセンスがいい
- ✓✓
- ✓ひと昔に比べたら驚き
- ✓善光寺近くに新しいカフェがふえました
- ✓働き方に合わせて24時間営業の店舗が増えてきた
- ✓カフェ巡りは好きなので、情報は割と敏感に得ているが、新しいお店も頑張っていると思う。

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓権堂商店街など廃れてきているから
- ✓魅力的な店をあまり見かけない
- ✓大型商業施設はなく、個人店はさびれており、楽しく買い物できる場所がない
- ✓イオンの誘致に失敗し、もんぜんぶらざもなくなる予定で、イトーヨーカドーもつぶれ、東急も経営が怪しい。長野市は経済的な施策が全くないので、私は怒っている
- ✓魅力的なお店が増えたように思えない。ショッピングモールがなく市外に出かけることが多い
- ✓全く感じられません。最近は何となく店が閉まってきているのが残念
- ✓増えているの基準は？直感ではむしろ減っていると感じる
- ✓店ができて数年すると潰れる
- ✓そうおもわないから
- ✓チェーン店やどこにもあるようドラッグストアやホームセンターが多いから飽きる。個人の店の方が楽しい
- ✓権堂町は歯抜け状態、駅前も活気なく、イオンなどのロードサイド型大規模スーパーやモールに客がとられて行きたい商店はありません
- ✓長野駅から善光寺までの通りには、活気がなくて残念。魅力に欠けるためか、人の流れも少ない
- ✓犀川を渡る頻度が少なくなった
- ✓年齢のせいもあるが、行きたい店がない

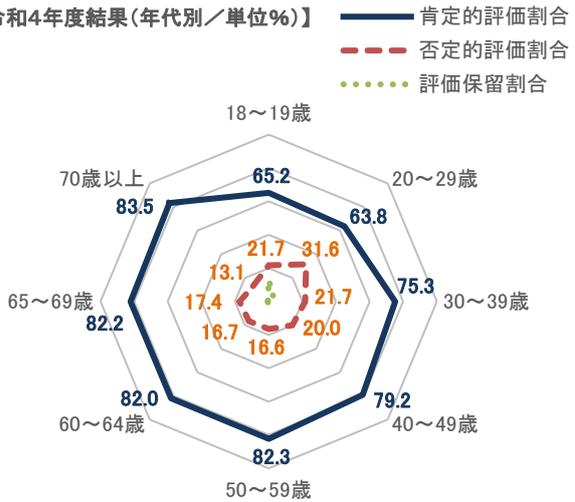
【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

【区分】	【指標名】
○	地元のお店で買い物をするように心がけている

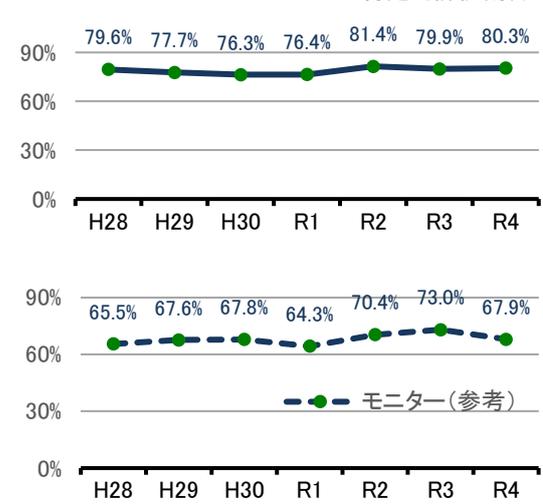
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	77.7%	76.3%	76.4%	81.4%	79.9%	80.3%
否定的評価割合	19.1%	20.7%	19.8%	15.6%	17.4%	17.5%
評価保留割合	1.3%	1.0%	1.0%	1.1%	1.2%	1.2%

現状値 (H28)	目標 (R4)	79.6%	➡
平均値 (H29~R4)		78.6%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓あてはまる
- ✓地元のお店を応援したいから
- ✓買い物は身近なお店でしている
- ✓良いものが充実している
- ✓地産地消して農家さんには頑張って続けてもらいたいので
- ✓行きつけの八百屋さんがあるため
- ✓地元に貢献したいから
- ✓近くの場所で買い物をしている
- ✓ツルヤしか行かない
- ✓いつも地元のお店でお買い物をします
- ✓長野市は買い物するお店が少ないから、地元のお店で買うしかない
- ✓あまり遠くまで行きたくないから
- ✓地元の農産物はおいしいので、積極的に購入している
- ✓直売所を利用している
- ✓地場産の購入をしている
- ✓近くで充分間に合っている
- ✓地元で間に合う物はそれが一番便利と思う
- ✓昔からのところが多いので
- ✓地域のお店は大事だから
- ✓地域の発展のためです。できる限り朝陽地区での買い物に心掛けています

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓いろんな店回る時間ない
- ✓安い店に行ってしまう
- ✓家計のことを考えると価格重視になってしまうため
- ✓ポイントや割引率などで考えていることが多い
- ✓こだわっていない
- ✓特に心がけていない
- ✓地元のスーパーは高い
- ✓コストコ、清水屋に行くことが多いです
- ✓地元のお店すら近くにない
- ✓値段や交通の便が優先される
- ✓郊外の安い量販店へ
- ✓アマゾンや通販でも買い物をします
- ✓一か所で済まないから
- ✓お店がないから
- ✓一度で色々買い物できる場所へ行ってしまいます
- ✓特に個人的な付き合いがある場合は別ですが、基本的に値段が安ければ他で買います
- ✓日頃は近くのスーパーを利用するけど、行きたいお店を目指して市外県外へも行く
- ✓やはり、流通や品物の多い、商業施設で買うことが多いし、便利です
- ✓買い物には自分で行かない
- ✓地元のお店がほとんどない。スーパー・県外資本のお店
- ✓スーパーに行ってしまう

【施策コード／施策名】 6-3-3 新たな活力につながる産業の創出	【担当部局】 商工観光部
--------------------------------------	-----------------

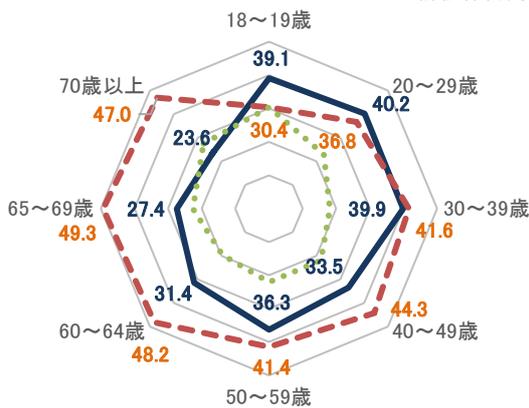
【区分】	【指標名】
●	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	-	-	-	-	-	31.0%
否定的評価割合	-	-	-	-	-	44.7%
評価保留割合	-	-	-	-	-	23.3%

現状値 (H28)	目標 (R4)
平均値 (R4)	31.0%

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓新しくオープンしたお店をよく見かけるから ✓最近の流行りのお店が増えてきているから ✓知り合いがお店を始めていた 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野では…という意見を聞くため ✓新しい店をあまり見ない
<ul style="list-style-type: none"> ✓新しいお店ができるたびに楽しみに思う ✓最近やっとふえてきたと思う ✓ご開帳を機に新しいお店が増えたから 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓周りでいない ✓周囲でそのような声は聞かない ✓IT企業ですら、新しくできていないと思う。雇用やハローワークを見ても、新しい会社の求人は見当たらない ✓会社を起こそうとする人は少ない
<ul style="list-style-type: none"> ✓頑張っている方増えてます ✓新しいお店を見かける ✓大学生が自分で何かをやろうとチャレンジしている記事をよく目にし、その行動がどんどん新しい人脈につながっているように思えるから ✓インスタなどでどんどん広がっているのを感じる 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓市民が少ないので興してもやっていけない ✓信大経営大学院が、廃校となり、起業家はますます減るのは ✓減っている。離れている ✓新しい小さなお店は数件みかけるが、不景気なせいか会社を興す人はみない
<ul style="list-style-type: none"> ✓小さなお店が新しく開店している ✓そういうお店が増えた ✓新しい店などにそれを感じる ✓大学生が活躍しているニュースを見聞きして 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓意欲ある起業、創業者の育成 ✓そのような人をしらない ✓今は起業に得なことがあるのか ✓コロナ禍の影響か、それほど新しい店の増加とは感じません
<ul style="list-style-type: none"> ✓新しい店は、増えた ✓善光寺の旧店舗等で若者が起業している記事を見かける ✓古民家食堂等あたらしい人が増えました 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ、物価上昇など、予期せぬ悪いことが続いておき、行動をおこすことに慎重になるのでは ✓かなり厳しい状況で民間で起業するハードルは高く、行政からの支援も遅い
<ul style="list-style-type: none"> ✓起業を考えている人は出てきている ✓ご開帳をキッカケに増加 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓増えたのはコンビニばかり。魅力的なお店はやはり減ってきている。若い人による起業が進められるような経済状態ではないということか
	70歳以上	

【施策コード／施策名】 6-4-1 就労の促進と多様な働き方の支援		【担当部局】 商工観光部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
●	仕事を見つけやすい環境が整っている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	13.2%																																																													
肯定的評価割合	12.9%	15.5%	15.1%	13.7%	13.7%	16.4%																																																																
否定的評価割合	63.2%	61.0%	64.3%	65.3%	65.9%	62.8%																																																																
評価保留割合	22.2%	20.7%	18.8%	19.4%	18.8%	20.1%	平均値 (H29～R4)		14.6%																																																													
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>年代別評価割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>26.0</td><td>34.8</td><td>39.2</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>24.3</td><td>52.6</td><td>23.1</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>22.1</td><td>58.4</td><td>19.5</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>17.7</td><td>67.3</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>16.0</td><td>67.5</td><td>16.5</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>16.3</td><td>66.9</td><td>16.8</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>14.9</td><td>67.1</td><td>18.0</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>13.0</td><td>59.0</td><td>28.0</td></tr> </tbody> </table>							年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	26.0	34.8	39.2	20～29歳	24.3	52.6	23.1	30～39歳	22.1	58.4	19.5	40～49歳	17.7	67.3	15.0	50～59歳	16.0	67.5	16.5	60～64歳	16.3	66.9	16.8	65～69歳	14.9	67.1	18.0	70歳以上	13.0	59.0	28.0	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>13.2%</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>12.9%</td><td>32.4%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>15.5%</td><td>30.2%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>15.1%</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>13.7%</td><td>22.2%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>13.7%</td><td>18.6%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>16.4%</td><td>24.9%</td></tr> </tbody> </table>				年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	13.2%	31.5%	H29	12.9%	32.4%	H30	15.5%	30.2%	R1	15.1%	36.4%	R2	13.7%	22.2%	R3	13.7%	18.6%	R4	16.4%	24.9%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	26.0	34.8	39.2																																																																			
20～29歳	24.3	52.6	23.1																																																																			
30～39歳	22.1	58.4	19.5																																																																			
40～49歳	17.7	67.3	15.0																																																																			
50～59歳	16.0	67.5	16.5																																																																			
60～64歳	16.3	66.9	16.8																																																																			
65～69歳	14.9	67.1	18.0																																																																			
70歳以上	13.0	59.0	28.0																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	13.2%	31.5%																																																																				
H29	12.9%	32.4%																																																																				
H30	15.5%	30.2%																																																																				
R1	15.1%	36.4%																																																																				
R2	13.7%	22.2%																																																																				
R3	13.7%	18.6%																																																																				
R4	16.4%	24.9%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新聞などで募集しているのを見るから ✓ ハローワークの人が熱心だから ✓ おしごと長野など、県外でも就職先を見つけられる仕組みはできてきている ✓ 求人情報が多い ✓ 長野市にかかわらず求人情報はいろいろなところに乗っているため 		19歳以下																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 探せば何かにたどり着くと思います。しかし、自分を活かせる場というのは少ないと思います ✓ ネットやフリーペーパーなど充実していると思う ✓ ネットなどで求人情報が見られるのはとてもありがたい ✓ ハローワーク等充実していると思う ✓ 近隣地域と比較すれば仕事は見つけやすいと思う ✓ フリーペーパーも入るし ✓ ハローワークは近いです ✓ 『企業ガイドなの』の本がある 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新卒以外の中途の募集が少ないと思う 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 選ばなければあると思う ✓ 仕事はあると思う ✓ ハローワークがあり、ネットでも情報は得られる ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 託児のできる会社が少なく、私自身仕事が見つけられないから ✓ 内容的にも賃金的にも魅力的な求人がない ✓ 実際に U ターンして転職したが、エージェント自体も少ないし、エージェントが抱える企業数少ない ✓ 就職状況は厳しいのではないのでしょうか 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在仕事を見つける方法はいくらかでもあり、媒体も豊富。環境的には今はとても良い状態にあるのではないか 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 条件にあう仕事を見つけるのは困難 ✓ 求人が少なくひとつの求人に人が殺到する ✓ 若者離れは減らないから ✓ 業種が偏る。サービス業ばかり ✓ パートばかり。賃金安いところは多い ✓ 求人に偏りがあり、少ない 																																																																			
		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 入社してくる人が少ない ✓ 最近の動向はわかりませんが、求人数は少ないと思います。募集があっても、(本来してはいけないはずの)年齢制限をしたり、給与水準の低さが目立ち、いい環境とは思えません ✓ 入社してくる人が少ない 																																																																			
		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仕事探しは、ハローワーク頼りです。賃金水準など労働条件もあまりよくなく、ブラックな職場でも仕事があればまだましな状況です ✓ ネットでの就活があり見つけやすい環境？ハローワークの存在がいまいちなのではないか 																																																																			
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そのような環境はあまり知らない ✓ 会社も少なく、よって、職も少ないと思う 																																																																			

【施策コード／施策名】 6-4-2 勤労者福祉の推進	【担当部局】 商工観光部
-------------------------------	-----------------

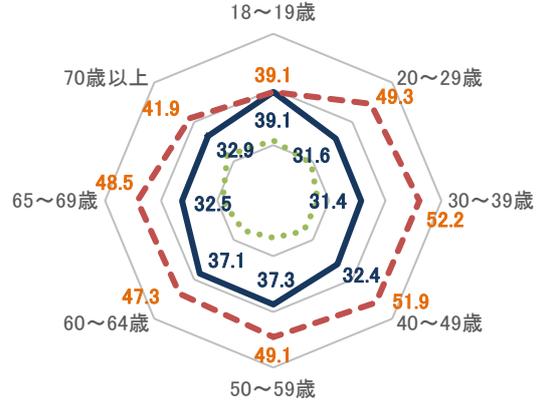
【区分】	【指標名】
●	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	32.6%	30.7%	30.9%	35.2%	33.6%	33.8%
否定的評価割合	47.3%	47.9%	50.8%	47.2%	48.9%	47.3%
評価保留割合	18.5%	18.6%	16.7%	16.2%	16.0%	18.0%

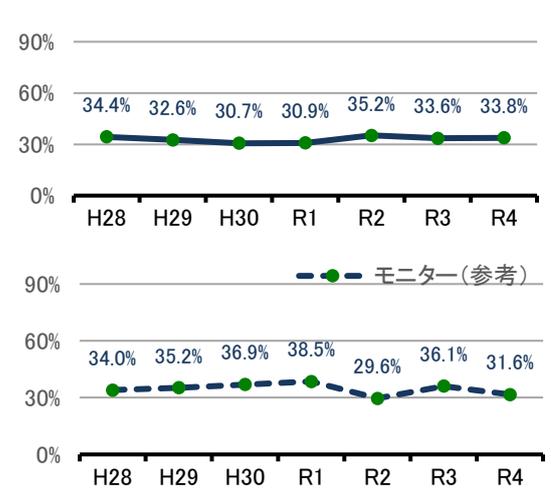
現状値 (H28)	目標 (R4)	34.4%	
平均値 (H29~R4)		32.8%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓ 家族がそうだから
- ✓ イキイキしている人が多い
- ✓ 身近な人はいきいきとしている
- ✓ 職場は活気にあふれている
- ✓ 私も楽しいです
- ✓ 忙しそうだが、いきいきしている
- ✓ 仕事があることに感謝しています
- ✓ 長野に住むようになってから仕事をやめてしまったので、仕事をしている人たちはキラキラしているなど思うことが多いです
- ✓ 現在のバイト先の社員の方達はいきいきしていると思う
- ✓ みんな頑張って仕事している
- ✓ 私の周りはいきいきと働いている
- ✓ 自分のできることで、頑張っている
- ✓ ひとつのところで長く勤めている方が多い
- ✓ 辞めたいという人をあまり見かけないから
- ✓ 勤務年数が長い
- ✓ 私の年齢になると、そろそろリタイアの時期ですが、案外隙間を狙って、若い人が寄り付かない仕事もあるとおもう
- ✓ 長野市が好きなのもたくさんいる
- ✓ 年上の方が元気に働いているのには励まされる
- ✓ ブラック企業が少なそうというイメージ

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ イキイキしているようには見えないから
- ✓ いきいきではないと思う
- ✓ 学校の先生の働く時間の長さに驚きます
- ✓ いつもと辞めたい、と話している
- ✓ たまたまここで働いているという人が多く、長野市でないとだめという人はいない印象
- ✓ 周りにそのような人がいない為
- ✓ いきいきしているとは言えない
- ✓ コロナの影響を受けている
- ✓ 賃金の安さ
- ✓ 家を継いだ長男ばかりがいきいきしてて、以外は魅力がないので他に行ってしまう
- ✓ 企業も少なく賃金が低くて仕方なく働いている
- ✓ 労働環境が厳しい
- ✓ お給料少ない。どこにいても、ブラックだ！と言う
- ✓ いきいきと働いている人はそうそういないと思うから
- ✓ いきいきと働いている人を見たことがない
- ✓ 多くの人が賃金が低い、またパワハラなどで苦しんでいるように思う
- ✓ 疲れた、大変だという話ばかり耳にする
- ✓ コロナ禍においてそれは難しい
- ✓ 時給が全国的に低い
- ✓ 官公庁関係しかわかりませんが、いきいきには繋がらない
- ✓ 普通だと思います
- ✓ みんな疲れた顔をしている

【施策コード／施策名】 7-1-1 地域の特性に応じた都市機能の維持	【担当部局】 都市整備部
---------------------------------------	-----------------

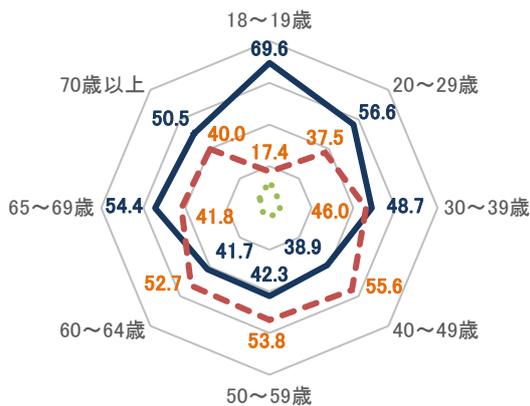
【区分】	【指標名】
●	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	49.2%	48.3%	47.7%	48.1%	50.4%	47.4%
否定的評価割合	43.7%	43.8%	45.1%	45.4%	43.7%	46.4%
評価保留割合	5.5%	4.9%	3.8%	4.7%	4.1%	5.1%

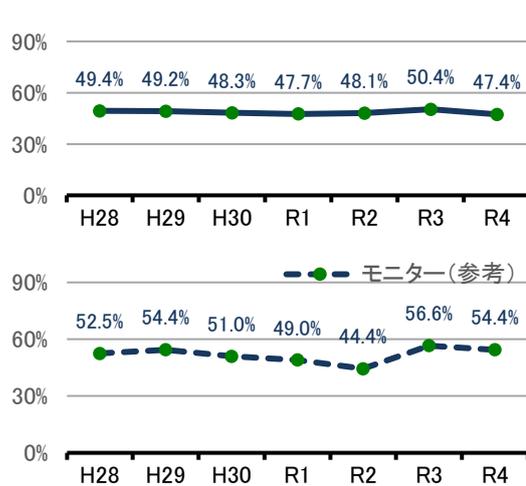
現状値 (H28)	目標 (R4)	49.4%	
平均値 (H29~R4)		48.5%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

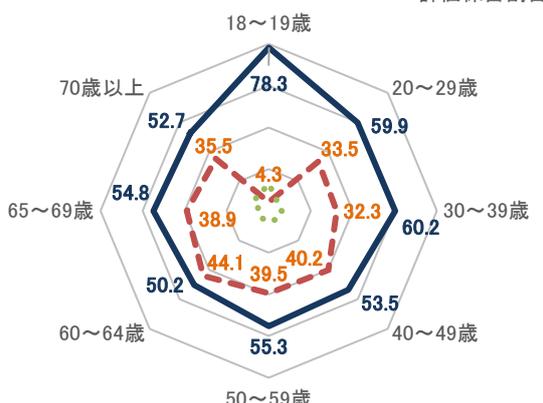
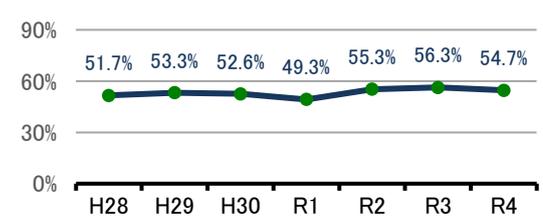
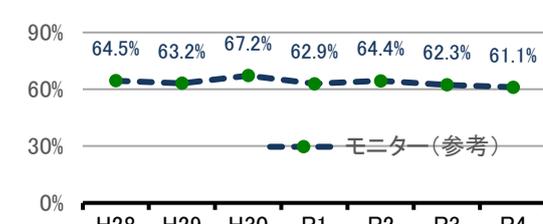
- ✓ 駅前でも何でも揃うから
- ✓ 駅近くには充実した施設が揃っているから
- ✓ 駅前周辺は利便性が高いと思う
- ✓ 不便を感じる事があまりない
- ✓ 中心市街地はとても生活しやすいと思う。ただし中心市街地から少しでも外れるととても不便
- ✓ 長野駅、権堂駅周辺は便利だが公園なども充実していて良いと思う
- ✓ 全てが揃っている
- ✓ 自分が住む地域はまさに駅の周りに全て揃っているためアパートや住宅も多く賑わっているから
- ✓ コンパクトシティを考えるにしても優先度を決めて欲しいです。何でもかんでも中心市街地にそろえれば良いとは思えません
- ✓ 駅周辺は利便性が高いと思う
- ✓ 中心部は便利そう
- ✓ 今の住まいが利便性がよいので
- ✓ 自家用車が無くても利用できる
- ✓ 市街地は便利だ
- ✓ 長野駅周辺はその通り
- ✓ 自分の生活圏内は充実してるから
- ✓ 長野駅を中心として駅周辺は利便性も高い。しかしながら周辺地域(郊外)へ分散化する傾向もみられる。むしろ福祉施設は駅周辺より郊外化への進出が高くなっている

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ 利便性が高いと感じたことがないから
- ✓ 長野駅が分断している
- ✓ 交通が不便。バスはあるが善光寺に集中しており利用しにくい
- ✓ 年々寂れていく一方で、魅力的な商業施設がない
- ✓ 駅周辺には揃っていない
- ✓ 郊外の方がアクセスがよい
- ✓ 権堂商店街はひどい
- ✓ 郊外栄えはじめ、中心市街地や鉄道駅周辺はシャッター商店街が多く行くことが減りました
- ✓ 車社会なので、郊外が主体
- ✓ 大型商業施設が欲しいです！
- ✓ ショッピングモールがない、金融機関がバラバラ、それぞれ車がなければ行けない
- ✓ 生活に必要なスーパーさえ少ない
- ✓ 一部しか集まってない。そもそも中心地へのアクセスが悪い
- ✓ スーパーがないし、駐車場がまずない
- ✓ かつては長野駅や中央通り、昭和通は活気があり、必要なものが集中してましたが、今は分散していて車がないと不便です
- ✓ 駐車場が少なくて料金が高い
- ✓ 長野市に利便性の高い地域があるのか？
- ✓ そうなってほしいもの
- ✓ 買い物の魅力ある店が少ない。金融機関は中心市街地に行かなくても間に合うし、ほかの施設も同様だ

【施策コード／施策名】 7-1-2 暮らしを支える生活機能の維持		【担当部局】 建設部、上下水道局								
【区分】	【指標名】						現状値 (H28)	目標 (R4)	51.7%	
●	日常生活に必要なインフラが整備されている						51.7%			
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	53.6%		
		肯定的評価割合	53.3%	52.6%	49.3%	55.3%	56.3%	54.7%		
		否定的評価割合	34.4%	35.4%	40.0%	35.4%	36.0%	37.4%		
		評価保留割合	9.8%	8.6%	6.9%	7.3%	5.9%	6.4%		
【令和4年度結果(年代別/単位%)】		— 肯定的評価割合		- - - 否定的評価割合		●●●● 評価保留割合				
		【肯定的回答割合の推移】		—●— 肯定的評価割合						
										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】		【モニターの主な否定的意見】						
<ul style="list-style-type: none"> ✓お世話になっているから ✓不便を感じた事はないから ✓日常生活で困ったことがないから ✓生活しているときに困ったことはないから ✓新幹線もあり整っていると思う ✓日常生活で不便を感じたことはない ✓電気、水道などは不便に思うことはない ✓デリシアのネットスーパーと綿半があるから、いいと思う 		19歳以下		<ul style="list-style-type: none"> ✓夜 20 時以降に善光寺側まで行くバスが欲しいです。バイト帰りに夜道を歩くの大変です 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓私の住むところではインフラが、整備されています ✓駅が二種類あるため、通勤通学が便利であるし、自転車道路も整備されているから ✓これは長野市というよりもインターネットのおかげだと思います ✓インフラにおいて特に困ったことはない ✓不便はない 		20～29歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓車がないと生活できないところがとても不便。バスの本数も少なく中心市街地まで出るのに一苦労する。大きな病院に通院する際バスを乗り継いで行こうとすると大変な苦労となる。交通も専門的な高度医療ももう少し増やしてほしい 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓今のところ大きな不自由はない ✓下水道も普及したので 		30～39歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓電気、ガス、ガソリンの値上がり率が高いのでは ✓駅まで遠く、バスは高い、自家用車がなければ、全く機能していない街づくりだと思います。電車代もJR以外は高いです ✓道路整備、用水、商業施設が整備が行き届いていない地域が多い ✓水道料金が高いか 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓特に不便は感じていない ✓今のところ大きな不自由はない ✓下水道も普及したので 		40～49歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓交通不便 ✓交通機関(バス)が貧弱 ✓公共機関は年々減少している 						
<ul style="list-style-type: none"> ✓自宅周辺で大体のものが間に合うし、だけならネットを利用する ✓新たな道路建設が進み、交通問題(渋滞の解消)の解決に進歩がみられる 		50～59歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓不便 ✓いたるところ wifi が使えない、発展途上 ✓鉄道の本数が少ない ✓いつまで経っても、朝の渋滞が、改善されない丹波島橋。どーなってるの？ 						
		60～69歳		<ul style="list-style-type: none"> ✓車を持っていないと生活ができない。子供に頼ったり、高齢者でも運転せざるを得ない ✓バス路線と本数が少ない。車社会 						
		70歳以上								

【施策コード／施策名】 7-1-3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進		【担当部局】 建設部、都市整備部																																				
【区分】	【指標名】																																					
●	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>30.8%</td> <td>30.4%</td> <td>28.7%</td> <td>31.8%</td> <td>31.4%</td> <td>30.4%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>56.5%</td> <td>55.8%</td> <td>58.4%</td> <td>56.7%</td> <td>58.7%</td> <td>59.6%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>10.9%</td> <td>10.6%</td> <td>9.2%</td> <td>9.6%</td> <td>8.2%</td> <td>8.9%</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	R4	肯定的評価割合	30.8%	30.4%	28.7%	31.8%	31.4%	30.4%	否定的評価割合	56.5%	55.8%	58.4%	56.7%	58.7%	59.6%	評価保留割合	10.9%	10.6%	9.2%	9.6%	8.2%	8.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (H28)</th> <th>目標 (R4)</th> <th>30.3%</th> <th>↑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (H29～R4)</td> <td colspan="2">30.6%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (H28)	目標 (R4)	30.3%	↑	平均値 (H29～R4)		30.6%	
	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																
肯定的評価割合	30.8%	30.4%	28.7%	31.8%	31.4%	30.4%																																
否定的評価割合	56.5%	55.8%	58.4%	56.7%	58.7%	59.6%																																
評価保留割合	10.9%	10.6%	9.2%	9.6%	8.2%	8.9%																																
現状値 (H28)	目標 (R4)	30.3%	↑																																			
平均値 (H29～R4)		30.6%																																				
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> —●— 肯定的評価割合 —●— モニター(参考) 																																					
<p>【モニターの主な肯定的意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓前よりは進んでいるかなと思うから ✓バリアフリーが増えた ✓北長野駅にエレベーター出来たのはよかった ✓新しい建物は良い ✓すみやすい ✓公共の施設は進んでいる ✓公衆トイレのオストメイトが増えたのがよい ✓ベビーカーを押してもあまり困らない ✓身障者トイレ等ほぼ必ずみるから ✓不便を感じない ✓みかけるから ✓たまに工事しているのを見る ✓長野の中心市街地は、進んでいると思う ✓大きな施設はバリアフリー化が進んでいる ✓増えてきました ✓道を広げたり工事が目につく ✓一部進んでいると思う ✓建物に手すりやスロープが増えている ✓どの程度利便性があるかはわからないが ✓新真田線は、綺麗になった ✓おおむね整っている 	<p>【年齢区分】</p> <p>19歳以下</p> <p>20～29歳</p> <p>30～39歳</p> <p>40～49歳</p> <p>50～59歳</p> <p>60～69歳</p> <p>70歳以上</p>	<p>【モニターの主な否定的意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓段差が多いなど感じる所があるから ✓スロープがない ✓長野駅の東口と善光寺口を自転車で乗りながら通れない ✓側溝に蓋をして欲しい ✓ベビーカーで散歩すると、道路のがたつきに敏感になる。ひっくり返してしまいそうになる ✓まだバリアフリーじゃないところが多い ✓国道でありながら、隘路とヘアピンが続く国道 406を始め、車・歩行者に双方にとって危険な場所が多い。中央通りの石畳も、明らかにランニングコストが今後嵩むと思いますが ✓バリアフリー化が進んでいるのは長野市役所周辺のみ ✓全くできていないから ✓これは早急に対応願います。ベビーカー、車椅子の方が困惑する姿何度も見えています ✓凸凹が多すぎる ✓道路の凸凹や劣化が酷すぎるから ✓整備された箇所が、周辺に見当たらない ✓舗装がたがた ✓全然進んでいない。車いすを使用して歩いてみると良く分かります ✓エレベーターが、せまい ✓不便を感じる ✓足が悪いが、病院ひとつ行くのに、とても大変 ✓建物はまだ足りない ✓もっと拡充して欲しい 																																				

【施策コード／施策名】 7-1-4 地域の特徴を活かした景観の形成		【担当部局】 都市整備部								
【区分】	【指標名】									
●	景観やまちなみが美しい地域である									
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	57.2%	
肯定的評価割合	55.4%	54.8%	56.6%	60.5%	59.6%	62.4%				
否定的評価割合	39.5%	39.5%	37.5%	34.4%	36.3%	33.7%				
評価保留割合	3.3%	2.8%	2.4%	3.0%	2.7%	2.6%		平均値 (H29～R4)	58.2%	
<p>【令和3年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>										
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】							
<ul style="list-style-type: none"> ✓山がとても綺麗 ✓きれいだから ✓長野市の景観、街並みが好きだから長野市の景観、街並みが好きだから 		19歳以下								
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺周辺などは、新しくなっていてそう感じる ✓街並みが綺麗 ✓長野の自然は心癒されます ✓善光寺あたりはとても良い 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に町並み整理されているように思わない ✓家の近くの大きな土地がずっと草だらけで何も進んでいないから ✓都会的な夜景も自然も中途半端な気がする 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓緑が多いので ✓県立美術館はきれい ✓善光寺周辺などは雰囲気があってよいと思うから ✓花や緑に溢れていて素敵だと思う 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓何もかもが古い。そして、高いマンションが建ちすぎていて、空が狭い ✓統一されている景観の美しさはないと思います ✓いたって普通。電線が気になる 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓綺麗な建物が多い ✓山が美しい ✓他県の友達はそう言っていた ✓善光寺周辺の景観美化や電柱地中化、道路は拡幅、街路樹整備は進んでいると思うから ✓綺麗にしていると思う 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓道が狭い、歩道無い、電線地下化にされているところがほとんどない ✓ゴミが多いから ✓景観が揃ってなくバラバラだから ✓そう思わないのと同時に、高評価をつける人は他を知らないのだと思う場面が多いです 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓綺麗ですね ✓長野の自然、空気は何にも変えられない ✓自然豊かでとても美しいと思う ✓遠くの山並みがきれい ✓景観に則した建築物が多い ✓中央通りはいいと思う 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓中心市街地のあまりに厳しくうるさい自転車駐車取り締まりに、「そんなまちなみを美しいと思ってたまるものか」と思っています ✓善光寺周辺は少し考慮されているがその他は景観に配慮はされていない。景観を考えるなら電柱は地中化すべき 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓観光地として整備されている ✓景観大賞を募集して景観を気にかけてと思う 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓豊野は景観もまちなみも遅れている ✓愚問、美しいとしての基準ない 							
<ul style="list-style-type: none"> ✓綺麗な風景がおおい ✓里山が見える景観はずばらしい 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓道路沿いに看板が多すぎる。規制すればもっと景観がよくなる 							

【施策コード／施策名】 7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成		【担当部局】 都市整備部																																																																				
【区分】	【指標名】																																																																					
○	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	現状値 (H28)	目標 (R4)	73.9%	➡																																																												
肯定的評価割合	71.6%	71.7%	68.0%	71.2%	71.9%	71.7%																																																																
否定的評価割合	24.3%	24.2%	26.7%	24.2%	24.0%	25.3%																																																																
評価保留割合	2.2%	2.1%	2.4%	3.0%	2.5%	2.2%	平均値 (H29～R4)		71.0%																																																													
<p>【令和4年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>令和4年度結果(年代別/単位%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>47.8</td><td>43.4</td><td>7.8</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>48.6</td><td>42.8</td><td>8.6</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>58.4</td><td>37.6</td><td>3.6</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>62.2</td><td>35.1</td><td>2.7</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>74.1</td><td>24.6</td><td>1.3</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>78.8</td><td>19.2</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>79.6</td><td>19.6</td><td>0.8</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>78.8</td><td>17.3</td><td>3.9</td></tr> </tbody> </table> <p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>73.9%</td><td>66.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>71.6%</td><td>64.3%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>71.7%</td><td>68.5%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>68.0%</td><td>63.6%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>71.2%</td><td>74.8%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>71.9%</td><td>71.3%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>71.7%</td><td>59.6%</td></tr> </tbody> </table>											年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	47.8	43.4	7.8	20～29歳	48.6	42.8	8.6	30～39歳	58.4	37.6	3.6	40～49歳	62.2	35.1	2.7	50～59歳	74.1	24.6	1.3	60～64歳	78.8	19.2	1.0	65～69歳	79.6	19.6	0.8	70歳以上	78.8	17.3	3.9	年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	H28	73.9%	66.0%	H29	71.6%	64.3%	H30	71.7%	68.5%	R1	68.0%	63.6%	R2	71.2%	74.8%	R3	71.9%	71.3%	R4	71.7%	59.6%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																																			
18～19歳	47.8	43.4	7.8																																																																			
20～29歳	48.6	42.8	8.6																																																																			
30～39歳	58.4	37.6	3.6																																																																			
40～49歳	62.2	35.1	2.7																																																																			
50～59歳	74.1	24.6	1.3																																																																			
60～64歳	78.8	19.2	1.0																																																																			
65～69歳	79.6	19.6	0.8																																																																			
70歳以上	78.8	17.3	3.9																																																																			
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																																				
H28	73.9%	66.0%																																																																				
H29	71.6%	64.3%																																																																				
H30	71.7%	68.5%																																																																				
R1	68.0%	63.6%																																																																				
R2	71.2%	74.8%																																																																				
R3	71.9%	71.3%																																																																				
R4	71.7%	59.6%																																																																				
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓家の周りくらいなら気配りできていると思う ✓ゴミがあったら拾っている 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓家の景観を美しくするメリットが分からないから 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓家は綺麗に保ってる ✓家庭菜園? ✓緑がおおい ✓家の周りは気にしている ✓ゴミが落ちたら拾っている 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に行っていない ✓興味無い ✓自ら取り組んではない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓きれいにしてる ✓ごみはポイ捨てしないと決めているから ✓自分で、できる範囲の事はやっている ✓掃除や草木の手入れもしているから ✓造園業を仕事としているため。子育てのため 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓賃貸なのでとくに何もしていない。草取りくらい ✓機会がない ✓意識していないため ✓アパート暮らしのため ✓あまり気にしていない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓手入れしている ✓住みやすくするため ✓家のまわりのゴミは拾う ✓庭の手入れが好き ✓水路清掃は定期的に行っている ✓お花を植えている 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓草木が生い茂って美しくない ✓景観には力を入れてない ✓自分の土地ではないので植物は植えられない ✓集合住宅で マナーが悪い人がいて整わない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓花を植えている ✓きれいな所に住みたいから ✓ゴミがあったら拾います 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓草取りだけで大変なのでそれ以上はやらない ✓集合住宅だから ✓特にしていない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓毎年環境美化のイベントに参加しています ✓住宅地なので、樹木、花々等を絶やさないように、管理している ✓家が道沿いなので、草取りやゴミ拾い ✓お花が好きなので、たくさんのお花を育てている 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓集合住宅に住んでいるので、スペースがない ✓特にしてない ✓難しいと思われる ✓緑がない ✓時間のゆとりがない 																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ✓庭に花を植えて楽しんでいる ✓花を積極的に展示している 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓外にあまりでない 																																																																			

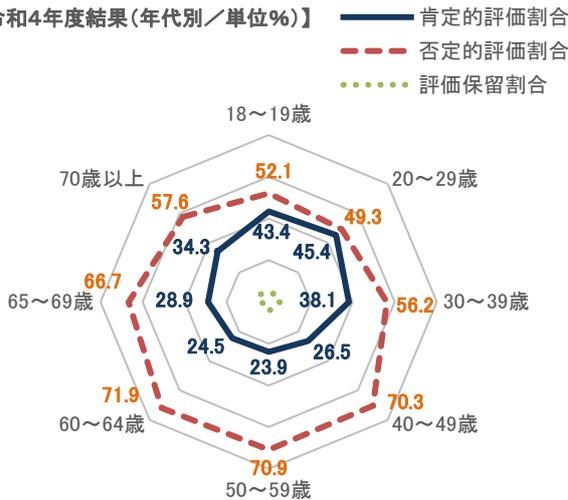
【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

【区分】	【指標名】
●	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている

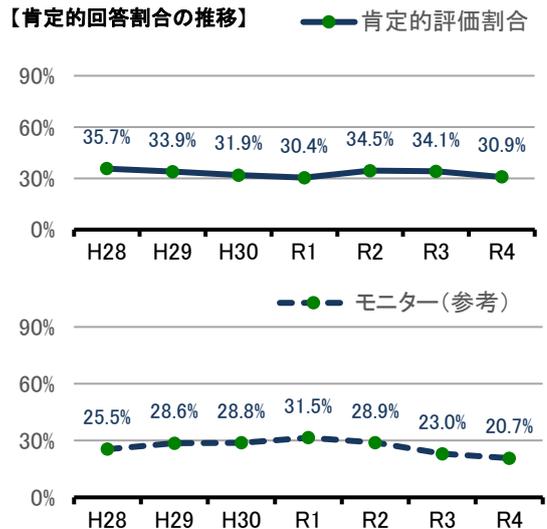
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	33.9%	31.9%	30.4%	34.5%	34.1%	30.9%
否定的評価割合	59.8%	61.2%	62.3%	59.3%	60.3%	63.5%
評価保留割合	4.4%	4.4%	3.7%	4.3%	4.0%	4.4%

現状値 (H28)	目標 (R4)	35.7%	
平均値 (H29~R4)		32.7%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

✓不便を感じた事はないから	19歳以下
✓バスと電車で交通手段が選べる	20~29歳
✓最低限は移動できると思うから ✓地下鉄やバスなどでアクセスしやすい ✓タクシーも多いし、わりとどこでもバスが通っていると思う ✓バスが多いが、場所や時間帯によっては本数が少なく、利用を考える	30~39歳
✓バス電車をよく利用している ✓電車かバスがあるから、車が無くても生活可能だと感じるから ✓私の住むところでは、そのような環境が整っています ✓電車をよく利用する	40~49歳
✓バスが便利だと思っている ✓駅がとても近いので、便利で移動が楽です	50~59歳
✓コミュニティバスが多くなったので ✓1日の本数は少ないが整っている	60~69歳
✓自宅から長野駅までの利便は問題ない ✓ぐるりん号の登場により、市内を移動できる環境は整ってきた。松代や戸隠などへの公共交通機関もあり便利	70歳以上

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓電車やバスの間隔が広すぎて待ち時間が長いから	19歳以下
✓本数が少ない、料金が高い、運行時間が短い ✓駅周辺でないと不便であると感じる。バス移動はすごく時間がかかるし、本数も少ない。とにかく不便で長野市に転入してから車を買った ✓廃線が多い ✓中山間地域については、定時定路線ではなく、安曇野市「あづみん」のようなデマンド交通の構築が必要ではないか	20~29歳
✓JR以外の電車・バスの運賃が高く、高校生は試合等に行くために、高額な運賃がかかる。また、住宅地から駅までも遠い ✓近くのバスが1時間に1本しかないの、今は良いが自分が高齢者になった場合はタクシーしか選択肢がないと思う	30~39歳
✓全くそう思わない。不足している。バスは日中は1時間に1本もない時間帯もある。タクシーも予約取れないことが度々ある	40~49歳
✓山間部には厳しいです ✓公共交通がなくとても不便 ✓まだまだ車でないと移動できない発展途上です ✓市内中心地のみは、当てはまる	50~59歳
✓周辺地域はバスの便数減が使用者減となり、自家用車を手放せない ✓全くそう思わない。車がないと生きられない ✓鉄道がないのが致命傷	60~69歳
	70歳以上

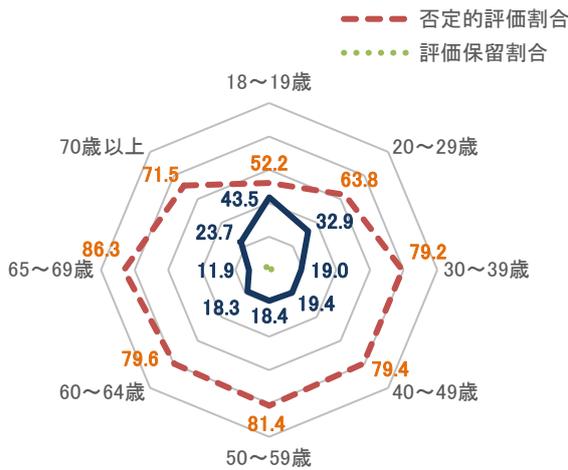
【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

【区分】	【指標名】
○	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している

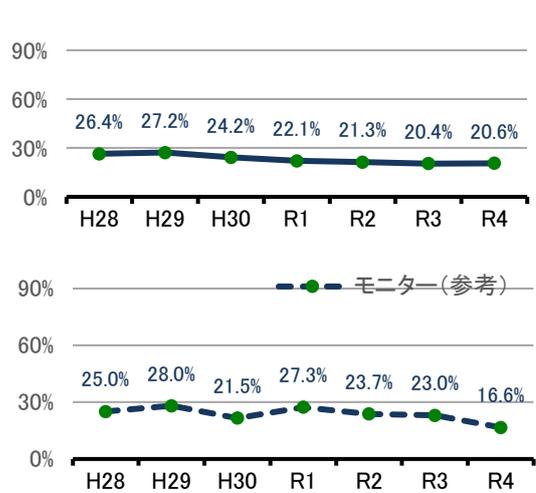
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	27.2%	24.2%	22.1%	21.3%	20.4%	20.6%
否定的評価割合	67.3%	72.3%	73.8%	74.9%	76.4%	76.9%
評価保留割合	3.2%	1.5%	1.3%	1.9%	1.5%	1.6%

現状値 (H28)	目標 (R4)	26.4%	
平均値 (H29~R4)		22.6%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

✓ 学校に行くためには電車、バスが必要だから	19歳以下
✓ 通勤では電車を使っている ✓ 時間が合えば利用している	20~29歳
✓ バス通勤をしているから ✓ 電車通勤中 ✓ ぐるりん号は週末、頻繁に活用している	30~39歳
✓ 通勤は電車です ✓ 通勤に電車を利用している。長野・篠ノ井間は利用しやすく有難いです	40~49歳
✓ 新幹線通勤だから ✓ 通勤は公共交通機関を使っています ✓ できるだけバスを利用している ✓ 通勤は公共交通機関または自転車・徒歩を利用している	50~59歳
✓ 自転車、電車、バス利用です ✓ 毎日電車とバスを、利用している ✓ 先ず自家用車より公共交通機関を優先します	60~69歳
✓ 出歩くことが少ないが、交通機関がある場所にはできるだけ利用している	70歳以上

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓ 近くに学校があるから ✓ 時々利用するくらいだから	19歳以下
✓ 自動車を使う ✓ 自動車や徒歩、自転車移動が主 ✓ 自転車が良い	20~29歳
✓ 時間に追われているので、自家用車です ✓ 目的地や時間が合わない。乗り継ぎなどがあり、不便。料金が高い ✓ 公共交通機関が不便すぎて使えない、バスが走っていない	30~39歳
✓ マイカーを使用している ✓ 徒歩通勤です ✓ 自動車が時間的に都合が良いし、子供のお迎えもあるから	40~49歳
✓ 自家用車を使っている ✓ 職場までの交通公共機関がない ✓ コロナでマイカー通勤になったまま ✓ 路線バスは本数が少なく、料金も割高のためほとんど使っていない	50~59歳
✓ バイクが速くて便利 ✓ 遠いので自家用車通勤 ✓ バスも数が少ないので、自家用車での移動 ✓ 朝早く夜遅いのに無理です ✓ 自転車	60~69歳
✓ 時間の関係で自家用車を利用する ✓ 交通機関がない ✓ 自分の車を利用	70歳以上

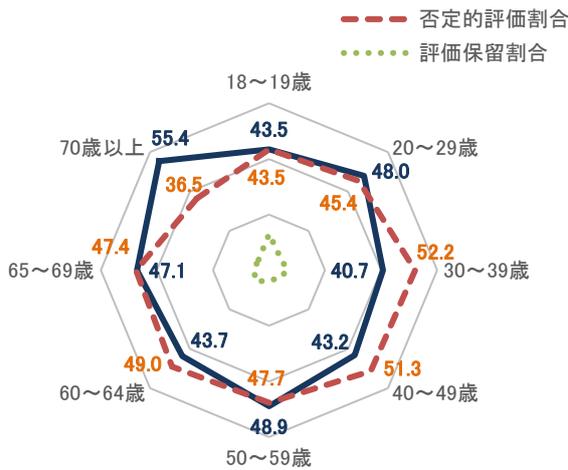
【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

【区分】	【指標名】
○	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている

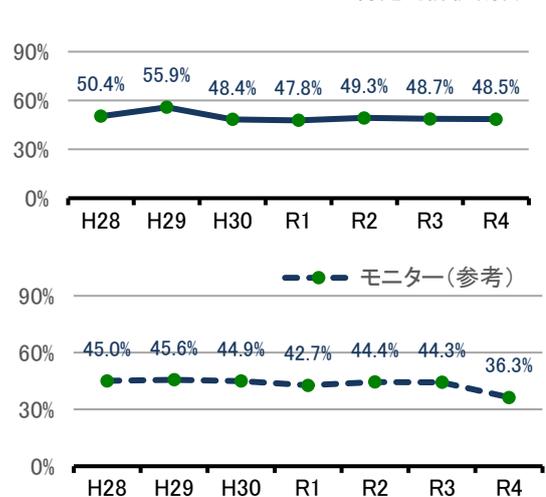
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肯定的評価割合	55.9%	48.4%	47.8%	49.3%	48.7%	48.5%
否定的評価割合	36.3%	44.4%	43.2%	43.4%	44.5%	45.1%
評価保留割合	5.6%	4.5%	5.3%	5.1%	4.7%	5.2%

現状値 (H28)	目標 (R4)	50.4%	
平均値 (H29~R4)		49.8%	

【令和4年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓	19歳以下	✓心がけてはいないから
✓徒歩移動が難しいときはよく使うようにしているためないと困るから ✓時々利用する	20~29歳	✓あまり使わない ✓自動車移動が楽になってしまっている ✓長野県では公共交通の重要性が不明
✓公共交通の維持は絶対に必要だから ✓いつかは車に乗れなくなる日が来るため 子どもも大きくなれば電車通学をすると思うので ✓なるべく利用しようとしているから	30~39歳	✓使わない ✓車移動がほとんどである ✓使い勝手がよくなれば使いたい ✓公共交通は不便なので、自家用車を使うことが多い
✓将来必要だと思っている ✓自分には必要ないですが、必要な方がいてその維持が困難なのであれば協力する意思はあります ✓支えていきたい気持ちはある	40~49歳	✓そういう意識で利用したことがない ✓自家用車に頼ってしまう ✓必要であるが高くて不便すぎるので支えていくことは一般市民では無理だと思います ✓必要なものと理解していても近くにない
✓公共交通は自らの暮らしには必要なものです ✓車をいつまで乗れるかと考えることが多くなっています。また、子どもたちが通学にはかかせないものなどで何とか維持できるように応援したい	50~59歳	✓理解はするが生活時間的に実践は難しい ✓今はあまり考えないです ✓利用しなくても生活できてるため ✓もっと増えればひつようかも
✓皆何れ車を運転できない時が来るから ✓パスの本数を、増やしてほしい ✓できる限り公共交通機関を使っています	60~69歳	✓支える気持ちはあっても現実的に無理が伴う ✓利用したくてもバスは本数がないし、電車は駅まで車しか手段がない ✓利用者が居なければ廃止される事は理解している。しかし、不便なのも事実
✓この移動手段がなくなれば私は移動手段を失うからです。社会的弱者のためにも残さなければなりません	70歳以上	✓していない ✓役に立たないという印象 ✓市内への勤め等がないので利用頻度が低い